

平成 28 年度広島県歯科保健実態調査報告書

平成 29 年 3 月

広 島 県
広島県歯科衛生連絡協議会

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 実施主体	1
3 実施方法	1
4 調査期間	1
5 調査の対象	1
6 調査の種類等	2
(1) 歯及び口腔の状況調査（歯科健康診査）	2
(2) 歯及び口腔に関する意識調査（意識調査）	2
7 調査委員会の設置	3
II-1 調査結果の概要 (1) 歯科健康診査	4
1 受診者数	4
2 現在歯の状況	4
(1) 20歯以上保有する者	4
(2) 24歯以上保有する者	4
3 う蝕の状況	4
4 喪失歯の状況	4
5 補綴の状況	4
6 歯周の状況	4
II-2 調査結果の概要 (2) 意識調査	5
1 協力者数	5
2 現在歯数の状況	5
3 歯みがきの状況	5
4 歯科健診の受診状況	5
5 歯石除去の状況	5
6 歯みがきの個人指導の状況	5
7 歯間ブラシや糸ようじの使用状況	5
8 頸関節の異常	5
9 かかりつけ歯科医の状況	5
III-1 調査結果 (1) 歯科健康診査	6
1 受診者数	6
2 現在歯の状況	6
(1) 一人平均現在歯数	6
(2) 20歯以上並びに24歯以上保有する者	7

3	う蝕の状況	9
(1)	一人平均う歯数 (DMF歯数)	9
(2)	う蝕有病者(DMF者)	11
4	喪失歯とその補綴状況	11
(1)	喪失歯のある者	11
(2)	補綴物並びに要欠損補綴歯のある者	12
5	歯周の状況	13
III—2 調査結果 (2) 意識調査		16
1	協力者数	16
2	調査結果	17
問1	歯や口の状態について気になることはありますか	17
(1)	歯が痛い、しみる	17
(2)	歯ぐきが痛い、はれている、出血がある	19
(3)	噛めないものがある	21
(4)	飲み込みにくい	23
(5)	味が分かりにくい	25
(6)	口がかわく	27
(7)	口臭がある	29
問2	歯みがきの状況についておたずねします	31
問3	歯間ブラシや糸ようじを使っていますか	33
問4	フッ素入りの歯みがき剤 (歯みがき粉) を使ってていますか	35
問5	過去1年間に歯科健診を受けましたか	37
問6	過去1年間に歯石をとってもらったことがありますか	39
問7	過去1年間に歯科医院でフッ素塗布をしてもらったことがありますか	41
問8	過去1年間に歯みがきの個人指導を受けましたか	43
問9	かかりつけ歯科医院がありますか	45
問10	歯周病がどのような病気か知っていますか	47
問11	歯周病と糖尿病に関係があることを知っていますか	49
問12	喫煙が歯周病に影響を与えることを知っていますか	51
問13	口の中をきれいに保つことで、肺炎を予防することができることを知っていますか	53
問14	ゆっくりよく噛んで食事をしていますか	55
問15	口を大きく開け閉めした時、あごの音がしますか	57
問16	口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがありますか	59
問17	現在、歯の数はどのくらいありますか (親知らずは含みません。「けずってつめた歯」や「さし歯」も自分の歯として数えます。)	61
問18	次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。	65
(1)	8020 (ハチマルニイマル) 運動	65

(2) 噙ミング30（サンマル）運動	67
(3) 歯と口の健康週間（6月4日からの一週間）	69
(4) いい歯の日（11月8日）	71
(5) いい歯の週間（11月8日からの一週間）	73
IV 調査結果（3）健康増進計画等との対応	75
1 健康日本21（第二次）	75
2 健康ひろしま21（第2次）	75
3 広島県歯と口腔の健康づくり推進計画	75
4 節目年齢における進行した歯周炎を有する割合	76
参考 調査に用いた主な指標	77
付表	79
1 指定公共施設、指定歯科医療機関、協力歯科医療機関	79
2 歯科健康診査票	81
3 歯科健康診査の診査基準	83
4 「歯及び口腔に関する意識調査」調査票	90
5 広島県歯科保健実態調査委員会名簿	94

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、広島県の歯科保健状況を把握し、8020運動（歯科保健推進事業）の取組の効果についての検討や、広島県歯と口腔の健康づくり推進計画において設定した目標の達成度の判定を行い、今後の歯科保健医療対策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

※広島県歯と口腔の健康づくり推進条例第10条に基づく調査

2 実施主体

広島県

3 実施方法

広島県歯科衛生連絡協議会（広島県、広島県歯科医師会、広島大学、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会で構成）に委託して実施する。

4 調査期間

平成28年10月17日（月）～11月15日（火）

5 調査の対象

(1) 県内を、二次保健医療圏域（広島二次保健医療圏域については、広島市域、海田地域、芸北地域の3地域より構成）を基準とした9地域に分割し、平成28年国民生活基礎調査調査地区及び国民健康栄養調査調査地区より1地域につき、1～4地区を無作為抽出した24調査地区の満15歳以上（平成28年7月1日現在）の者

<調査地区一覧>

1	広島市東区牛田新町の一部	13	呉市中央の一部
2	広島市南区南蟹屋の一部	14	大崎上島町東野の一部
3	広島市安佐南区毘沙門台の一部	15	東広島市高屋町大字白市の一部
4	広島市安佐南区伴南の一部	16	三原市西野の一部
5	広島市安佐北区落合南の一部	17	三原市小坂町の一部
6	広島市安芸区船越南の一部	18	尾道市長江の一部
7	海田町三迫の一部	19	福山市南蔵王町の一部
8	坂町坂西の一部	20	福山市本郷町の一部
9	北広島町大字川戸の一部	21	福山市松永町の一部
10	廿日市市佐方の一部	22	府中市府中町の一部
11	廿日市市前空の一部	23	三次市三若町の一部
12	呉市海岸の一部	24	庄原市東城町久代の一部

(2) 県内で選定した歯科医療機関（以下「協力歯科医療機関」という）を受診した満15歳以上（平成28年7月1日現在）の者

<協力歯科医療機関>

市町名	協力歯科医療機関数
広島市	15
呉市	2
竹原市	1
三原市	1
尾道市	1
福山市	3
大竹市	1
東広島市	1
廿日市市	2
府中町	1
計	28

6 調査の種類等

(1) 歯及び口腔の状況調査（以下「歯科健康診査」という）

県民の歯及び口腔の状況を把握するための歯科健康診査を実施する。

ア 調査方法

(ア) 「5 調査の対象」(1) の地区内又は近辺にある公共施設（以下「指定公共施設」という）及び歯科医療機関（以下「指定歯科医療機関」という）において「歯科健康診査」を実施する。

(イ) 「5 調査の対象」(2) の「協力歯科医療機関」で調査に協力が得られたものに対して「歯科健康診査」を実施する。

※「指定公共施設」「指定歯科医療機関」「協力歯科医療機関」は付表1のとおり

イ 主な調査事項

基本情報（住所・年齢・性別）、歯の状況、補綴物の状況、歯肉の状況 等 計8項目

※付表2「歯科健康診査票」のとおり

ウ 診査基準

診査基準については、過去の調査の診査基準に準じた。CPIは、WHOの基準に従った。

※付表3「歯科健康診査の診査基準」のとおり

(2) 歯及び口腔に関する意識調査（以下「意識調査」という）

県民の歯及び口腔の健康に対する意識や生活状況等を把握するための調査を実施する。

ア 調査方法

(ア) 「5 調査の対象」(1) に対して、郵送により調査票を送付し、自記回答後、郵送等で回収する。

(イ) 「5 調査の対象」(2) に対して調査票の記載を依頼し、その場で回収する。

イ 主な調査事項

基本情報（住所・年齢・性別）、歯みがきの状況、歯科健診の受診状況、歯石除去の状況、歯みがきの個人指導の状況、かかりつけ歯科医の状況、顎関節の状況 等 計18項目

※付表4「歯及び口腔に関する意識調査」調査票のとおり

7 調査委員会の設置

調査の実施にあたり、調査委員会を設置し、実施方法等について検討するとともに、調査を円滑に遂行し、調査終了後は集計・分析の上、調査報告書を作成する。

(1) 委員の構成

付表5「広島県歯科保健実態調査委員会名簿」のとおり

(2) 調査委員会の開催状況

ア 第1回委員会（平成28年6月3日）

- ・「歯科健康診査」の内容検討
- ・「意識調査」の内容検討
- ・調査対象、調査時期、調査方法、調査地区、調査場所、調査項目、調査マニュアル及びタイムスケジュールの検討

イ 第2回委員会（平成28年7月28日）

- ・「歯科健康診査」の方法及びマニュアルの検討
- ・「意識調査」の内容検討
- ・調査世帯及び歯科医療機関への協力依頼文書の検討

ウ 第3回委員会（平成29年3月23日）

- ・調査結果の評価
- ・報告書（案）の検討

※その他、報告書（案）作成等のため、小委員会を1回、打合せを2回開催した。

小委員会（平成28年8月8日）

打合せ（平成28年11月15日、平成29年2月15日）

II－1 調査結果の概要 (1) 歯科健康診査

1 受診者数

歯科健康診査の受診者総数は1,089名で、男性488名(44.8%)、女性601名(55.2%)であった。

2 現在歯の状況

(1) 20歯以上保有する者

20歯以上保有する者は全体で84.2%（平成23年度は82.2%）であった。

広島県歯と口腔の健康づくり推進計画における「80歳で20本以上の自分の歯を有する人の増加」という目標については、75～84歳の年齢階級で、20歯以上保有する者の割合は56.1%（平成23年度は55.3%）であった。この年齢階級における現在歯数は、19.5（平成23年度は18.1本）本であった。

(2) 24歯以上保有する者

24歯以上保有する者は、全体で74.9%（平成23年度は70.1%）であった。

広島県歯と口腔の健康づくり推進計画における「60歳で24本以上の自分の歯を有する人の増加」という目標については、55～64歳の年齢階級で、24歯以上保有する者の割合は76.5%（平成23年度は63.5%）であった。この年齢階級における現在歯数は、25.4本（平成23年度は23.8本）であった。

3 う蝕の状況

一人平均う歯数(DMF歯数)は全体で15.19本（平成23年度は16.45本）であった。また、う蝕有病者の割合は全体で95.8%（平成23年度は98.1%）で、高いう蝕有病者率を示していた。

4 喪失歯の状況

歯を喪失している者の割合は全体で47.1%（平成23年度は58.6%）であり、性別では男性 47.5%（平成23年度は63.8%）、女性 46.8%（平成23年度は55.1%）であった。また、一人平均喪失歯数は全体で3.43本（平成23年度は4.58本）、性別でみると男性3.51本（平成23年度は5.58本）、女性3.37本（平成23年度は3.89本）であった。

5 補綴の状況

要欠損補綴（補綴を必要とする欠損歯を有する）者の割合は、21.2%（平成23年度は11.6%）であった。要欠損補綴者のうち一部補綴完了者は16.0%（平成23年度は17.3%）、未完了者は5.2%（平成23年度は7.4%）であった。

補綴完了率は60歳代から70歳代群でほぼ50%であるのに対して、80歳以上では63.2%（平成23年度は85.7%）とやや高率であった。

6 歯周の状況

歯肉に所見のある者は全体で74.7%（平成23年度は81.5%）であった。このうち、プロービング後に出血した者（コード1）は5.8%（平成23年度は24.8%）、歯石の沈着している者（コード2）は14.9%（平成23年度は29.2%）、歯周ポケット4mm以上6mm未満の者（コード3）は35.2%（平成23年度は19.8%）、歯周ポケット6mm以上の者（コード4）は18.8%（平成23年度は7.7%）であった。

広島県歯と口腔の健康づくり推進計画における「40歳代で進行した歯周炎を有する人の減少」という目標については、40～49歳の年齢階級でコード3及び4と判定されたものの割合は56.0%（平成23年度は25.9%）であった。

また、「50歳代で進行した歯周炎を有する人の減少」という目標については、50～59歳の年齢階級でコード3及び4と判定されたものの割合は62.8%（平成23年度は36.0%）であった。

II—2 調査結果の概要 (2) 意識調査

1 協力者数

歯及び口腔に関する意識調査の有効回答数は2,177名で、男性996名(45.8%)、女性1,181名(54.2%)であった。

なお、調査協力者数は2,205名であったが、28名については全ての歯科関連質問項目に回答がなかったため、有効回答数は2,177名とした。

2 現在歯数の状況

80歳以上で、全部ある(28本)と回答した者の割合は5.3%、ほとんどある(27~20本)は34.0%、半分ぐらいある(19~10本)は24.6%、ほとんどない(9~1本)は20.7%、まったくない(0本)は11.2%であった。

3 歯みがきの状況

歯みがきの状況を全体でみると、毎日みがく者は95.8%（23年度は95.2%）、ときどきみがく者は2.1%（23年度は3.1%）、みがかない者は0.8%（23年度は1.4%）であった。毎日みがく者の回数の内訳をみると、1回21.6%（23年度は32.8%）、2回51.2%（23年度は47.2%）、3回以上23.0%（23年度は15.2%）であった。

4 歯科健診の受診状況

過去1年間に歯科健診を受診した者は、全体で63.8%（平成23年度は52.8%）であった。年齢階級別にみると、70~79歳の年齢階級では72.9%と最も高く、最も低かったのは20~29歳の52.8%であった。

5 歯石除去の状況

過去1年間に歯石除去を受けた者は、全体で56.0%（平成23年度は42.6%）であった。年齢階級別にみると、70~79歳の年齢階級では64.4%と最も高く、最も低かったのは15~19歳の36.5%であった。

6 歯みがきの個人指導の状況

過去1年間に歯みがきの個人指導を受けた者は、全体で35.4%（平成23年度は28.8%）であった。年齢階級別にみると、70~79歳の年齢階級では42.7%と最も高く、最も低かったのは40~49歳の28.2%であった。

7 歯間ブラシや糸ようじの使用状況

歯間ブラシや糸ようじを使用している者は、全体で48.3%（平成23年度は36.9%）であった。年齢階級別にみると、60~69歳及び70~79歳の年齢階級では56.1%と最も高く、最も低かったのは15~19歳の20.5%であった。

8 頸関節の異常

口を大きく開け閉めしたとき、あごの音がする者は27.5%（平成23年度は33.6%）であった。年齢階級別にみると、40~49歳の年齢階級では38.5%と最も高く、最も低かったのは80歳への15.4%であった。

また、口を大きく開け閉めしたとき、頸の痛みがある者は5.2%（平成23年度は4.7%）であった。

9 かかりつけ歯科医の状況

かかりつけ歯科医がいる者は、全体で82.0%（平成23年度は76.9%）であった。年齢階級別にみると、70~79歳の年齢階級では93.7%と最も高く、最も低かったのは20~29歳の68.5%であった。

III—1 調査結果 (1) 歯科健康診査

1 受診者数 (表1-1)

無作為に抽出した調査地区と協力歯科医療機関における歯科健康診査の受診者数は、1,089名であった。

男女比は、男性488名で44.8%、女性601名で55.2%と女性の方が多かった。

表1-1 受診者数

年齢	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	44 (46.8)	49 (47.1)	56 (46.3)	60 (42.6)	63 (45.0)	89 (44.3)	71 (45.8)	56 (42.1)	488 (44.8)
女	50 (53.2)	55 (52.9)	65 (53.7)	81 (57.4)	77 (55.0)	112 (55.7)	84 (54.2)	77 (57.9)	601 (55.2)
計	94	104	121	141	140	201	155	133	1,089

※括弧内は%

2 現在歯の状況

(1) 一人平均現在歯数 (表1-2、図1-1)

受診者の一人平均現在歯数は24.7本であった。年齢階級別では、20~29歳から現在歯数は減少傾向にあり、60~69歳で23.8本、70~79歳で20.4本であり、80歳以上では17.8本であった。

表1-2 一人平均現在歯数

年齢	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	27.3 (1.4)	28.6 (1.7)	28.3 (1.6)	27.1 (4.3)	26.3 (4.6)	23.8 (5.2)	20.0 (8.6)	17.7 (9.0)	24.6 (6.7)
女	27.9 (1.2)	28.3 (1.7)	28.4 (1.8)	28.1 (1.8)	26.9 (2.8)	23.8 (4.8)	20.8 (7.0)	17.8 (8.8)	24.9 (6.1)
計	27.6 (1.3)	28.5 (1.8)	28.4 (1.7)	27.7 (3.1)	26.6 (3.8)	23.8 (5.1)	20.4 (7.8)	17.8 (8.8)	24.7 (6.4)

※括弧内は標準偏差

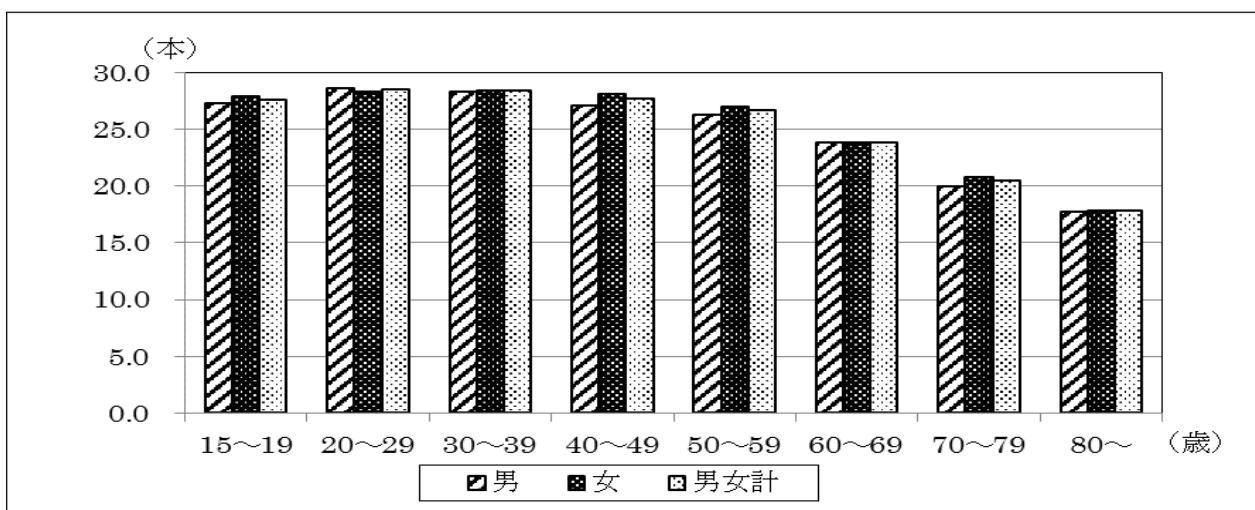


図1-1 一人平均現在歯数

(2) 20歯以上並びに24歯以上保有する者（表1-3、図1-2、1-3）

49歳以下ではほとんどの者が20本以上保有しているが、60～69歳では80.6%、70～79歳では64.5%、80歳以上では49.6%であった。

一方、24歯以上保有する者は、50歳代から減少し、60～69歳では63.2%、70～79歳では44.5%、80歳以上では35.3%であった。

表1-3 20歯以上並びに24歯以上保有する者

年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
20歯以上	男	43 (97.7)	49 (100.0)	56 (100.0)	57 (95.0)	59 (93.7)	74 (83.1)	47 (66.2)	27 (48.2)	412 (84.4)
	女	50 (100.0)	55 (100.0)	65 (100.0)	81 (100.0)	74 (96.1)	88 (78.6)	53 (63.1)	39 (50.6)	505 (84.0)
	計	93 (98.9)	104 (100.0)	121 (100.0)	138 (97.9)	133 (95.0)	162 (80.6)	100 (64.5)	66 (49.6)	917 (84.2)
24歯以上	男	43 (97.7)	48 (98.0)	56 (100.0)	52 (86.7)	53 (84.1)	53 (59.6)	32 (45.1)	21 (37.5)	358 (73.4)
	女	50 (100.0)	54 (98.2)	65 (100.0)	81 (100.0)	71 (92.2)	74 (66.1)	37 (44.0)	26 (33.8)	458 (76.2)
	計	93 (98.9)	102 (98.1)	121 (100.0)	133 (94.3)	124 (88.6)	127 (63.2)	69 (44.5)	47 (35.3)	816 (74.9)

※括弧内は%

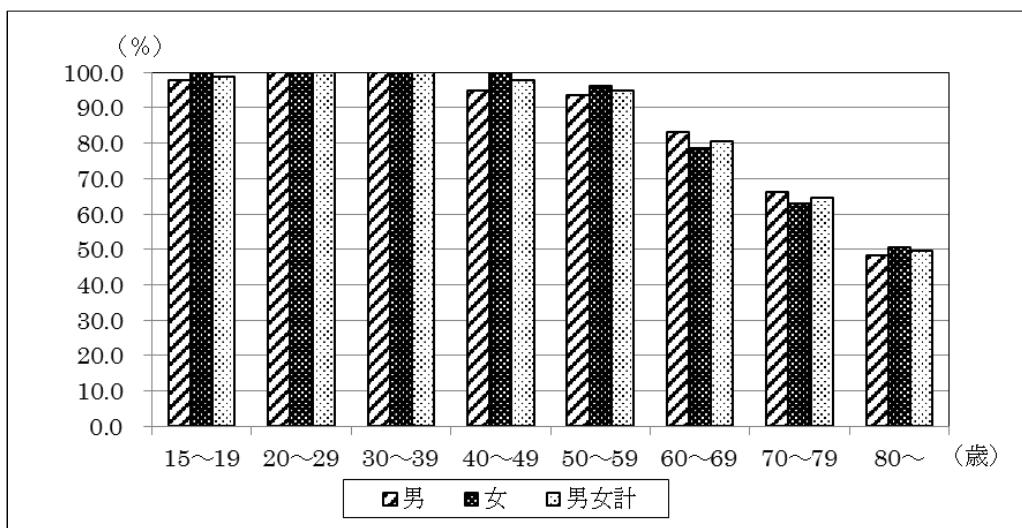


図1-2 20歯以上保有する者の割合

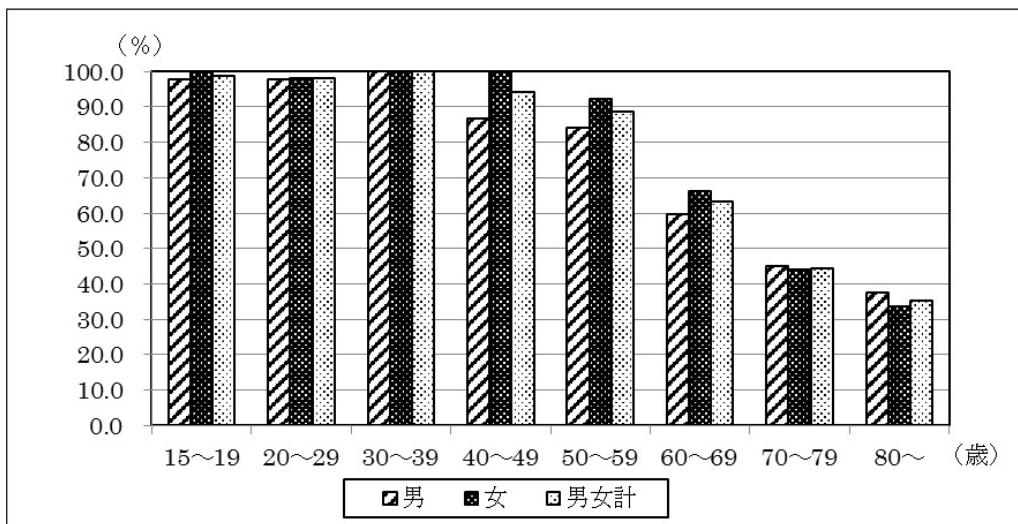


図 1－3 24歯以上保有する者の割合

3 う歫の状況

(1) 一人平均う歫数(DMF歫数) (表1-4、図1-4、1-5、1-6、1-7)

一人平均う歫数は、29歳以下を除く年齢階級で10本以上であり、年齢が高くなるごとに増加し、70~79歳では20.43本で、80歳以上では21.64本であった。

う歫の状況を総計でみると、一人平均未処置歫数はほとんどの年齢階級で1本前後であり、20~29歳が一番高く1.93本であった。一人平均処置歫数は50~59歳で最も高く13.15本であり、その後、年齢が高くなるごとに減少していた。一方、一人平均喪失歫数は19歳以下では0.01本で、その後、年齢が高くなるごとに増加し、80歳以上では10.00本であった。

表1-4 一人平均う歫数(DMF歫数)

年齢		15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	D	1.59	1.94	1.39	1.48	1.00	0.91	0.49	0.38	1.09
	M	0.02	0.14	0.30	1.17	1.52	4.45	8.39	9.46	3.51
	F	3.59	5.43	9.66	10.87	11.46	11.73	11.04	11.43	9.85
	DMF	5.20	7.51	11.36	13.52	13.98	17.09	19.93	21.27	14.45
女	D	0.84	1.93	1.40	0.92	0.75	0.48	0.43	0.63	0.85
	M	0.00	0.15	0.25	0.42	1.35	4.50	6.63	10.39	3.37
	F	3.00	7.45	10.28	12.90	14.53	14.02	13.80	10.88	11.58
	DMF	3.84	9.53	11.92	14.25	16.63	19.00	20.86	21.90	15.79
計	D	1.19	1.93	1.40	1.16	0.86	0.67	0.46	0.52	0.96
	M	0.01	0.14	0.27	0.74	1.43	4.48	7.44	10.00	3.43
	F	3.28	6.50	9.99	12.04	13.15	13.00	12.54	11.11	10.80
	DMF	4.48	8.58	11.66	13.93	15.44	18.15	20.43	21.64	15.19

D : Decayed teeth の略=永久歯のう歫で未処置のもの

M : Missing teeth の略=永久歯のう歫が原因で抜去されたもの

F : Filled teeth の略=永久歯のう歫で処置を完了したもの

DMF : DMF歫数=D+M+F

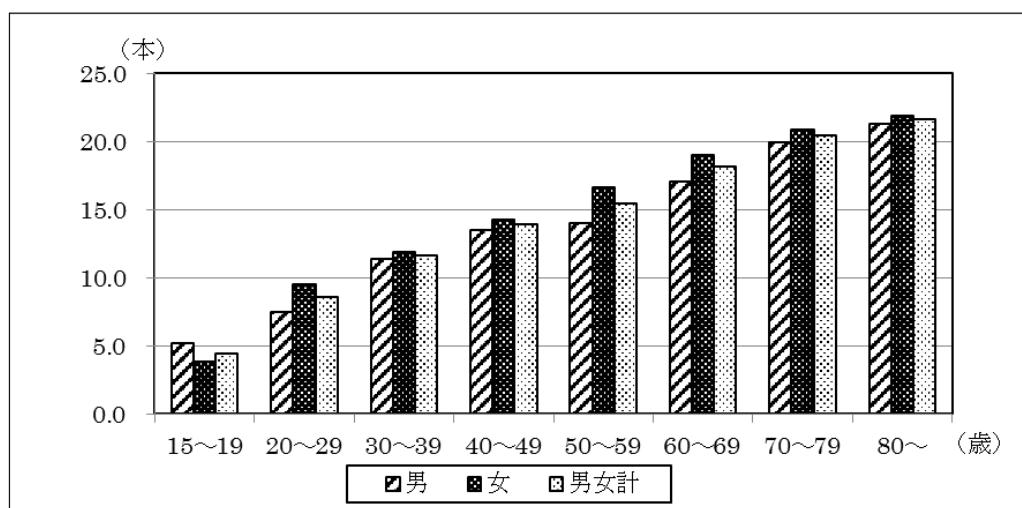


図1-4 一人平均う歫数(DMF歫数)

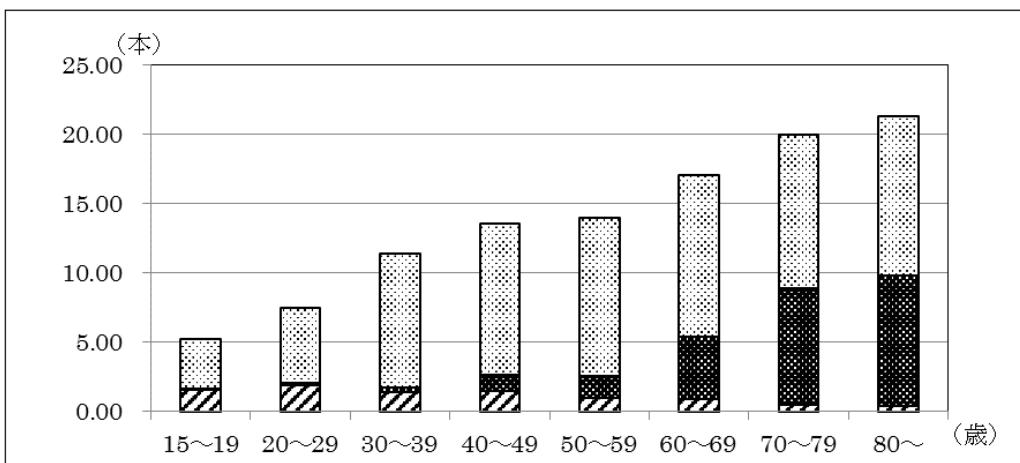


図 1－5 一人平均う歯数(DMF歯数)男性

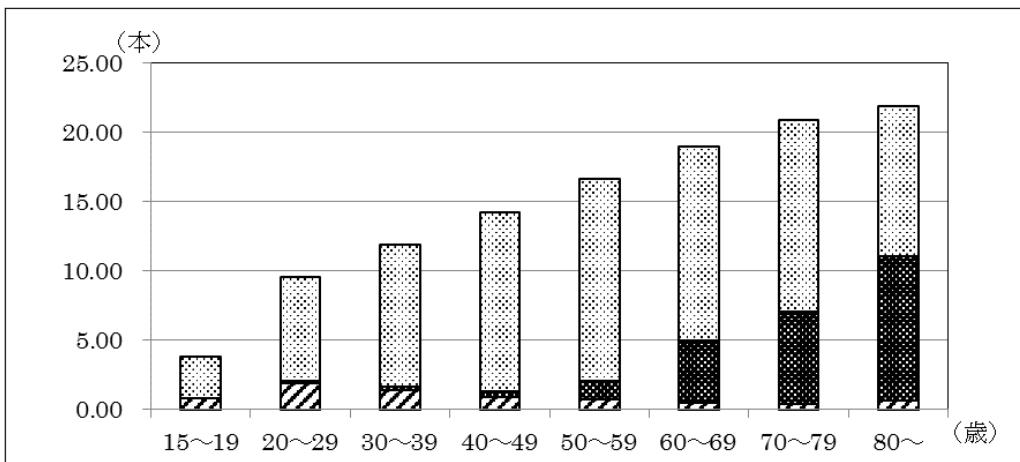


図 1－6 一人平均う歯数(DMF歯数)女性

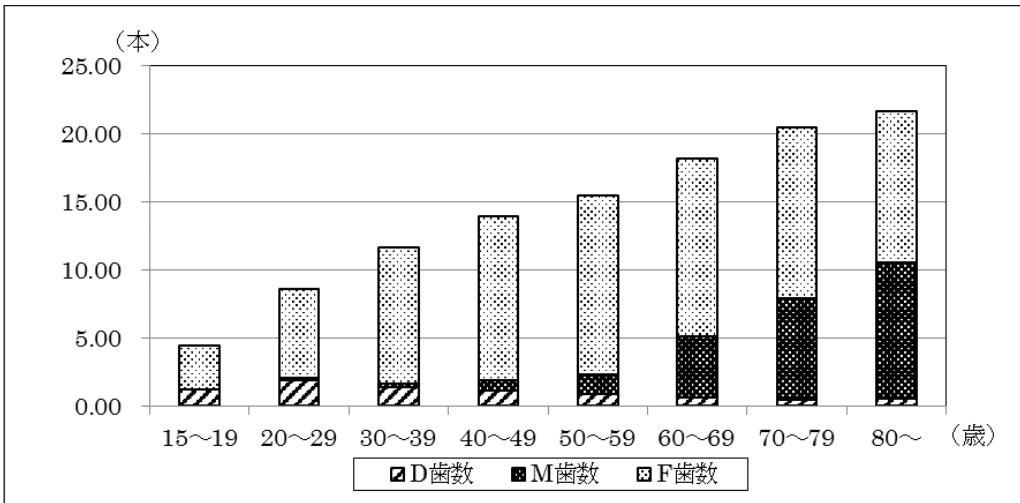


図 1－7 一人平均う歯数(DMF歯数)の内訳

(2) う蝕有病者(DMF者) (表1-5)

15～19歳以下すでに67.0%の者がう蝕を経験し、20歳以降ではほとんどの者がう蝕を経験していた。全受診者のうち95.8%がう蝕有病者であった。

表1-5 う蝕有病者(DMF者)

年齢	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	30 (68.2)	44 (89.8)	55 (98.2)	60 (100.0)	61 (96.8)	88 (98.9)	70 (98.6)	55 (98.2)	463 (94.9)
女	33 (66.0)	52 (94.5)	65 (100.0)	81 (100.0)	77 (100.0)	112 (100.0)	83 (98.8)	77 (100.0)	580 (96.5)
計	63 (67.0)	96 (92.3)	120 (99.2)	141 (100.0)	138 (98.6)	200 (99.5)	153 (98.7)	132 (99.2)	1,043 (95.8)

※括弧内は%

4 喪失歯とその補綴状況

(1) 喪失歯のある者 (表1-6、図1-8)

喪失歯のある者は30～39歳で14.0%、50～59歳で39.3%、80歳以上では85.7%、全体では47.1%であった。60歳以上の全ての階級で半数以上に喪失歯が認められた。

表1-6 喪失歯のある者

年齢	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	1 (2.3)	3 (6.1)	11 (19.6)	21 (35.0)	26 (41.3)	62 (69.7)	61 (85.9)	47 (83.9)	232 (47.5)
女	0 (0.0)	7 (12.7)	6 (9.2)	21 (25.9)	29 (37.7)	84 (75.0)	67 (79.8)	67 (87.0)	281 (46.8)
計	1 (1.1)	10 (9.6)	17 (14.0)	42 (29.8)	55 (39.3)	146 (72.6)	128 (82.6)	114 (85.7)	513 (47.1)

※括弧内は%

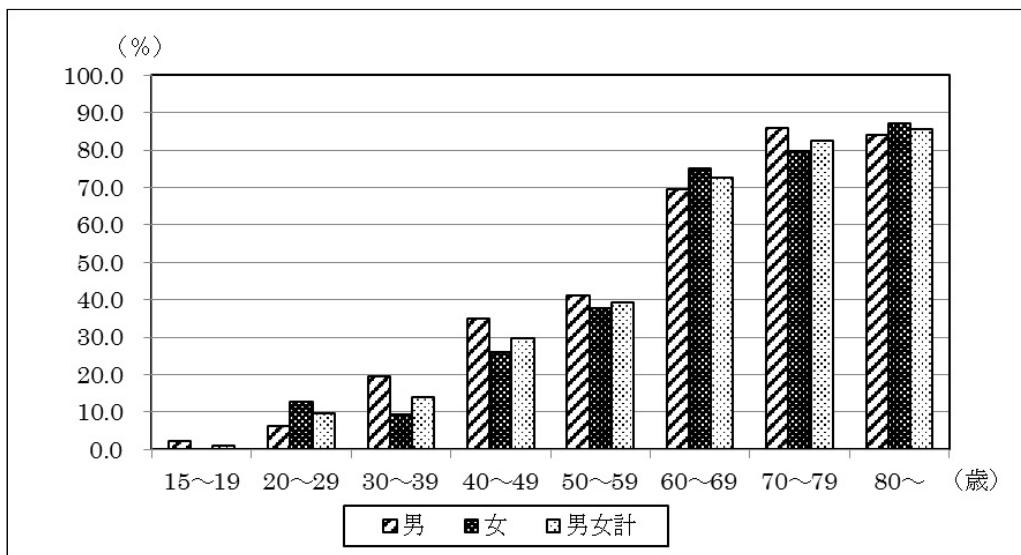


図1-8 喪失歯のある者の割合

(2) 補綴物並びに要欠損補綴歯のある者 (表1-7、1-8)

全体でみると、要欠損補綴（補綴を必要とする欠損歯を有する）者の割合は、21.2%（1,089名中231名）であった。要欠損補綴者のうち一部補綴完了者は174名（16.0%）、未完了者は57名（5.2%）であった。

補綴完了率は40歳代から50歳代群でほぼ10%から20%の間であるのに対して、80歳以上では63.2%と高率であった。

表1-7 補綴物並びに要欠損補綴歯のあるもの

年齢		15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
補綴物有	男	0 (0.0)	1 (2.0)	4 (7.1)	11 (18.3)	23 (36.5)	55 (61.8)	52 (73.2)	39 (69.6)	185 (37.9)
	女	0 (0.0)	4 (7.3)	3 (4.6)	16 (19.8)	21 (27.3)	66 (58.9)	53 (63.1)	58 (75.3)	221 (36.8)
	計	0 (0.0)	5 (4.8)	7 (5.8)	27 (19.1)	44 (31.4)	121 (60.2)	105 (67.7)	97 (72.9)	406 (37.3)
要欠損補綴歯有	男	6 (13.6)	4 (8.2)	10 (17.9)	14 (23.3)	15 (23.8)	24 (27.0)	25 (35.2)	13 (23.2)	111 (22.7)
	女	5 (10.0)	6 (10.9)	10 (15.4)	13 (16.0)	17 (22.1)	28 (25.0)	23 (27.4)	18 (23.4)	120 (20.0)
	計	11 (11.7)	10 (9.6)	20 (16.5)	27 (19.1)	32 (22.9)	52 (25.9)	48 (31.0)	31 (23.3)	231 (21.2)
要欠損補綴歯又は有	男	6 (13.6)	5 (10.2)	14 (25.0)	22 (36.7)	28 (44.4)	63 (70.8)	61 (85.9)	47 (83.9)	246 (50.4)
	女	5 (10.0)	10 (18.2)	10 (15.4)	26 (32.1)	32 (41.6)	81 (72.3)	65 (77.4)	65 (84.4)	294 (48.9)
	計	11 (11.7)	15 (14.4)	24 (19.8)	48 (34.0)	60 (42.9)	144 (71.6)	126 (81.3)	112 (84.2)	540 (49.6)

※括弧内は%

表1-8 補綴状況

年齢		15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計	
補綴完了者	男	0 (0.0)	2 (4.1)	4 (7.1)	10 (16.7)	14 (22.2)	39 (43.8)	37 (52.1)	35 (62.5)	141 (28.9)	
	女	0 (0.0)	4 (7.3)	1 (1.5)	13 (16.0)	14 (18.2)	56 (50.0)	45 (53.6)	49 (63.6)	182 (30.3)	
	計	0 (0.0)	6 (5.8)	5 (4.1)	23 (16.3)	28 (20.0)	95 (47.3)	82 (52.9)	84 (63.2)	323 (29.7)	
要補綴者	一部完了者	男	5 (11.4)	3 (6.1)	4 (7.1)	8 (13.3)	14 (22.2)	21 (23.6)	22 (31.0)	10 (17.9)	87 (17.8)
	一部完了者	女	5 (10.0)	4 (7.3)	9 (13.8)	9 (11.1)	10 (13.0)	19 (17.0)	16 (19.0)	15 (19.5)	87 (14.5)
	一部完了者	計	10 (10.6)	7 (6.7)	13 (10.7)	17 (12.1)	24 (17.1)	40 (19.9)	38 (24.5)	25 (18.8)	174 (16.0)
要補綴者	補綴未完了者	男	1 (2.3)	1 (2.0)	6 (10.7)	6 (10.0)	1 (1.6)	3 (3.4)	3 (4.2)	3 (5.4)	24 (4.9)
	補綴未完了者	女	0 (0.0)	2 (3.6)	1 (1.5)	4 (4.9)	7 (9.1)	9 (8.0)	7 (8.3)	3 (3.9)	33 (5.5)
	補綴未完了者	計	1 (1.1)	3 (2.9)	7 (5.8)	10 (7.1)	8 (5.7)	12 (6.0)	10 (6.5)	6 (4.5)	57 (5.2)

※括弧内は%

[注] 補綴物とは、ここでは架工義歯、部分床義歯、全部床義歯をいい、これらを有する者を「補綴物のある者」とした。要欠損補綴歯とは、補綴処置（架工義歯や義歯）を必要とする喪失歯をいい、それを有する者を「要欠損補綴歯のある者」とした。

5 歯周の状況（表1－9、図1－9）

歯周の状態が健全と診断された者は、全体で23.6%であったが、15～19歳でも43.6%しかいなかつた。

20歳以上では全ての年齢区分でコード3（歯周ポケットの深さが4mm以上6mm未満）の者の割合が最大であった。次いで49歳以下の年齢区分では、コード0（歯肉に炎症の所見が認められない）の者で、50歳以上の年齢区分では、コード4（歯周ポケットの深さが6mm以上）の者であった。

また、コード2（歯石の沈着）と判定された者は、15～19歳で28.7%、20歳代で25.0%もあり、比較的若年層についても歯周病管理が必要であることが示唆されている。

15～19歳で、コード1（プロービング後に出血が認められる）の者は10%以上だが、その他の年齢区分では9%以下であった。

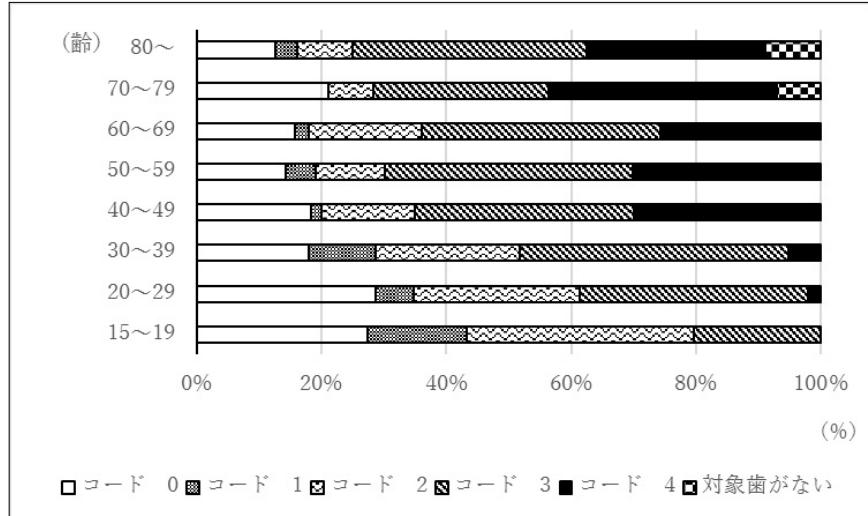
さらにコード3とコード4と判定された者の合計は、15～19歳で16.0%であったのに対して、20～29歳で37.5%、30～39歳で47.1%、40～49歳で56.0%、50～59歳で62.8%、60～69歳で62.2%、70～79歳で67.7%、80歳以上で60.2%であり、20歳代から急激に増加していた。

表 1-9 CPIコードの最大値でみた人数とその割合

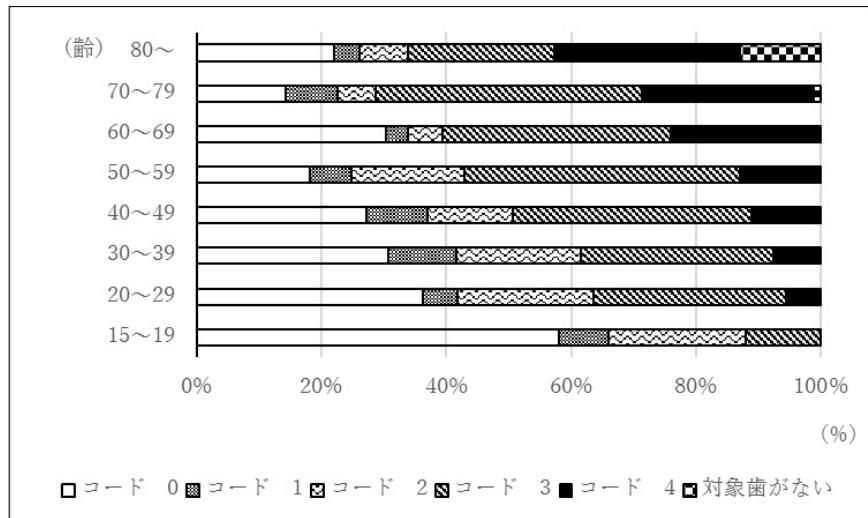
年齢		15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	コト ⁰	12 (27.3)	14 (28.6)	10 (17.9)	11 (18.3)	9 (14.3)	14 (15.7)	14 (19.7)	6 (10.7)	90 (18.4)
	コト ¹	7 (15.9)	3 (6.1)	6 (10.7)	1 (1.7)	3 (4.8)	2 (2.2)	0 (0.0)	2 (3.6)	24 (4.9)
	コト ²	16 (36.4)	13 (26.5)	12 (21.4)	9 (15.0)	7 (11.1)	16 (18.0)	6 (8.5)	6 (10.7)	85 (17.4)
	コト ³	9 (20.5)	18 (36.7)	25 (44.6)	21 (35.0)	25 (39.7)	34 (38.2)	20 (28.2)	21 (37.5)	173 (35.5)
	コト ⁴	0 (0.0)	1 (2.0)	3 (5.4)	18 (30.0)	19 (30.2)	23 (25.8)	26 (36.6)	16 (28.6)	106 (21.7)
	対象歯がない	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (7.0)	5 (8.9)	10 (2.0)
	計	44	49	56	60	63	89	71	56	488
女	コト ⁰	29 (58.0)	18 (32.7)	21 (32.3)	21 (25.9)	14 (18.2)	34 (30.4)	12 (14.3)	18 (23.4)	167 (27.8)
	コト ¹	4 (8.0)	4 (7.3)	4 (6.2)	8 (9.9)	5 (6.5)	4 (3.6)	7 (8.3)	3 (3.9)	39 (6.5)
	コト ²	11 (22.0)	13 (23.6)	11 (16.9)	12 (14.8)	14 (18.2)	6 (5.4)	5 (6.0)	5 (6.5)	77 (12.8)
	コト ³	6 (12.0)	17 (30.9)	24 (36.9)	31 (38.3)	34 (44.2)	41 (36.6)	36 (42.9)	21 (27.3)	210 (34.9)
	コト ⁴	0 (0.0)	3 (5.5)	5 (7.7)	9 (11.1)	10 (13.0)	27 (24.1)	23 (27.4)	22 (28.6)	99 (16.5)
	対象歯がない	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	8 (10.4)	9 (1.5)
	計	50	55	65	81	77	112	84	77	601
計	コト ⁰	41 (43.6)	32 (30.8)	31 (25.6)	32 (22.7)	23 (16.4)	48 (23.9)	26 (16.8)	24 (18.0)	257 (23.6)
	コト ¹	11 (11.7)	7 (6.7)	10 (8.3)	9 (6.4)	8 (5.7)	6 (3.0)	7 (4.5)	5 (3.8)	63 (5.8)
	コト ²	27 (28.7)	26 (25.0)	23 (19.0)	21 (14.9)	21 (15.0)	22 (10.9)	11 (7.1)	11 (8.3)	162 (14.9)
	コト ³	15 (16.0)	35 (33.7)	49 (40.5)	52 (36.9)	59 (42.1)	75 (37.3)	56 (36.1)	42 (31.6)	383 (35.2)
	コト ⁴	0 (0.0)	4 (3.8)	8 (6.6)	27 (19.1)	29 (20.7)	50 (24.9)	49 (31.6)	38 (28.6)	205 (18.8)
	対象歯がない	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (3.9)	13 (9.8)	19 (1.7)
	計	94	104	121	141	140	201	155	133	1,089

※括弧内は%

[男]



[女]



[男女]

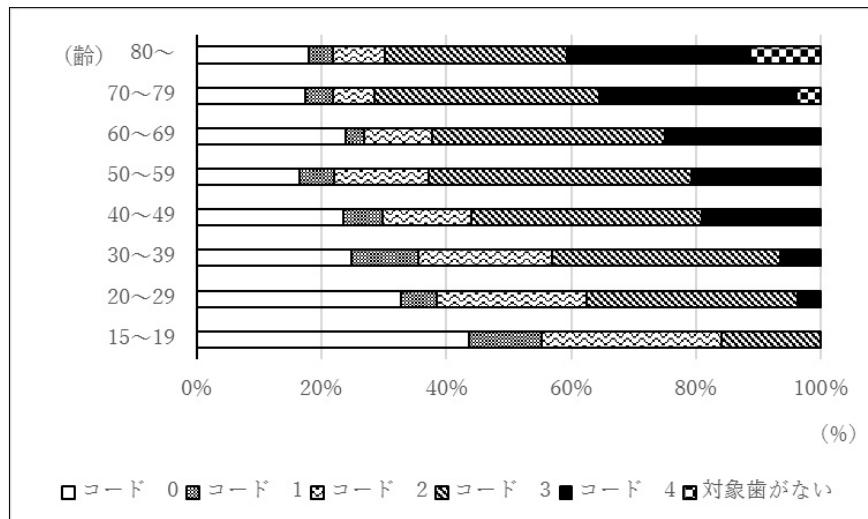


図 1-9 CPI コードの最大値別割合

III-2 調査結果（2）意識調査

1 協力者数

意識調査の有効回答数は2,177名で、男性996名(45.8%)、女性1,181名(54.2%)であった。

なお、調査協力者は2,205名であったが、28名については全ての歯科関連質問項目に回答がなかつたため、これらを除外した2,177名を有効回答数とした（表2-1）。

内訳は、無作為抽出した地区住民調査における有効回答数は1,375名（調査協力者数1,397名）歯科医療機関受診者調査における有効回答数は802名（調査協力者数808名）であった（表2-2、表2-3）。

表2-1 協力者（有効回答）数

年齢	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	79 (50.6)	86 (48.3)	95 (47.0)	138 (44.7)	141 (48.1)	175 (43.4)	171 (48.7)	111 (38.9)	996 (45.8)
女	77 (49.4)	92 (51.7)	107 (53.0)	171 (55.3)	152 (51.9)	228 (56.6)	180 (51.3)	174 (61.1)	1,181 (54.2)
計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

表2-2 無作為抽出した地区住民調査協力者（有効回答）数

年齢	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	39 (60.0)	43 (50.0)	49 (48.0)	88 (42.9)	88 (47.3)	121 (41.2)	122 (48.6)	63 (33.9)	613 (44.6)
女	26 (40.0)	43 (50.0)	53 (52.0)	117 (57.1)	98 (52.7)	173 (58.8)	129 (51.4)	123 (66.1)	762 (55.4)
計	65	86	102	205	186	294	251	186	1,375

表2-3 歯科医療機関受診者調査協力者（有効回答）数

年齢	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	40 (44.0)	43 (46.7)	46 (46.0)	50 (48.1)	53 (49.5)	54 (49.5)	49 (49.0)	48 (48.5)	383 (47.8)
女	51 (56.0)	49 (53.3)	54 (54.0)	54 (51.9)	54 (50.5)	55 (50.5)	51 (51.0)	51 (51.5)	419 (52.2)
計	91	92	100	104	107	109	100	99	802

※括弧内は%

2 調査結果

問1 歯や口の状態について気になることはありますか。

(1) 歯が痛い、しみる

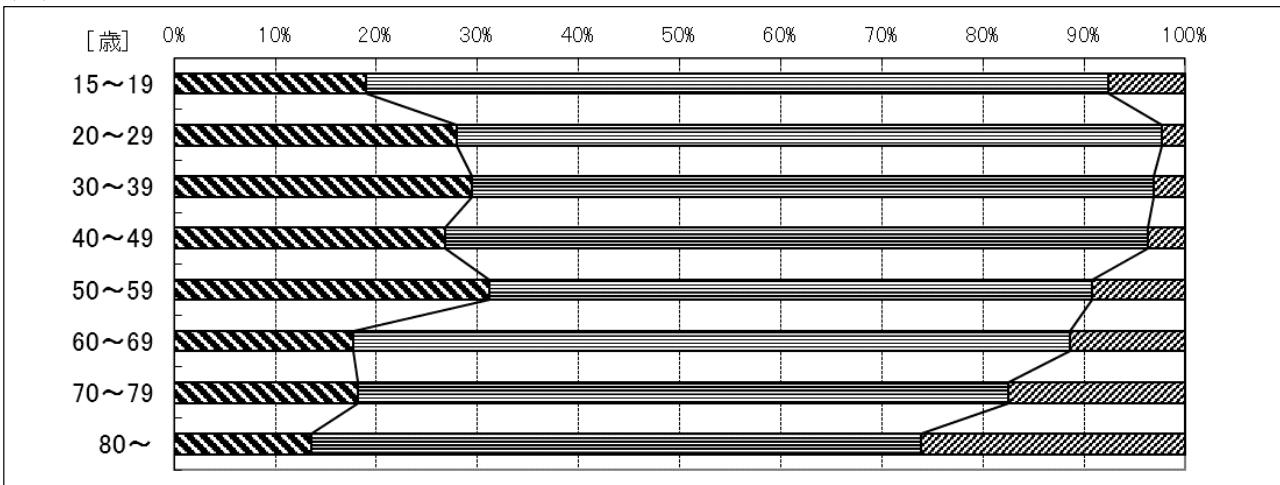
- 「歯が痛い、しみる」について気になると答えた者は、全体で22.5%であった。
- 年齢階級別にみると、20～29歳で32.6%と最も高く、80歳以上で13.7%と最も低かった。
- 男性では、50～59歳で31.2%と最も高く、80歳以上で13.5%と最も低かった。
- 女性では、20～29歳で37.0%と最も高く、80歳以上で13.8%と最も低かった。

表2-4 歯や口の状態（歯が痛い、しみる）

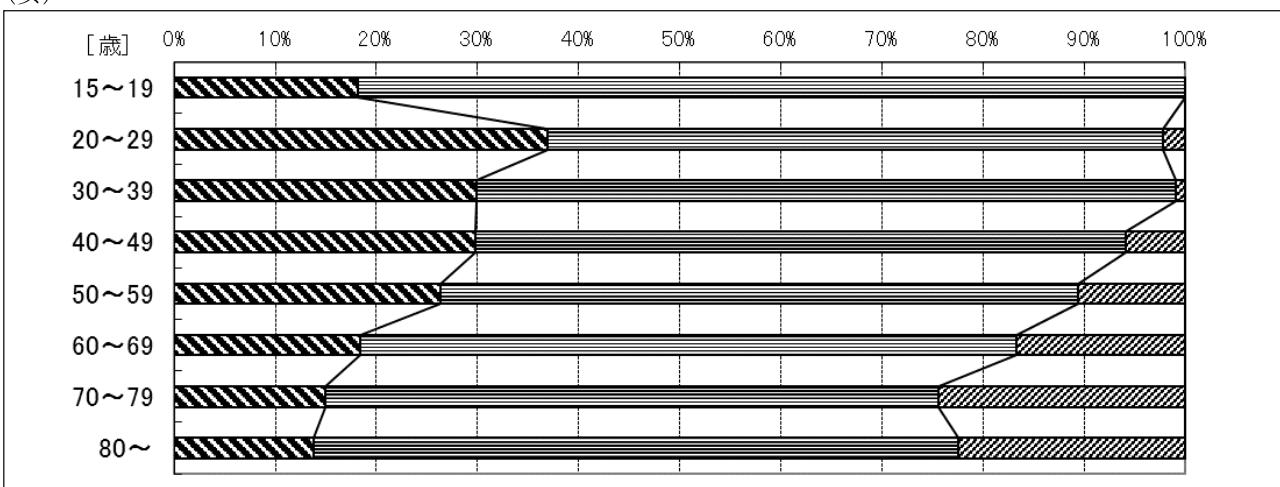
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	気になる	15 (19.0)	24 (27.9)	28 (29.5)	37 (26.8)	44 (31.2)	31 (17.7)	31 (18.1)	15 (13.5)	225 (22.6)
	気にならない	58 (73.4)	60 (69.8)	64 (67.4)	96 (69.6)	84 (59.6)	124 (70.9)	110 (64.3)	67 (60.4)	663 (66.6)
	無回答	6 (7.6)	2 (2.3)	3 (3.2)	5 (3.6)	13 (9.2)	20 (11.4)	30 (17.5)	29 (26.1)	108 (10.8)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	気になる	14 (18.2)	34 (37.0)	32 (29.9)	51 (29.8)	40 (26.3)	42 (18.4)	27 (15.0)	24 (13.8)	264 (22.4)
	気にならない	63 (81.8)	56 (60.9)	74 (69.2)	110 (64.3)	96 (63.2)	148 (64.9)	109 (60.6)	111 (63.8)	767 (64.9)
	無回答	0 (0.0)	2 (2.2)	1 (0.9)	10 (5.8)	16 (10.5)	38 (16.7)	44 (24.4)	39 (22.4)	150 (12.7)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	気になる	29 (18.6)	58 (32.6)	60 (29.7)	88 (28.5)	84 (28.7)	73 (18.1)	58 (16.5)	39 (13.7)	489 (22.5)
	気にならない	121 (77.6)	116 (65.2)	138 (68.3)	206 (66.7)	180 (61.4)	272 (67.5)	219 (62.4)	178 (62.5)	1,430 (65.7)
	無回答	6 (3.8)	4 (2.2)	4 (2.0)	15 (4.9)	29 (9.9)	58 (14.4)	74 (21.1)	68 (23.9)	258 (11.9)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

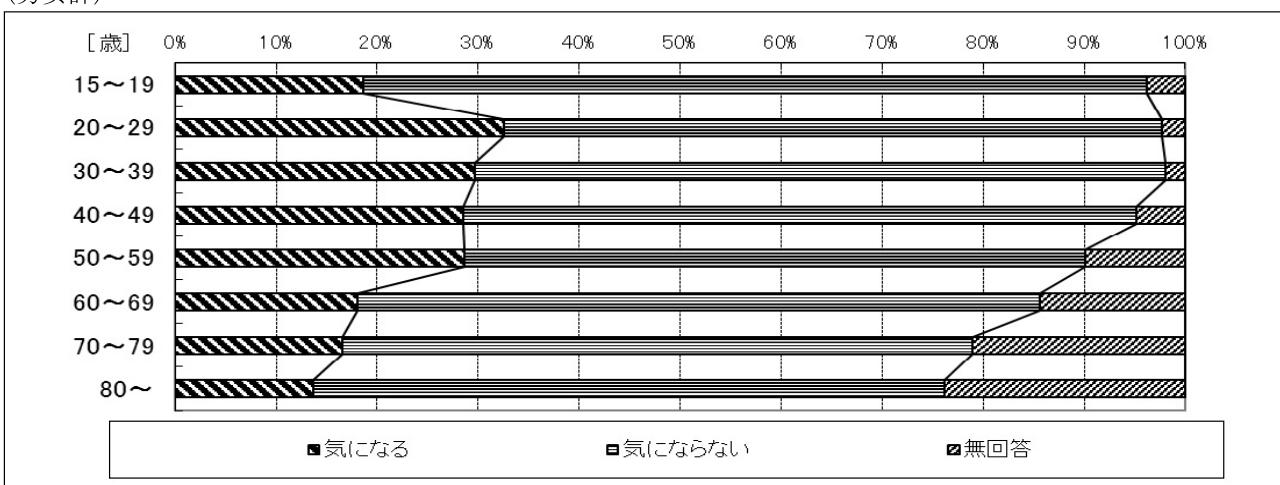


図 2-1 歯や口の状態（歯が痛い、しみる）

問1 歯や口の状態について気になることはありますか。

(2) 歯ぐきが痛い、はれている、出血がある

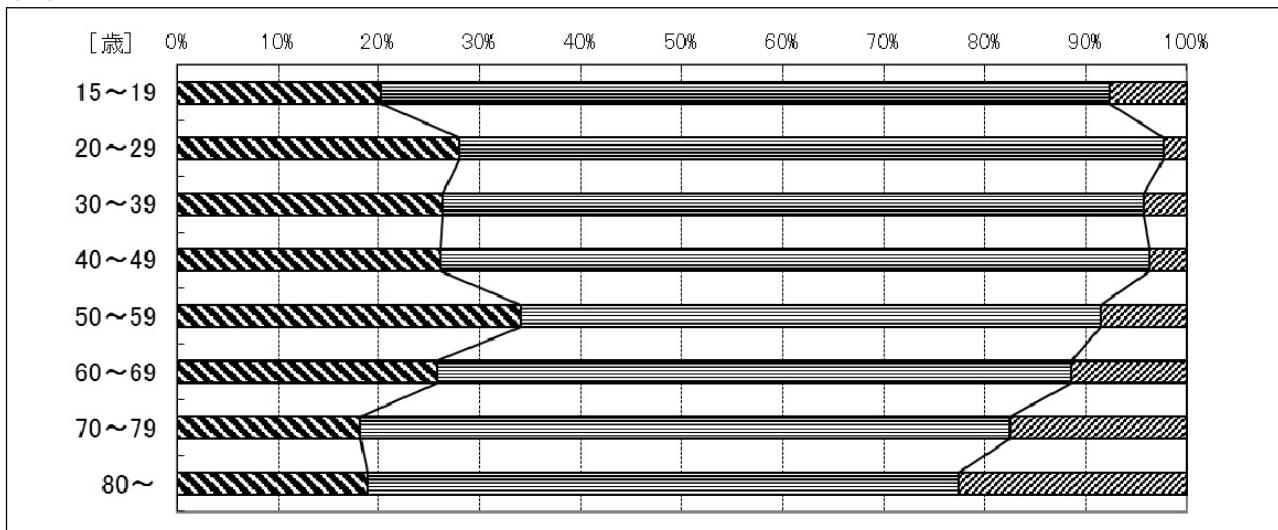
- 「歯ぐきが痛い、はれている、出血がある」について気になると答えた者は、全体で22.8%であった。
- 年齢階級別にみると、50～59歳で31.7%と最も高く、70～79歳で15.7%と最も低かった。
- 男性では、50～59歳で34.0%と最も高く、70～79歳で18.1%と最も低かった。
- 女性では、50～59歳で29.6%と最も高く、70～79歳で13.3%と最も低かった。

表2－5 歯や口の状態（歯ぐきが痛い、はれている、出血がある）

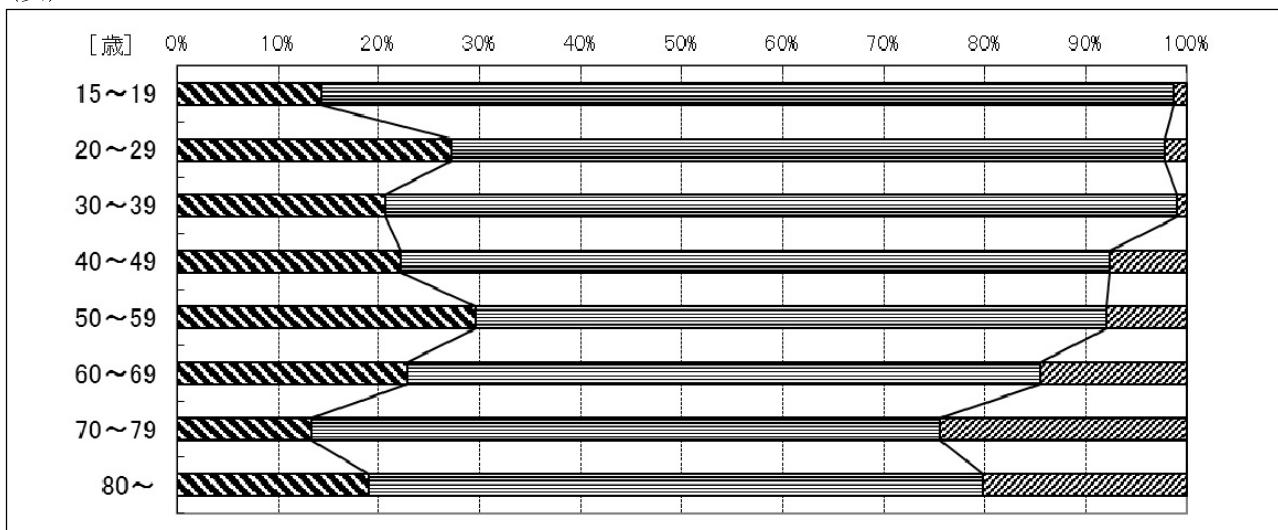
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	気になる	16 (20.3)	24 (27.9)	25 (26.3)	36 (26.1)	48 (34.0)	45 (25.7)	31 (18.1)	21 (18.9)	246 (24.7)
	気にならない	57 (72.2)	60 (69.8)	66 (69.5)	97 (70.3)	81 (57.4)	110 (62.9)	110 (64.3)	65 (58.6)	646 (64.9)
	無回答	6 (7.6)	2 (2.3)	4 (4.2)	5 (3.6)	12 (8.5)	20 (11.4)	30 (17.5)	25 (22.5)	104 (10.4)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	気になる	11 (14.3)	25 (27.2)	22 (20.6)	38 (22.2)	45 (29.6)	52 (22.8)	24 (13.3)	33 (19.0)	250 (21.2)
	気にならない	65 (84.4)	65 (70.7)	84 (78.5)	120 (70.2)	95 (62.5)	143 (62.7)	112 (62.2)	106 (60.9)	790 (66.9)
	無回答	1 (1.3)	2 (2.2)	1 (0.9)	13 (7.6)	12 (7.9)	33 (14.5)	44 (24.4)	35 (20.1)	141 (11.9)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	気になる	27 (17.3)	49 (27.5)	47 (23.3)	74 (23.9)	93 (31.7)	97 (24.1)	55 (15.7)	54 (18.9)	496 (22.8)
	気にならない	122 (78.2)	125 (70.2)	150 (74.3)	217 (70.2)	176 (60.1)	253 (62.8)	222 (63.2)	171 (60.0)	1,436 (66.0)
	無回答	7 (4.5)	4 (2.2)	5 (2.5)	18 (5.8)	24 (8.2)	53 (13.2)	74 (21.1)	60 (21.1)	245 (11.3)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

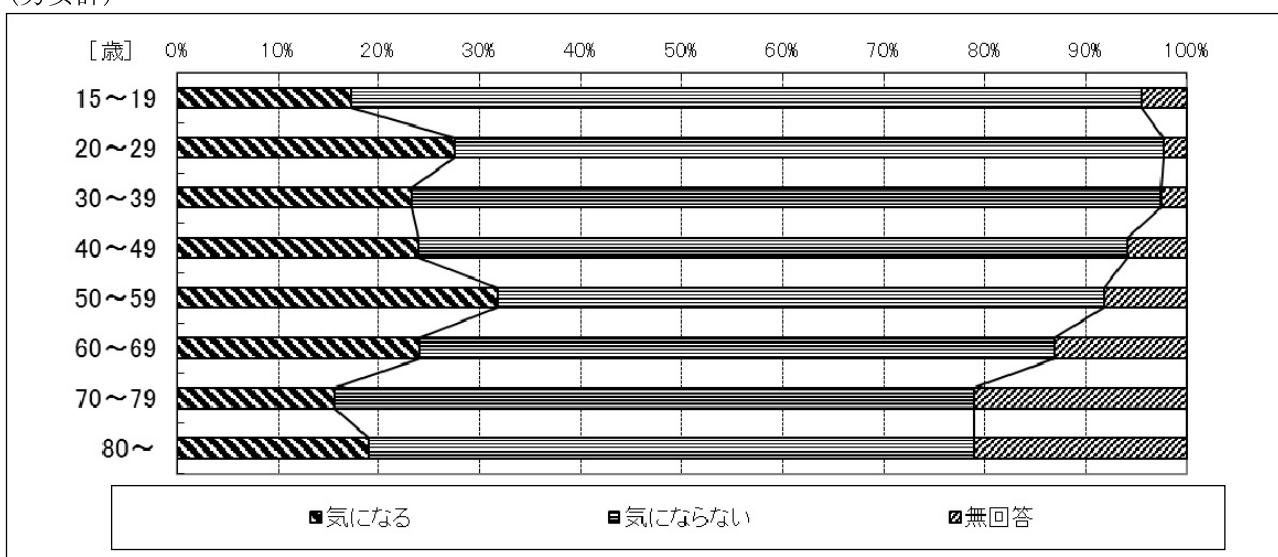


図 2-2 歯や口の状態（歯ぐきが痛い、はれている、出血がある）

問1 歯や口の状態について気になることはありますか。

(3) 噛めないものがある

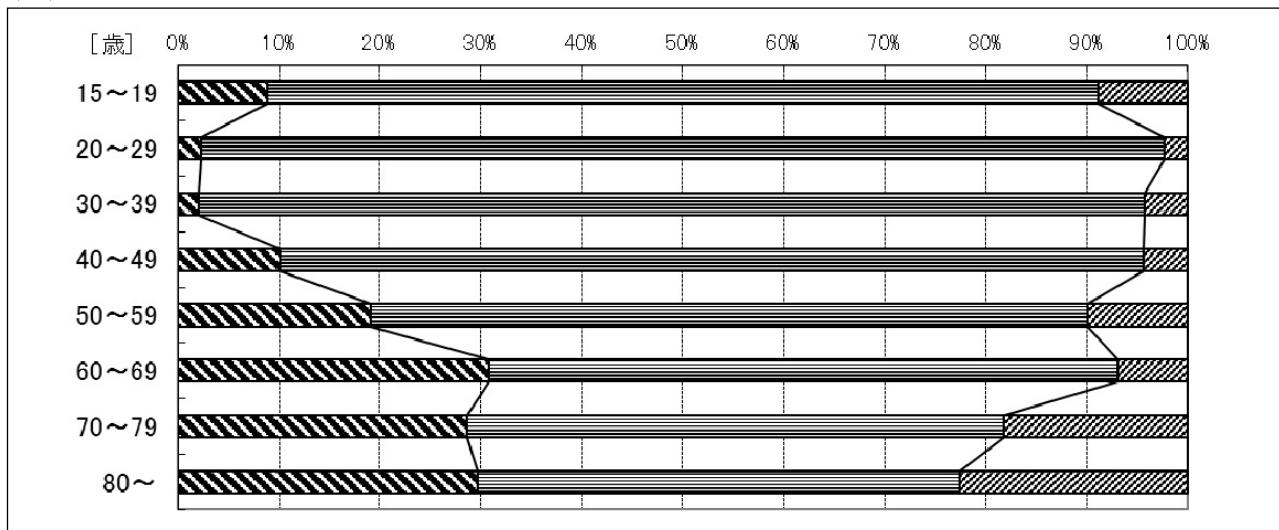
- 「噛めないものがある」について気になると答えた者は、全体で17.2%であった。
- 年齢階級別にみると、80歳以上で29.8%と最も高く、30～39歳で3.0%と最も低かった。
- 男性では、60～69歳で30.9%と最も高く、30～39歳で2.1%と最も低かった。
- 女性では、80歳以上で29.9%と最も高く、15～19歳で0.0%と最も低かった。

表2－6 歯や口の状態（噛めないものがある）

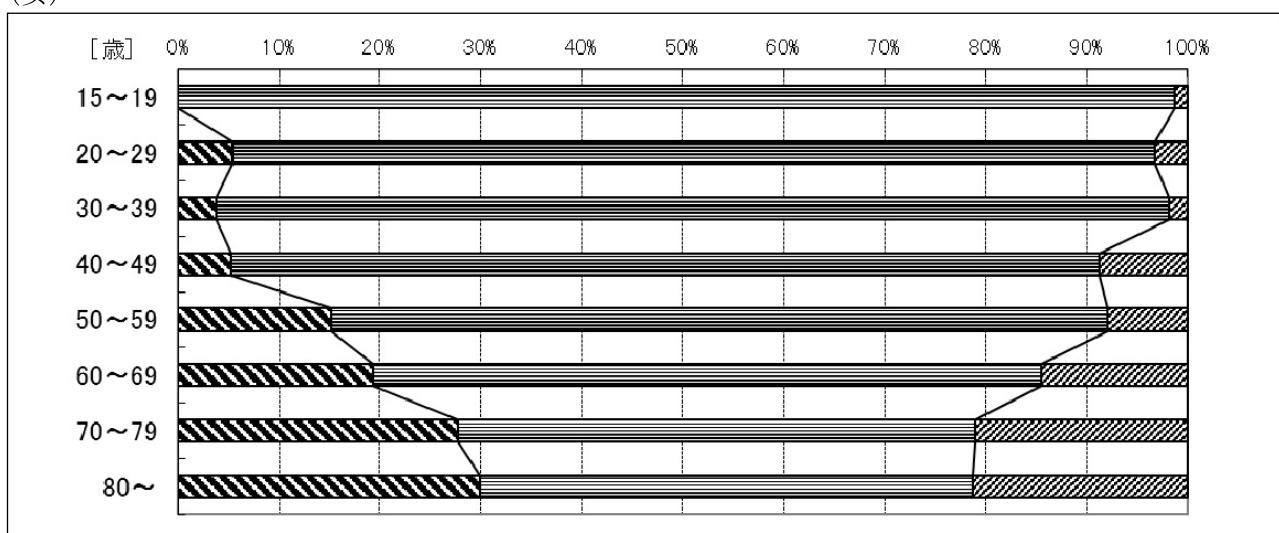
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	気になる	7 (8.9)	2 (2.3)	2 (2.1)	14 (10.1)	27 (19.1)	54 (30.9)	49 (28.7)	33 (29.7)	188 (18.9)
	気にならない	65 (82.3)	82 (95.3)	89 (93.7)	118 (85.5)	100 (70.9)	109 (62.3)	91 (53.2)	53 (47.7)	707 (71.0)
	無回答	7 (8.9)	2 (2.3)	4 (4.2)	6 (4.3)	14 (9.9)	12 (6.9)	31 (18.1)	25 (22.5)	101 (10.1)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	気になる	0 (0.0)	5 (5.4)	4 (3.7)	9 (5.3)	23 (15.1)	44 (19.3)	50 (27.8)	52 (29.9)	187 (15.8)
	気にならない	76 (98.7)	84 (91.3)	101 (94.4)	147 (86.0)	117 (77.0)	151 (66.2)	92 (51.1)	85 (48.9)	853 (72.2)
	無回答	1 (1.3)	3 (3.3)	2 (1.9)	15 (8.8)	12 (7.9)	33 (14.5)	38 (21.1)	37 (21.3)	141 (11.9)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	気になる	7 (4.5)	7 (3.9)	6 (3.0)	23 (7.4)	50 (17.1)	98 (24.3)	99 (28.2)	85 (29.8)	375 (17.2)
	気にならない	141 (90.4)	166 (93.3)	190 (94.1)	265 (85.8)	217 (74.1)	260 (64.5)	183 (52.1)	138 (48.4)	1,560 (71.7)
	無回答	8 (5.1)	5 (2.8)	6 (3.0)	21 (6.8)	26 (8.9)	45 (11.2)	69 (19.7)	62 (21.8)	242 (11.1)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

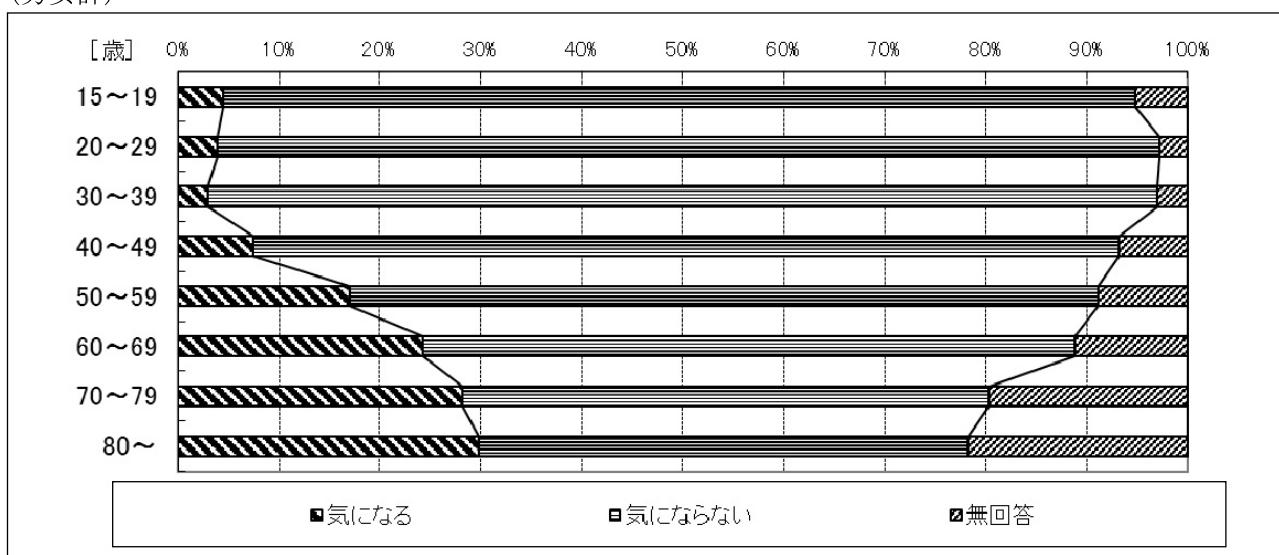


図 2-3 歯や口の状態（噛めないものがある）

問1 歯や口の状態について気になることはありますか。

(4) 飲み込みにくい

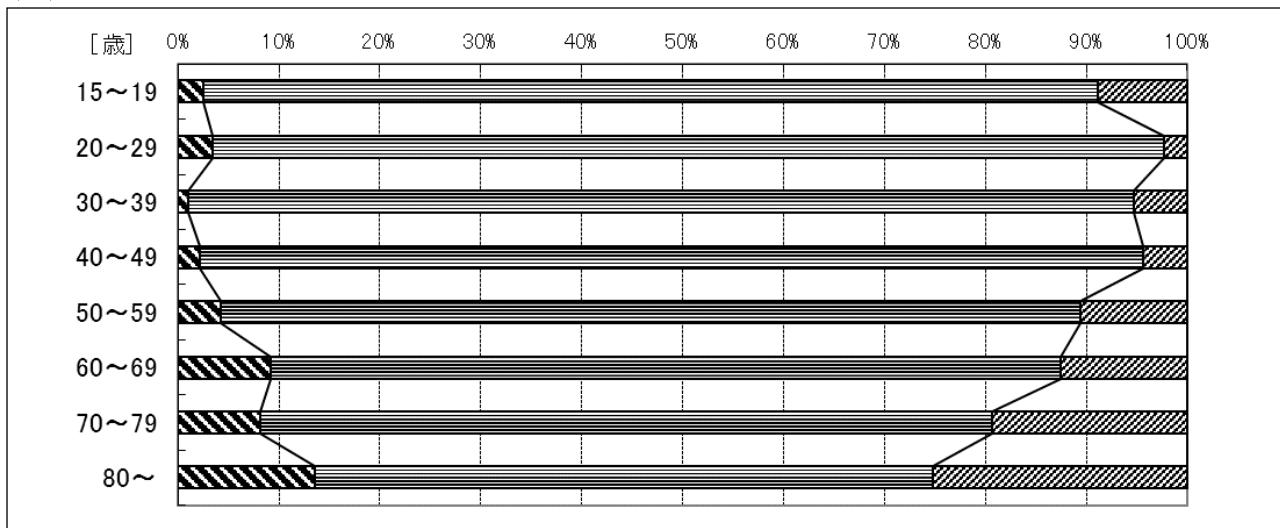
- 「飲み込みにくい」について気になると答えた者は、全体で5.4%であった。
- 年齢階級別にみると、80歳以上で15.4%と最も高く、30～39歳で1.5%と最も低かった。
- 男性では、80歳以上で13.5%と最も高く、30～39歳で1.1%と最も低かった。
- 女性では、80歳以上で16.7%と最も高く、20～29歳で1.1%と最も低かった。

表2－7 歯や口の状態（飲み込みにくい）

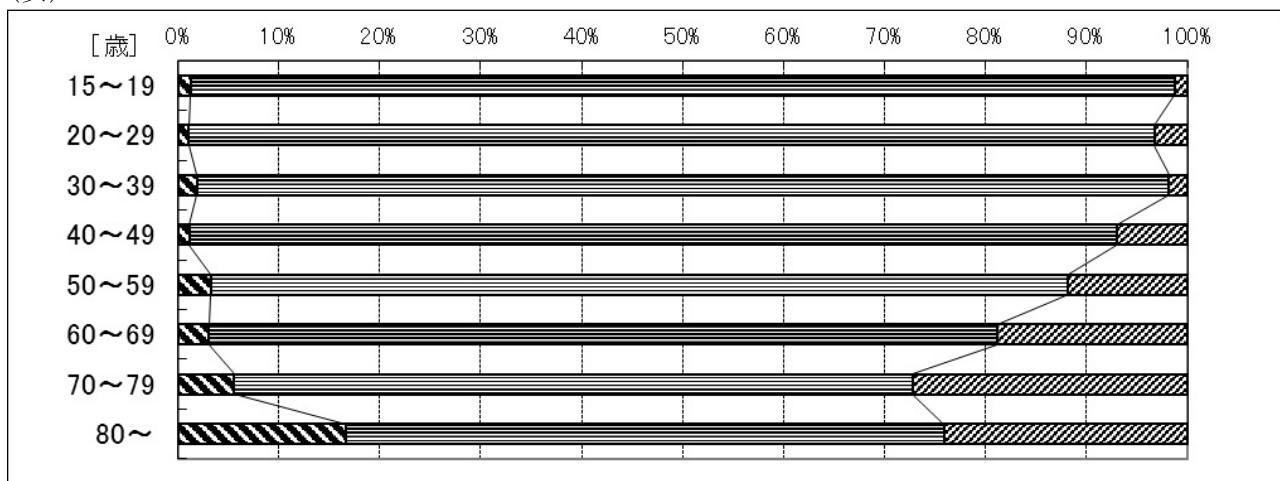
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	気になる	2 (2.5)	3 (3.5)	1 (1.1)	3 (2.2)	6 (4.3)	16 (9.1)	14 (8.2)	15 (13.5)	60 (6.0)
	気にならない	70 (88.6)	81 (94.2)	89 (93.7)	129 (93.5)	120 (85.1)	137 (78.3)	124 (72.5)	68 (61.3)	818 (82.1)
	無回答	7 (8.9)	2 (2.3)	5 (5.3)	6 (4.3)	15 (10.6)	22 (12.6)	33 (19.3)	28 (25.2)	118 (11.8)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	気になる	1 (1.3)	1 (1.1)	2 (1.9)	2 (1.2)	5 (3.3)	7 (3.1)	10 (5.6)	29 (16.7)	57 (4.8)
	気にならない	75 (97.4)	88 (95.7)	103 (96.3)	157 (91.8)	129 (84.9)	178 (78.1)	121 (67.2)	103 (59.2)	954 (80.8)
	無回答	1 (1.3)	3 (3.3)	2 (1.9)	12 (7.0)	18 (11.8)	43 (18.9)	49 (27.2)	42 (24.1)	170 (14.4)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	気になる	3 (1.9)	4 (2.2)	3 (1.5)	5 (1.6)	11 (3.8)	23 (5.7)	24 (6.8)	44 (15.4)	117 (5.4)
	気にならない	145 (92.9)	169 (94.9)	192 (95.0)	286 (92.6)	249 (85.0)	315 (78.2)	245 (69.8)	171 (60.0)	1,772 (81.4)
	無回答	8 (5.1)	5 (2.8)	7 (3.5)	18 (5.8)	33 (11.3)	65 (16.1)	82 (23.4)	70 (24.6)	288 (13.2)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

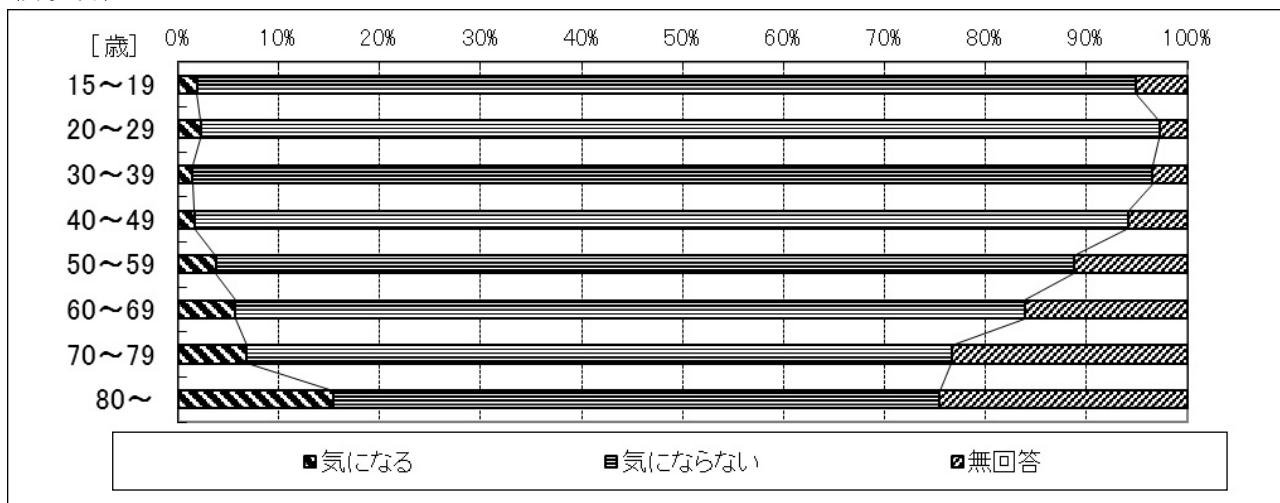


図2-4 歯や口の状態（飲み込みにくい）

問1 歯や口の状態について気になりますか。

(5) 味が分かりにくい

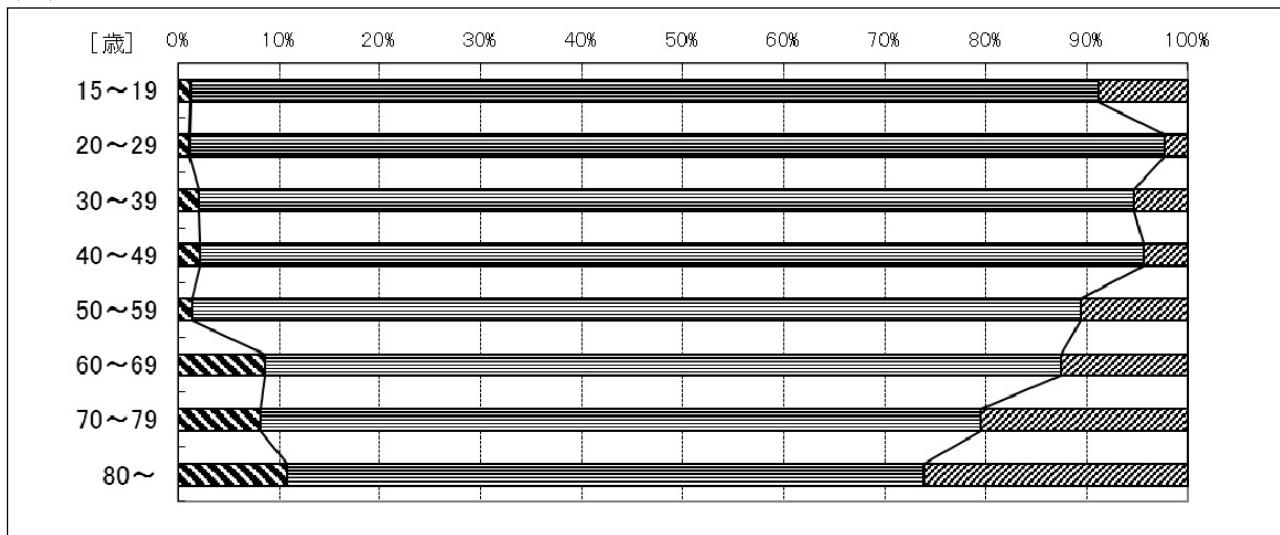
- 「味が分かりにくい」について気になると答えた者は、全体で4.2%であった。
- 年齢階級別にみると、80歳以上で11.6%と最も高く、15～19歳、20～29歳で0.6%と最も低かった。
- 男性では、80歳以上で10.8%と最も高く、20～29歳で1.2%と最も低かった。
- 女性では、80歳以上で12.1%と最も高く、15～19歳、20～29歳、40～49歳で0.0%と最も低かった。

表2－8 歯や口の状態（味が分かりにくい）

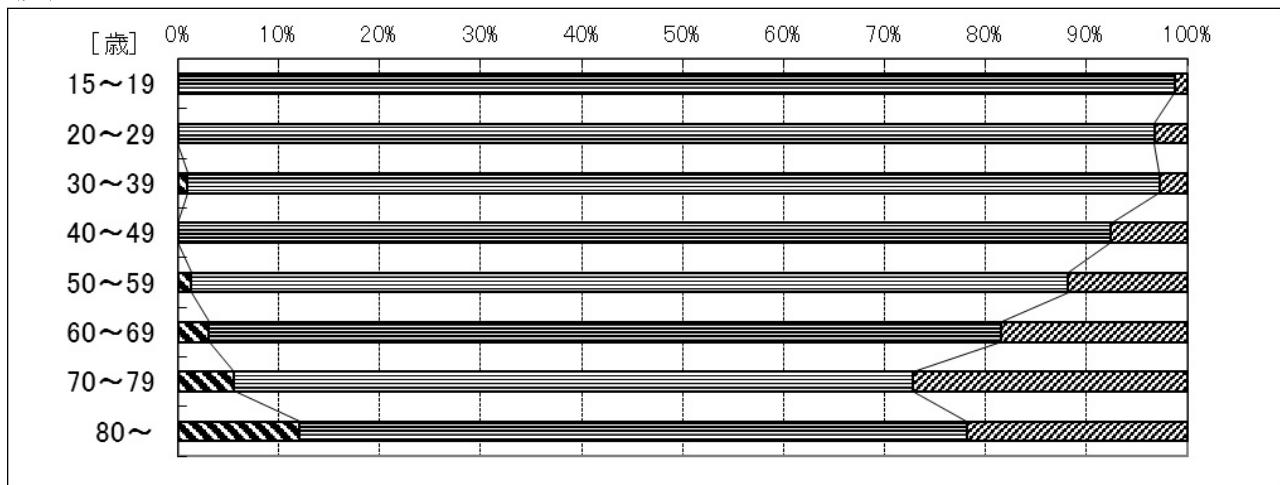
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	気になる	1 (1.3)	1 (1.2)	2 (2.1)	3 (2.2)	2 (1.4)	15 (8.6)	14 (8.2)	12 (10.8)	50 (5.0)
	気にならない	71 (89.9)	83 (96.5)	88 (92.6)	129 (93.5)	124 (87.9)	138 (78.9)	122 (71.3)	70 (63.1)	825 (82.8)
	無回答	7 (8.9)	2 (2.3)	5 (5.3)	6 (4.3)	15 (10.6)	22 (12.6)	35 (20.5)	29 (26.1)	121 (12.1)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	気になる	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	0 (0.0)	2 (1.3)	7 (3.1)	10 (5.6)	21 (12.1)	41 (3.5)
	気にならない	76 (98.7)	89 (96.7)	103 (96.3)	158 (92.4)	132 (86.8)	179 (78.5)	121 (67.2)	115 (66.1)	973 (82.4)
	無回答	1 (1.3)	3 (3.3)	3 (2.8)	13 (7.6)	18 (11.8)	42 (18.4)	49 (27.2)	38 (21.8)	167 (14.1)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	気になる	1 (0.6)	1 (0.6)	3 (1.5)	3 (1.0)	4 (1.4)	22 (5.5)	24 (6.8)	33 (11.6)	91 (4.2)
	気にならない	147 (94.2)	172 (96.6)	191 (94.6)	287 (92.9)	256 (87.4)	317 (78.7)	243 (69.2)	185 (64.9)	1,798 (82.6)
	無回答	8 (5.1)	5 (2.8)	8 (4.0)	19 (6.1)	33 (11.3)	64 (15.9)	84 (23.9)	67 (23.5)	288 (13.2)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

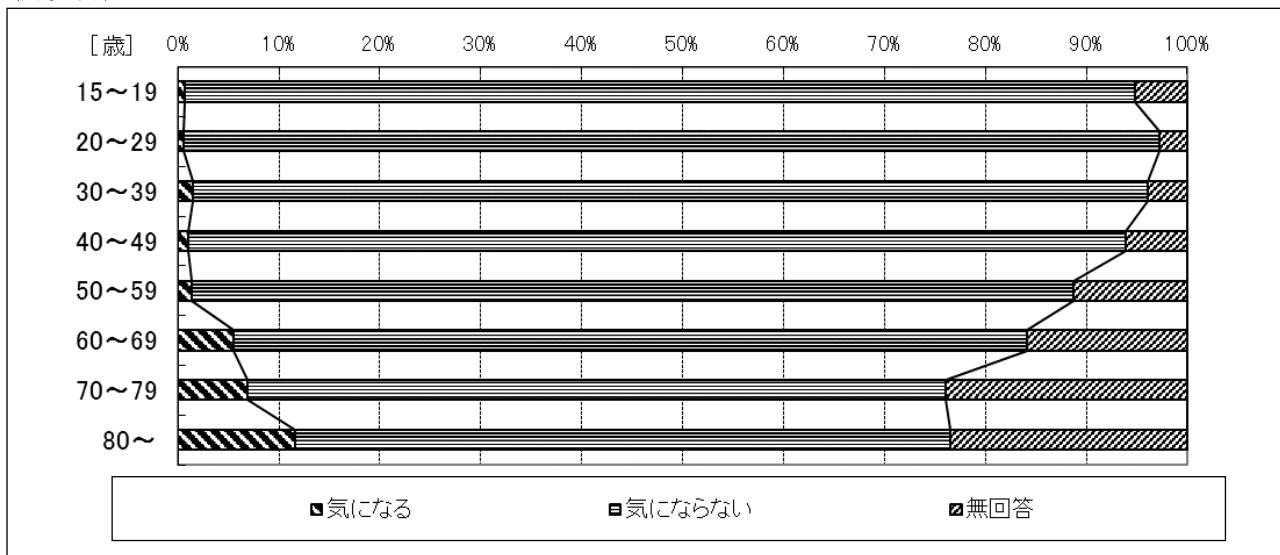


図2-5 歯や口の状態（味が分かりにくい）

問1 歯や口の状態について気になりますか。

(6) 口がかわく

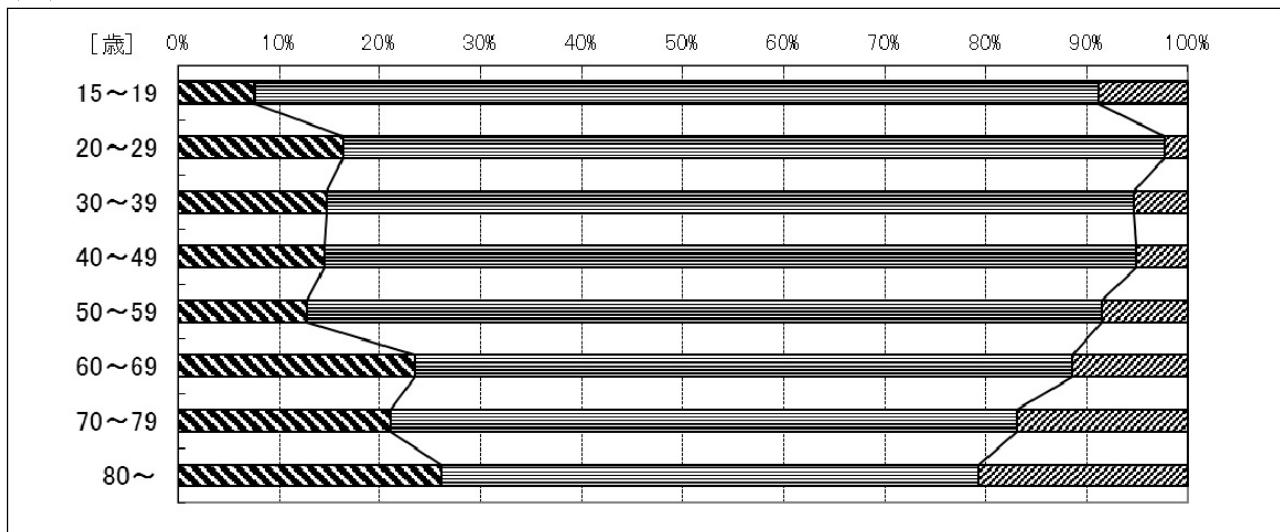
- 「口がかわく」について気になると答えた者は、全体で18.1%であった。
- 年齢階級別にみると、80歳以上で26.3%と最も高く、15～19歳で5.1%と最も低かった。
- 男性では、80歳以上で26.1%と最も高く、15～19歳で7.6%と最も低かった。
- 女性では、80歳以上で26.4%と最も高く、15～19歳で2.6%と最も低かった。

表2-9 歯や口の状態（口がかわく）

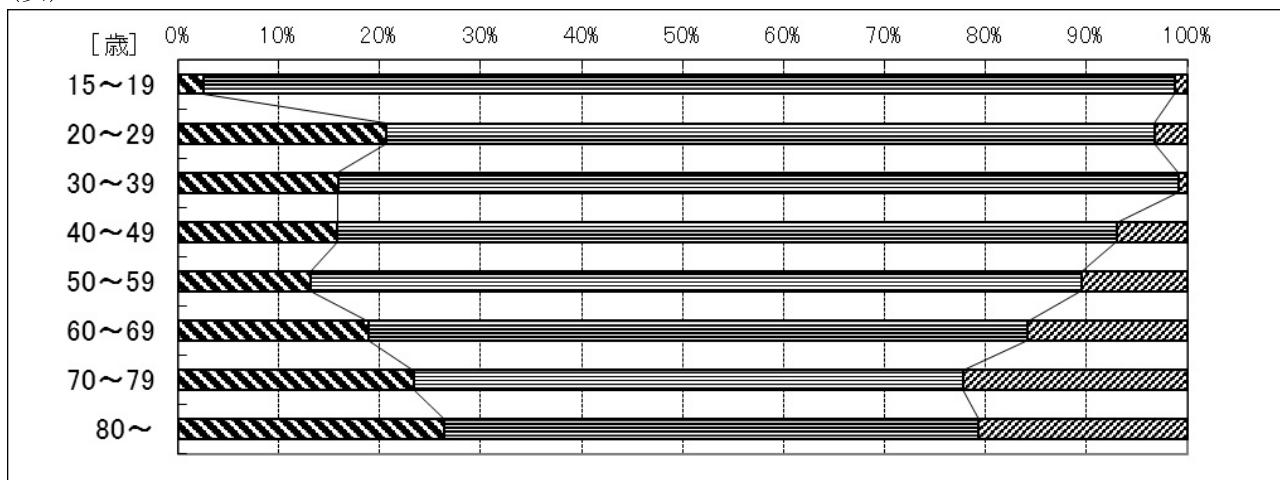
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	気になる	6 (7.6)	14 (16.3)	14 (14.7)	20 (14.5)	18 (12.8)	41 (23.4)	36 (21.1)	29 (26.1)	178 (17.9)
	気にならない	66 (83.5)	70 (81.4)	76 (80.0)	111 (80.4)	111 (78.7)	114 (65.1)	106 (62.0)	59 (53.2)	713 (71.6)
	無回答	7 (8.9)	2 (2.3)	5 (5.3)	7 (5.1)	12 (8.5)	20 (11.4)	29 (17.0)	23 (20.7)	105 (10.5)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	気になる	2 (2.6)	19 (20.7)	17 (15.9)	27 (15.8)	20 (13.2)	43 (18.9)	42 (23.3)	46 (26.4)	216 (18.3)
	気にならない	74 (96.1)	70 (76.1)	89 (83.2)	132 (77.2)	116 (76.3)	149 (65.4)	98 (54.4)	92 (52.9)	820 (69.4)
	無回答	1 (1.3)	3 (3.3)	1 (0.9)	12 (7.0)	16 (10.5)	36 (15.8)	40 (22.2)	36 (20.7)	145 (12.3)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	気になる	8 (5.1)	33 (18.5)	31 (15.3)	47 (15.2)	38 (13.0)	84 (20.8)	78 (22.2)	75 (26.3)	394 (18.1)
	気にならない	140 (89.7)	140 (78.7)	165 (81.7)	243 (78.6)	227 (77.5)	263 (65.3)	204 (58.1)	151 (53.0)	1,533 (70.4)
	無回答	8 (5.1)	5 (2.8)	6 (3.0)	19 (6.1)	28 (9.6)	56 (13.9)	69 (19.7)	59 (20.7)	250 (11.5)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

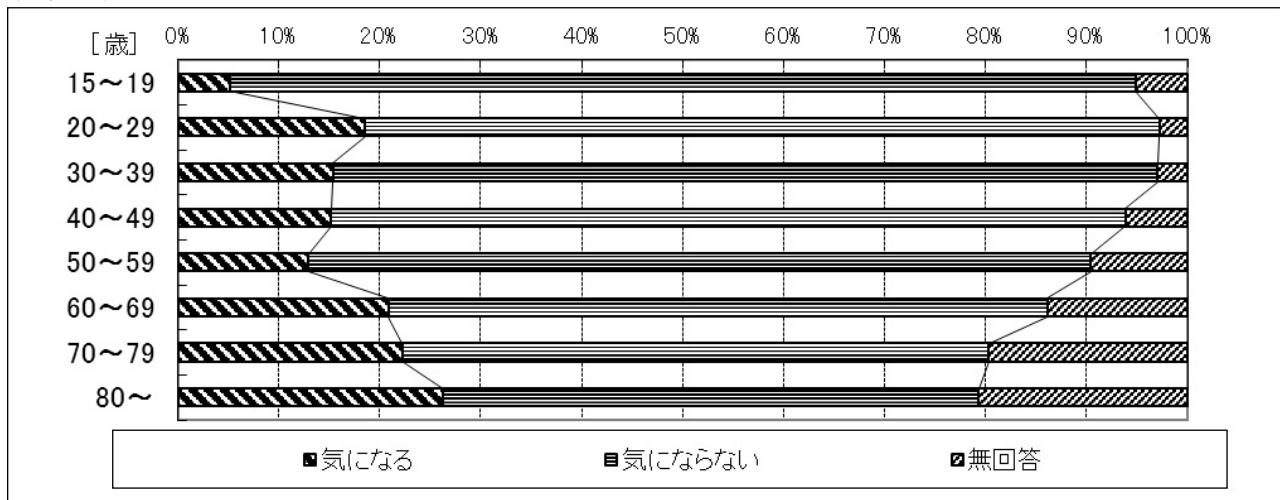


図2-6 歯や口の状態（口がかわく）

問1 歯や口の状態について気になることはありますか。

(7) 口臭がある

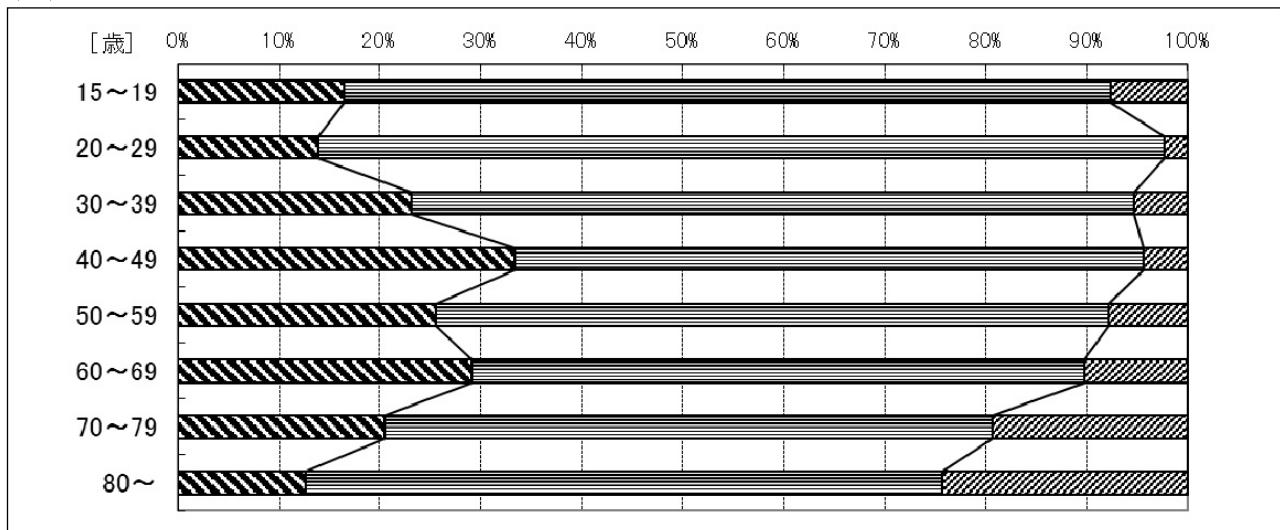
- 「口臭がある」について気になると答えた者は、全体で22.7%であった。
- 年齢階級別にみると、40～49歳で30.7%と最も高く、15～19歳で10.9%と最も低かった。
- 男性では、40～49歳で33.3%と最も高く、80歳以上で12.6%と最も低かった。
- 女性では、40～49歳で28.7%と最も高く、15～19歳で5.2%と最も低かった。

表2－10 歯や口の状態（口臭がある）

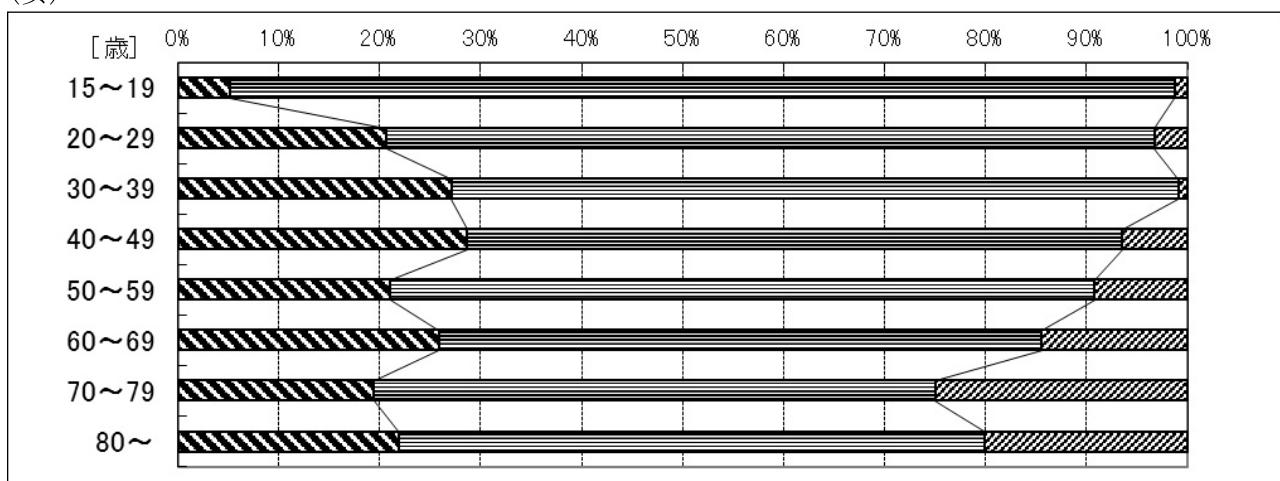
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	気になる	13 (16.5)	12 (14.0)	22 (23.2)	46 (33.3)	36 (25.5)	51 (29.1)	35 (20.5)	14 (12.6)	229 (23.0)
	気にならない	60 (75.9)	72 (83.7)	68 (71.6)	86 (62.3)	94 (66.7)	106 (60.6)	103 (60.2)	70 (63.1)	659 (66.2)
	無回答	6 (7.6)	2 (2.3)	5 (5.3)	6 (4.3)	11 (7.8)	18 (10.3)	33 (19.3)	27 (24.3)	108 (10.8)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	気になる	4 (5.2)	19 (20.7)	29 (27.1)	49 (28.7)	32 (21.1)	59 (25.9)	35 (19.4)	38 (21.8)	265 (22.4)
	気にならない	72 (93.5)	70 (76.1)	77 (72.0)	111 (64.9)	106 (69.7)	136 (59.6)	100 (55.6)	101 (58.0)	773 (65.5)
	無回答	1 (1.3)	3 (3.3)	1 (0.9)	11 (6.4)	14 (9.2)	33 (14.5)	45 (25.0)	35 (20.1)	143 (12.1)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	気になる	17 (10.9)	31 (17.4)	51 (25.2)	95 (30.7)	68 (23.2)	110 (27.3)	70 (19.9)	52 (18.2)	494 (22.7)
	気にならない	132 (84.6)	142 (79.8)	145 (71.8)	197 (63.8)	200 (68.3)	242 (60.0)	203 (57.8)	171 (60.0)	1,432 (65.8)
	無回答	7 (4.5)	5 (2.8)	6 (3.0)	17 (5.5)	25 (8.5)	51 (12.7)	78 (22.2)	62 (21.8)	251 (11.5)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

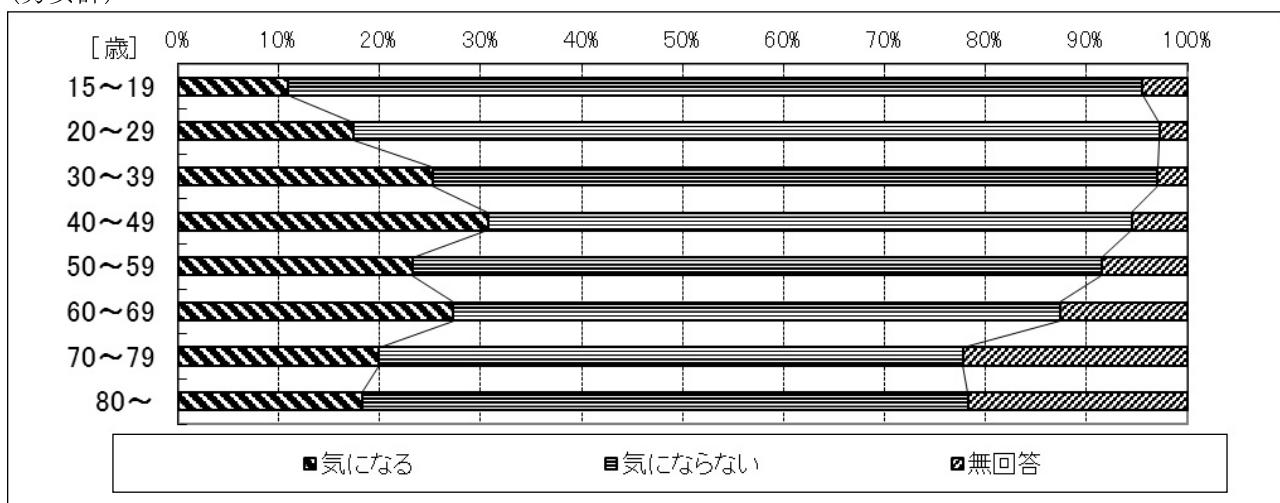


図 2-7 歯や口の状態（口臭がある）

問2 歯みがきの状況についておたずねします。

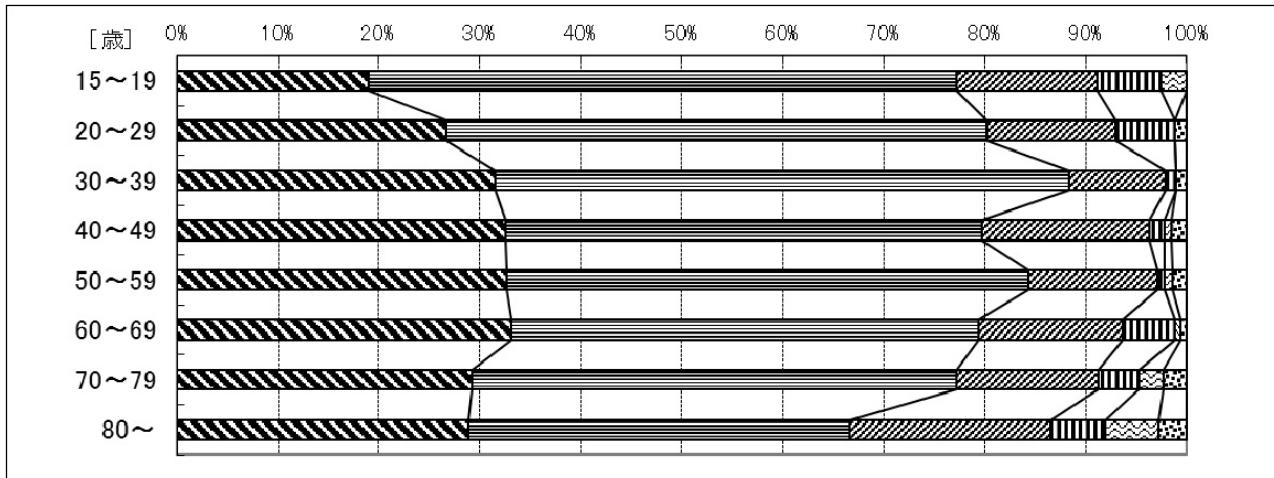
表2-11 歯みがきの状況

年齢		15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計	
男	毎日みがく	1回 (19.0)	15 (26.7)	23 (31.6)	30 (32.6)	45 (32.6)	46 (33.1)	58 (29.2)	50 (28.8)	299 (30.0)	
		2回 (58.2)	46 (53.5)	54 (56.8)	65 (47.1)	73 (51.8)	81 (46.3)	82 (48.0)	42 (37.8)	489 (49.1)	
		3回以上 (13.9)	11 (12.8)	11 (9.5)	9 (16.7)	23 (12.8)	18 (14.3)	25 (14.0)	24 (19.8)	143 (14.4)	
	ときどきみがく		5 (6.3)	5 (5.8)	1 (1.1)	2 (1.4)	1 (0.7)	9 (5.1)	7 (4.1)	36 (3.6)	
	みがかない		2 (2.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.7)	1 (0.7)	1 (0.6)	4 (2.3)	6 (5.4)	15 (1.5)
	無回答		0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.1)	2 (1.4)	2 (1.4)	1 (0.6)	4 (2.3)	3 (2.7)	14 (1.4)
	計		79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	毎日みがく	1回 (13.0)	10 (15.2)	14 (13.1)	14 (12.9)	22 (8.6)	13 (15.4)	27 (15.0)	36 (20.7)	171 (14.5)	
		2回 (67.5)	52 (57.6)	53 (50.5)	54 (50.9)	87 (55.9)	85 (53.1)	121 (50.0)	90 (47.7)	625 (52.9)	
		3回以上 (19.5)	15 (25.0)	23 (35.5)	38 (35.7)	61 (34.2)	52 (30.7)	70 (31.1)	56 (24.1)	357 (30.2)	
	ときどきみがく		0 (0.0)	2 (2.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	6 (3.4)	9 (0.8)
	みがかない		0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.1)	2 (0.2)
	無回答		0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	1 (0.6)	2 (1.3)	2 (0.9)	6 (3.3)	5 (2.9)	17 (1.4)
	計		77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	毎日みがく	1回 (16.0)	25 (20.8)	37 (21.8)	44 (21.7)	67 (20.1)	59 (23.1)	93 (21.9)	77 (23.9)	68 (21.6)	470
		2回 (62.8)	98 (55.6)	99 (53.5)	108 (49.2)	152 (53.9)	158 (50.1)	202 (49.0)	172 (43.9)	125 (51.2)	1,114
		3回以上 (16.7)	26 (19.1)	34 (23.3)	47 (27.2)	84 (23.9)	70 (23.6)	95 (22.8)	80 (22.5)	64 (23.0)	500
	ときどきみがく		5 (3.2)	7 (3.9)	1 (0.5)	2 (0.6)	1 (0.3)	9 (2.2)	8 (2.3)	12 (4.2)	45 (2.1)
	みがかない		2 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	1 (0.3)	1 (0.2)	4 (1.1)	8 (2.8)	17 (0.8)
	無回答		0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.0)	3 (1.0)	4 (1.4)	3 (0.7)	10 (2.8)	8 (2.8)	31 (1.4)
	計		156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

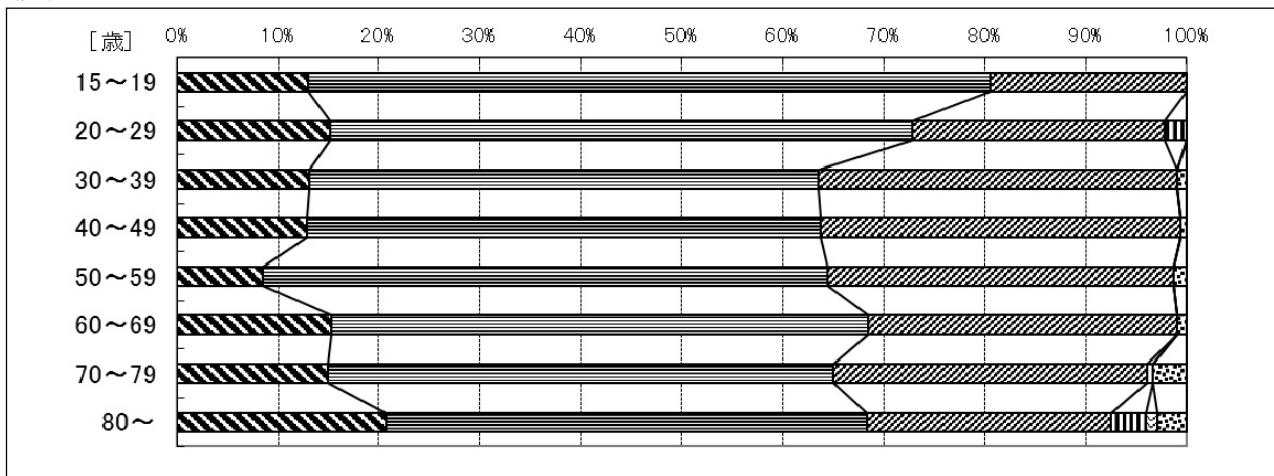
※括弧内は%

- ▶ 全ての年齢階級で、1日2回みがく者が最も多かった。
- ▶ 男性で1日3回以上みがく者の割合が最も高かったのは、80歳以上の19.8%であった。
- ▶ 女性で1日3回以上みがく者の割合が最も高かったのは、40～49歳の35.7%であった。
- ▶ 女性では、80歳以上を除く全ての年齢階級で1日2回みがく者が過半数を占めていた。
- ▶ 1日3回以上みがく者の割合が、全ての年齢階級で男性に比べて女性の方が高かった。

(男)



(女)



(男女計)

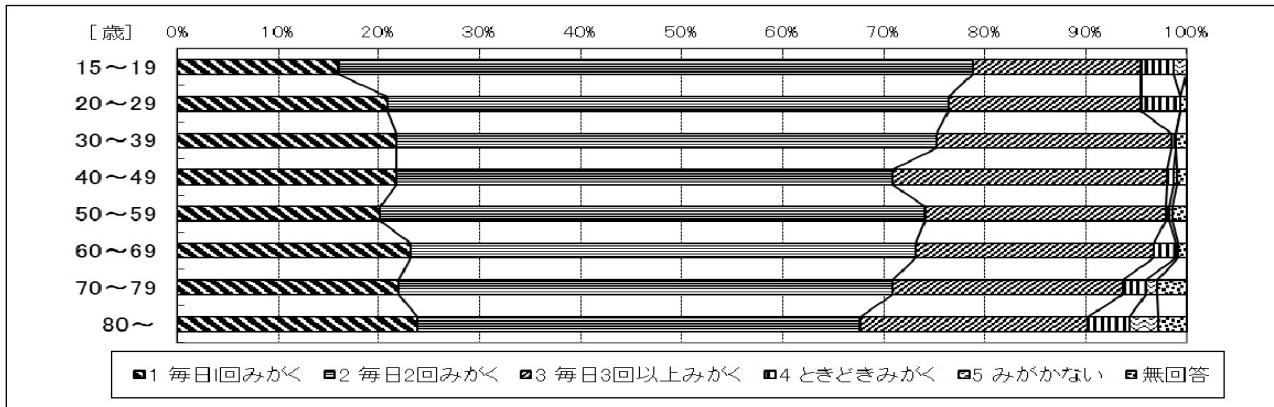


図2-8 歯みがきの状況

問3 歯間ブラシや糸ようじを使っていますか。

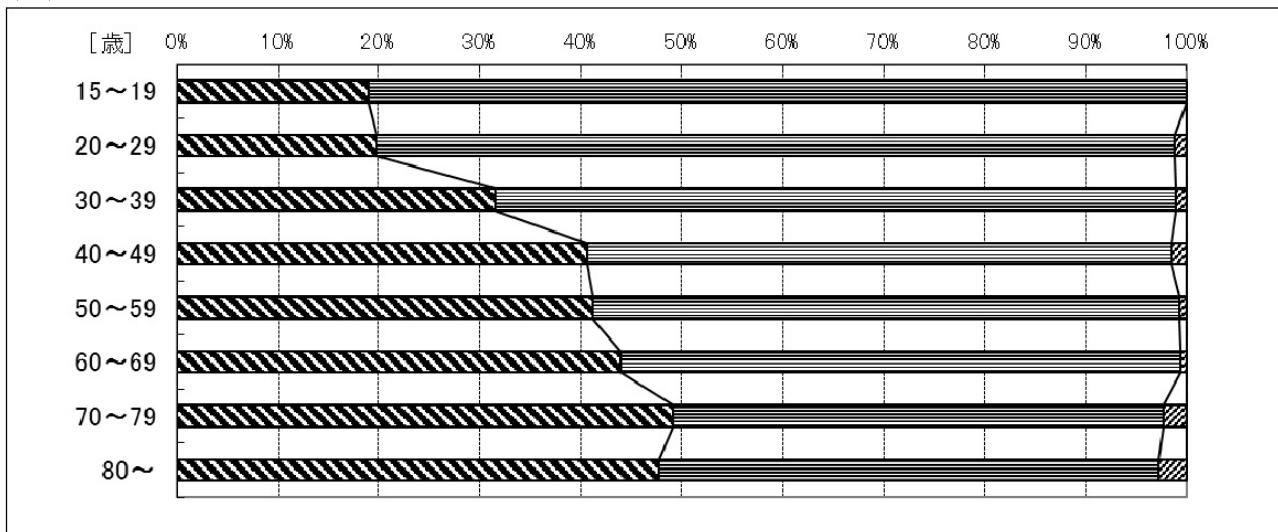
- 歯間ブラシや糸ようじを使用している者は48.3%であり、男性に比べて女性の方が16.9ポイント高かった。また、全ての年齢階級で女性の方が高かった。
- 年齢階級別にみると、60～69歳、70～79歳で56.1%と最も高く、15～19歳で20.5%と最も低かった。
- 男性では、70～79歳で49.1%と最も高く、15～19歳で19.0%と最も低かった。
- 女性では、50～59歳で69.1%と最も高く、15～19歳で22.1%と最も低かった。

表2－12 歯間ブラシや糸ようじの使用状況

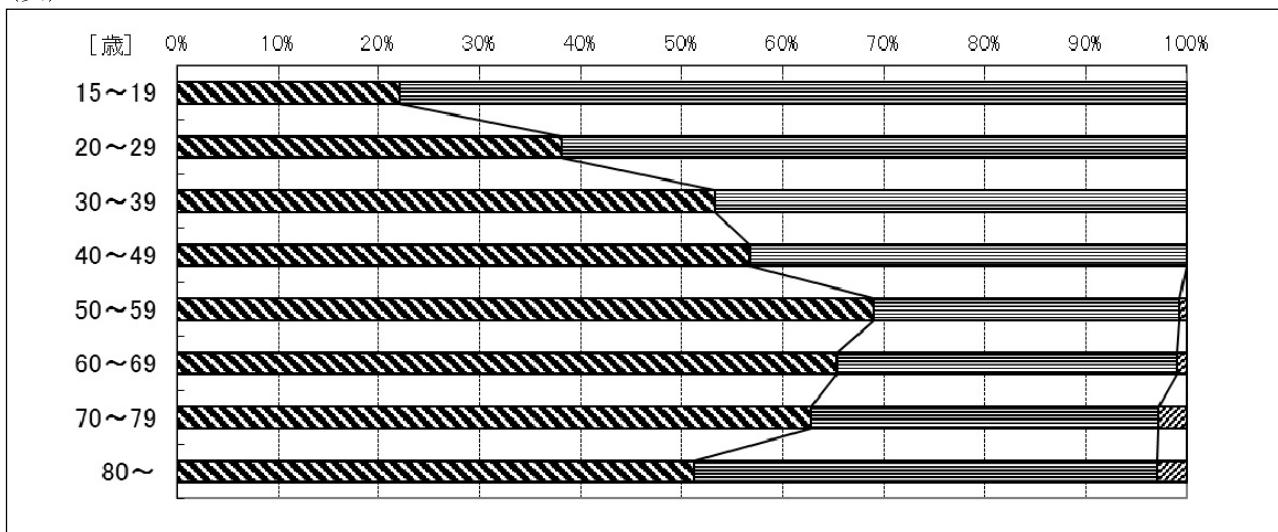
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	15 (19.0)	17 (19.8)	30 (31.6)	56 (40.6)	58 (41.1)	77 (44.0)	84 (49.1)	53 (47.7)	390 (39.2)
	いいえ	64 (81.0)	68 (79.1)	64 (67.4)	80 (58.0)	82 (58.2)	97 (55.4)	83 (48.5)	55 (49.5)	593 (59.5)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.1)	2 (1.4)	1 (0.7)	1 (0.6)	4 (2.3)	3 (2.7)	13 (1.3)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	17 (22.1)	35 (38.0)	57 (53.3)	97 (56.7)	105 (69.1)	149 (65.4)	113 (62.8)	89 (51.1)	662 (56.1)
	いいえ	60 (77.9)	57 (62.0)	50 (46.7)	74 (43.3)	46 (30.3)	77 (33.8)	62 (34.4)	80 (46.0)	506 (42.8)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.7)	2 (0.9)	5 (2.8)	5 (2.9)	13 (1.1)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	32 (20.5)	52 (29.2)	87 (43.1)	153 (49.5)	163 (55.6)	226 (56.1)	197 (56.1)	142 (49.8)	1052 (48.3)
	いいえ	124 (79.5)	125 (70.2)	114 (56.4)	154 (49.8)	128 (43.7)	174 (43.2)	145 (41.3)	135 (47.4)	1,099 (50.5)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.5)	2 (0.6)	2 (0.7)	3 (0.7)	9 (2.6)	8 (2.8)	26 (1.2)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

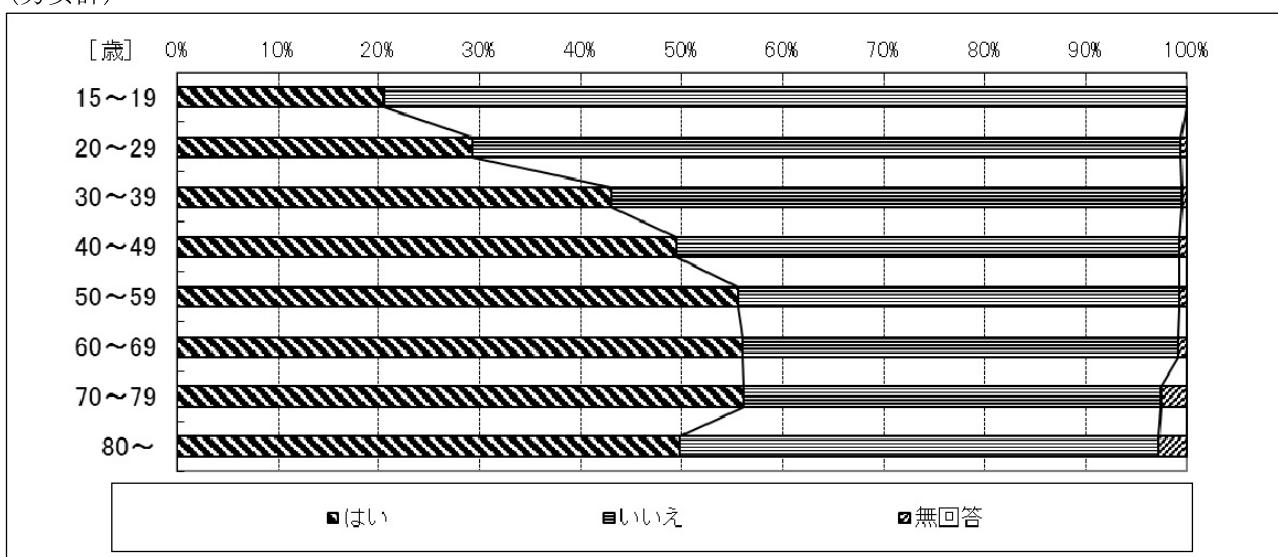


図2-9 歯間ブラシや糸ようじの使用状況

問4 フッ素入りの歯みがき剤（歯みがき粉）を使っていますか。

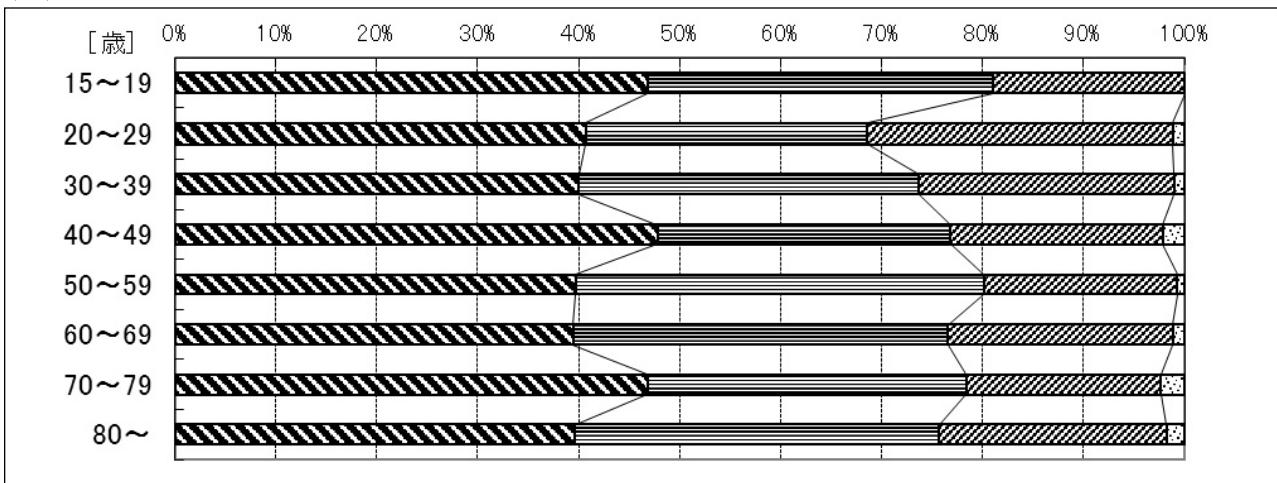
- フッ素入り歯みがき剤（歯みがき粉）を使用している者は47.5%であった。
- 年齢階級別にみると、15～19歳で52.6%と最も高く、80歳以上で40.7%と最も低かった。
- 男性では、40～49歳で47.8%と最も高く、60～69歳で39.4%と最も低かった。
- 女性では、30～39歳で59.8%と最も高く、80歳以上で41.4%と最も低かった。
- 全ての年齢階級で男性に比べて女性の方が高かった。

表2－13 フッ素入り歯みがき剤（歯みがき粉）の使用状況

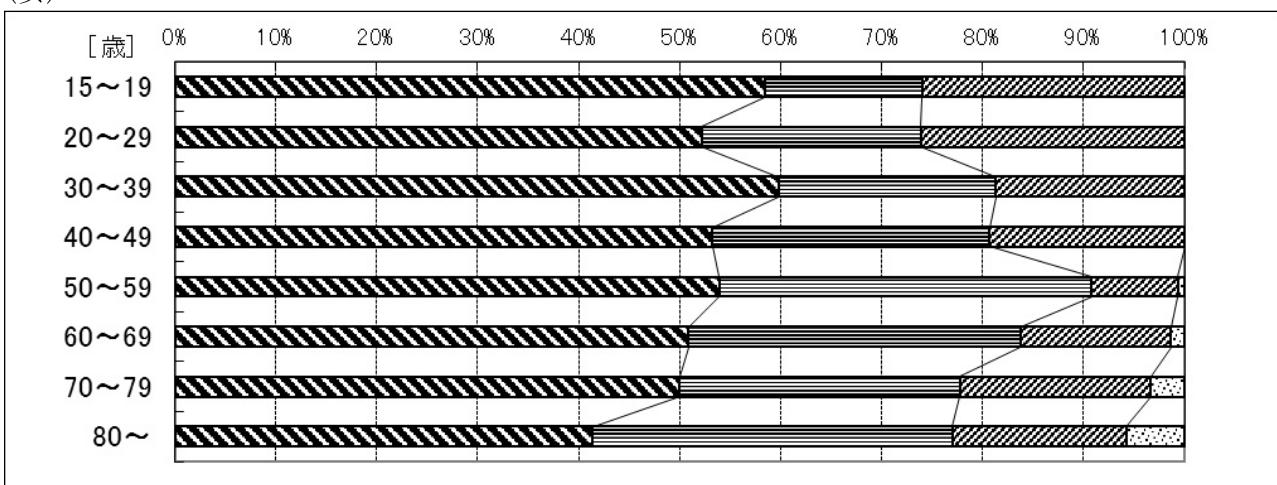
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	37 (46.8)	35 (40.7)	38 (40.0)	66 (47.8)	56 (39.7)	69 (39.4)	80 (46.8)	44 (39.6)	425 (42.7)
	いいえ	27 (34.2)	24 (27.9)	32 (33.7)	40 (29.0)	57 (40.4)	65 (37.1)	54 (31.6)	40 (36.0)	339 (34.0)
	わからない	15 (19.0)	26 (30.2)	24 (25.3)	29 (21.0)	27 (19.1)	39 (22.3)	33 (19.3)	25 (22.5)	218 (21.9)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.1)	3 (2.2)	1 (0.7)	2 (1.1)	4 (2.3)	2 (1.8)	14 (1.4)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	45 (58.4)	48 (52.2)	64 (59.8)	91 (53.2)	82 (53.9)	116 (50.9)	90 (50.0)	72 (41.4)	608 (51.5)
	いいえ	12 (15.6)	20 (21.7)	23 (21.5)	47 (27.5)	56 (36.8)	75 (32.9)	50 (27.8)	62 (35.6)	345 (29.2)
	わからない	20 (26.0)	24 (26.1)	20 (18.7)	33 (19.3)	13 (8.6)	34 (14.9)	34 (18.9)	30 (17.2)	208 (17.6)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.7)	3 (1.3)	6 (3.3)	10 (5.7)	20 (1.7)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	82 (52.6)	83 (46.6)	102 (50.5)	157 (50.8)	138 (47.1)	185 (45.9)	170 (48.4)	116 (40.7)	1,033 (47.5)
	いいえ	39 (25.0)	44 (24.7)	55 (27.2)	87 (28.2)	113 (38.6)	140 (34.7)	104 (29.6)	102 (35.8)	684 (31.4)
	わからない	35 (22.4)	50 (28.1)	44 (21.8)	62 (20.1)	40 (13.7)	73 (18.1)	67 (19.1)	55 (19.3)	426 (19.6)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.5)	3 (1.0)	2 (0.7)	5 (1.2)	10 (2.8)	12 (4.2)	34 (1.6)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

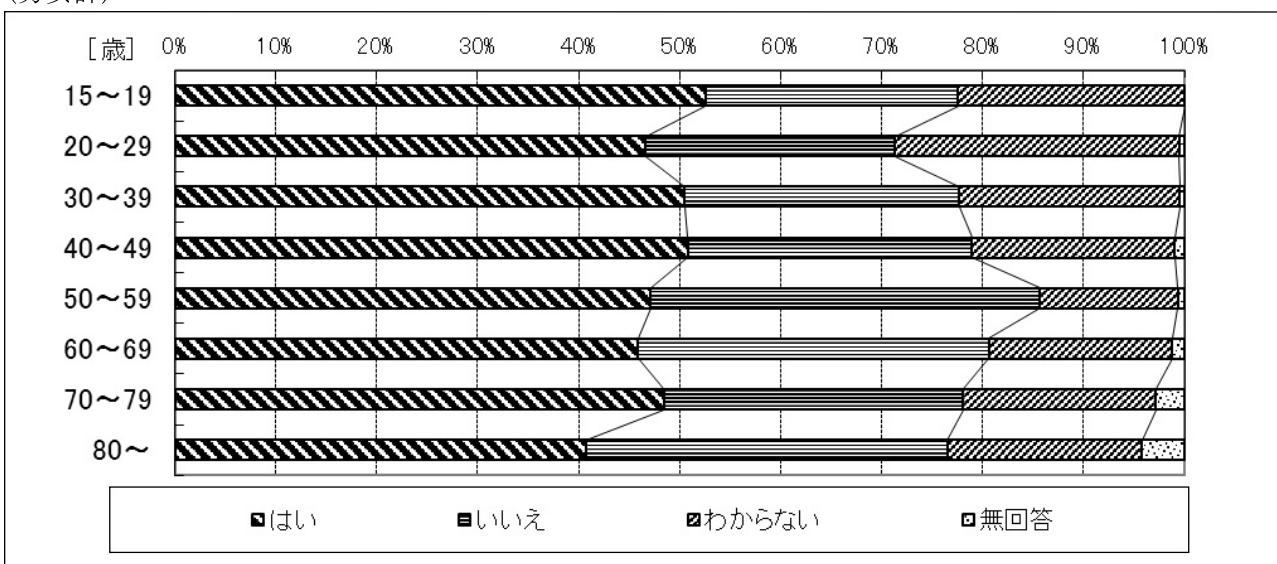


図2－10 フッ素入り歯みがき剤（歯みがき粉）の使用状況

問5 過去1年間に歯科健診を受けましたか。

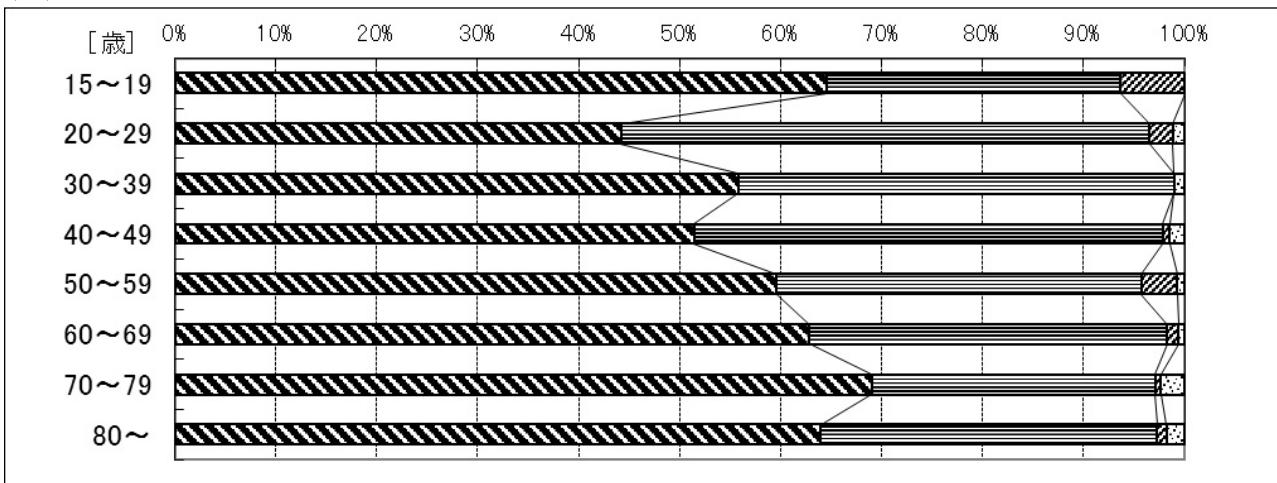
- 過去1年間に歯科健診を受診した者は63.8%であった。
- 年齢階級別でみると70～79歳の年齢階級で72.9%と最も高く、20～29歳で52.8%と最も低かった。
- 男性では、70～79歳で69.0%と最も高く、20～29歳で44.2%と最も低かった。
- 女性では、全ての年齢階級で半数以上の者が歯科健診を受診しており、70～79歳で76.7%と最も高かった。
- 全ての年齢階級で男性に比べて女性の方が高かった。

表2－14 過去1年間の歯科健診の受診状況

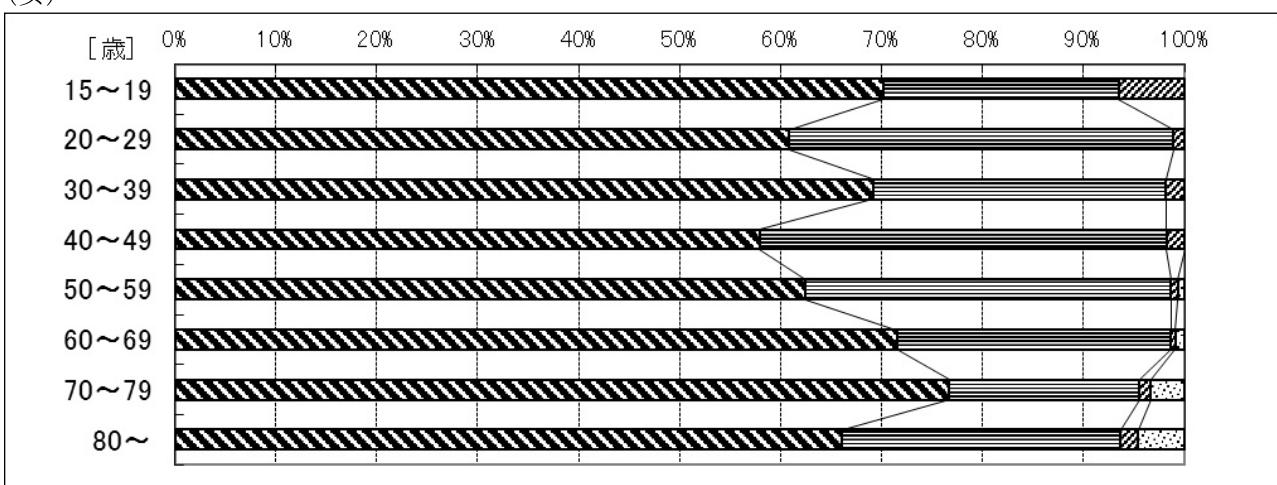
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	51 (64.6)	38 (44.2)	53 (55.8)	71 (51.4)	84 (59.6)	110 (62.9)	118 (69.0)	71 (64.0)	596 (59.8)
	いいえ	23 (29.1)	45 (52.3)	41 (43.2)	64 (46.4)	51 (36.2)	62 (35.4)	48 (28.1)	37 (33.3)	371 (37.2)
	わからない	5 (6.3)	2 (2.3)	0 (0.0)	1 (0.7)	5 (3.5)	2 (1.1)	1 (0.6)	1 (0.9)	17 (1.7)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.1)	2 (1.4)	1 (0.7)	1 (0.6)	4 (2.3)	2 (1.8)	12 (1.2)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	54 (70.1)	56 (60.9)	74 (69.2)	99 (57.9)	95 (62.5)	163 (71.5)	138 (76.7)	115 (66.1)	794 (67.2)
	いいえ	18 (23.4)	35 (38.0)	31 (29.0)	69 (40.4)	55 (36.2)	62 (27.2)	34 (18.9)	48 (27.6)	352 (29.8)
	わからない	5 (6.5)	1 (1.1)	2 (1.9)	3 (1.8)	1 (0.7)	1 (0.4)	2 (1.1)	3 (1.7)	18 (1.5)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.7)	2 (0.9)	6 (3.3)	8 (4.6)	17 (1.4)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	105 (67.3)	94 (52.8)	127 (62.9)	170 (55.0)	179 (61.1)	273 (67.7)	256 (72.9)	186 (65.3)	1,390 (63.8)
	いいえ	41 (26.3)	80 (44.9)	72 (35.6)	133 (43.0)	106 (36.2)	124 (30.8)	82 (23.4)	85 (29.8)	723 (33.2)
	わからない	10 (6.4)	3 (1.7)	2 (1.0)	4 (1.3)	6 (2.0)	3 (0.7)	3 (0.9)	4 (1.4)	35 (1.6)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.5)	2 (0.6)	2 (0.7)	3 (0.7)	10 (2.8)	10 (3.5)	29 (1.3)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

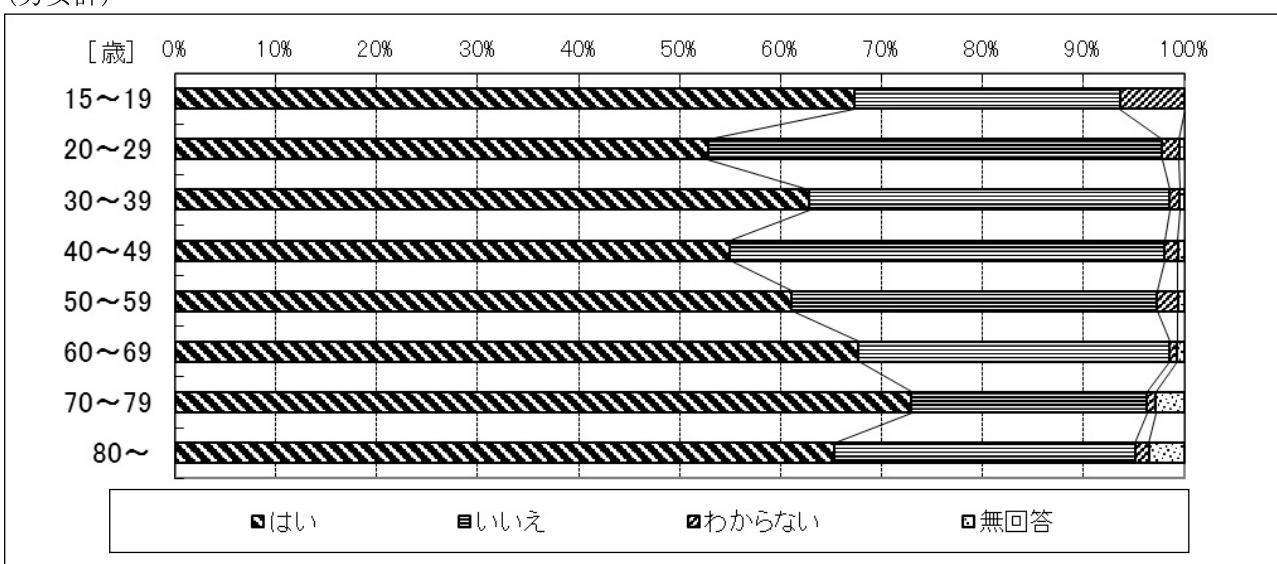


図 2－1－1 過去 1 年間の歯科健診の受診状況

問6 過去1年間に歯石をとってもらったことがありますか。

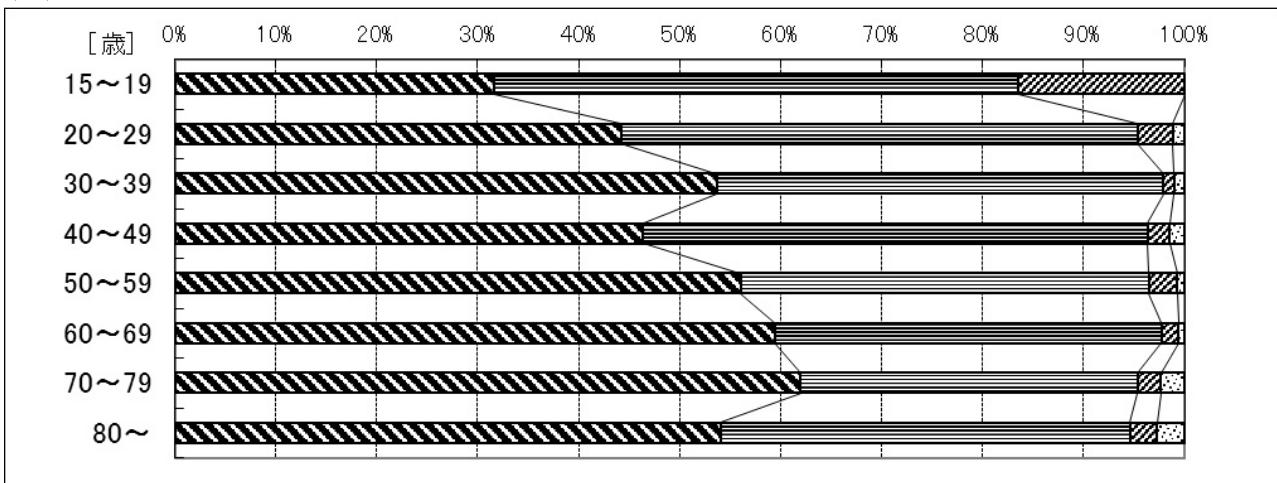
- 過去1年間に歯石除去を行ったものは56.0%であった。
- 年齢階級別にみると、70～79歳の年齢階級で64.4%と最も高く、15～19歳で36.5%と最も低かった。
- 男性では、70～79歳で62.0%と最も高く、15～19歳で31.6%と最も低かった。
- 女性では、30～39歳で67.3%と最も高く、15～19歳で41.6%と最も低かった。

表2－15 過去1年間の歯石除去の状況

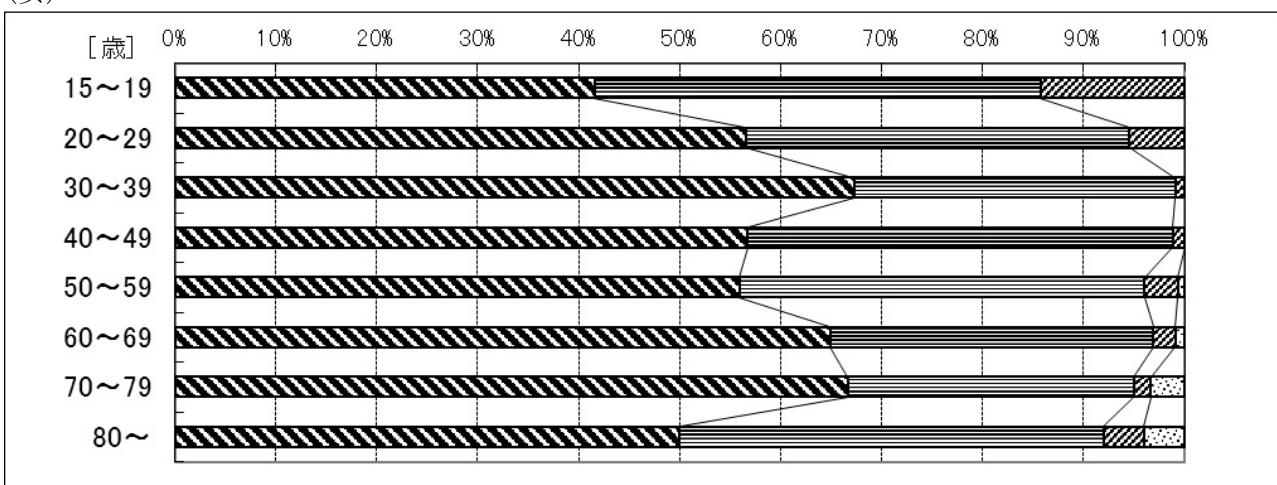
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	25 (31.6)	38 (44.2)	51 (53.7)	64 (46.4)	79 (56.0)	104 (59.4)	106 (62.0)	60 (54.1)	527 (52.9)
	いいえ	41 (51.9)	44 (51.2)	42 (44.2)	69 (50.0)	57 (40.4)	67 (38.3)	57 (33.3)	45 (40.5)	422 (42.4)
	わからない	13 (16.5)	3 (3.5)	1 (1.1)	3 (2.2)	4 (2.8)	3 (1.7)	4 (2.3)	3 (2.7)	34 (3.4)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.1)	2 (1.4)	1 (0.7)	1 (0.6)	4 (2.3)	3 (2.7)	13 (1.3)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	32 (41.6)	52 (56.5)	72 (67.3)	97 (56.7)	85 (55.9)	148 (64.9)	120 (66.7)	87 (50.0)	693 (58.7)
	いいえ	34 (44.2)	35 (38.0)	34 (31.8)	72 (42.1)	61 (40.1)	73 (32.0)	51 (28.3)	73 (42.0)	433 (36.7)
	わからない	11 (14.3)	5 (5.4)	1 (0.9)	2 (1.2)	5 (3.3)	5 (2.2)	3 (1.7)	7 (4.0)	39 (3.3)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.7)	2 (0.9)	6 (3.3)	7 (4.0)	16 (1.4)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	57 (36.5)	90 (50.6)	123 (60.9)	161 (52.1)	164 (56.0)	252 (62.5)	226 (64.4)	147 (51.6)	1,220 (56.0)
	いいえ	75 (48.1)	79 (44.4)	76 (37.6)	141 (45.6)	118 (40.3)	140 (34.7)	108 (30.8)	118 (41.4)	855 (39.3)
	わからない	24 (15.4)	8 (4.5)	2 (1.0)	5 (1.6)	9 (3.1)	8 (2.0)	7 (2.0)	10 (3.5)	73 (3.4)
	無回答	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.5)	2 (0.6)	2 (0.7)	3 (0.7)	10 (2.8)	10 (3.5)	29 (1.3)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

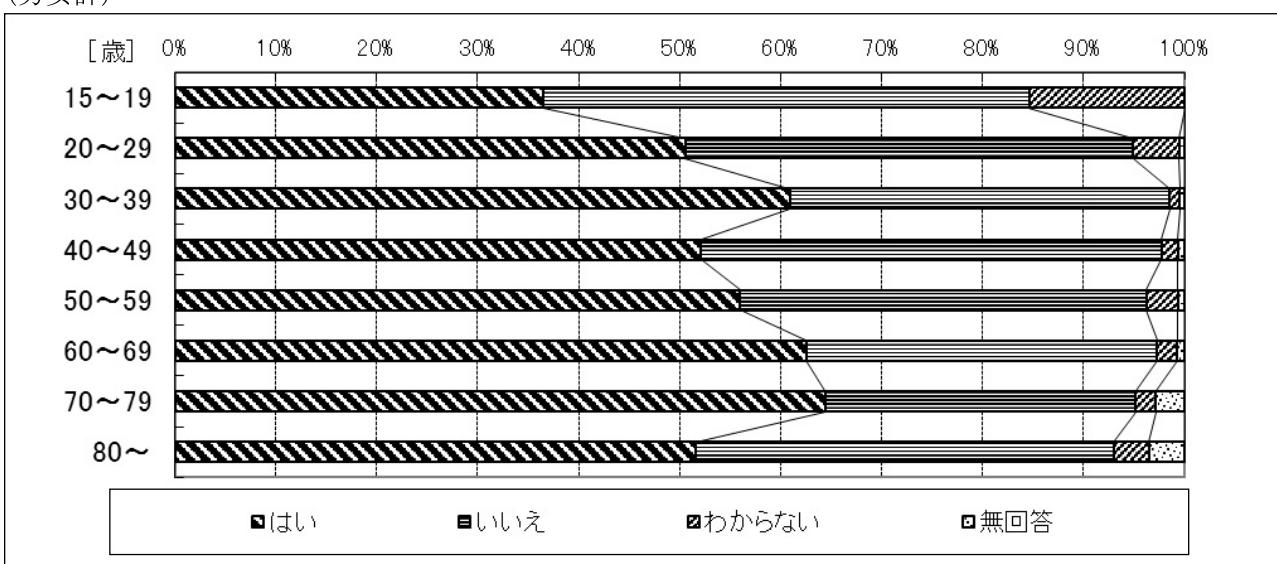


図 2－1－2 過去 1 年間の歯石除去の状況

問7 過去1年間に歯科医院でフッ素塗布をしてもらったことがありますか。

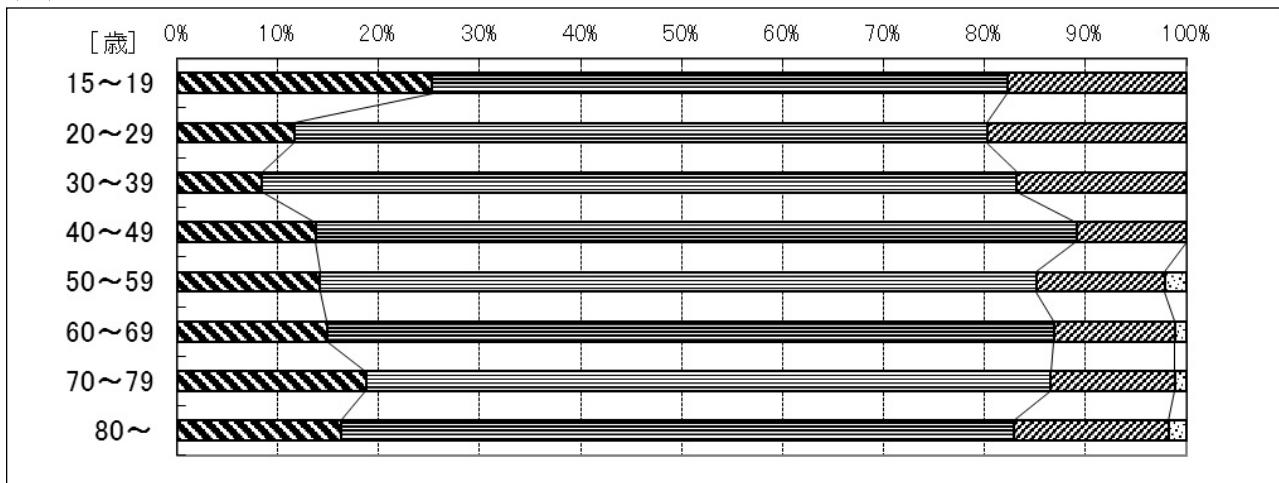
- 過去1年間に歯科医院でフッ素塗布してもらった者は17.9%であった。
- 年齢階級別にみると、15～19歳の年齢階級で29.5%と最も高く、30～39歳で15.3%と最も低かった。
- 男性では、15～19歳で25.3%と最も高く、30～39歳で8.4%と最も低かった。
- 女性では、15～19歳で33.8%と最も高く、80歳以上で16.1%と最も低かった。

表2－16 過去1年間の歯科医院におけるフッ素塗布状況

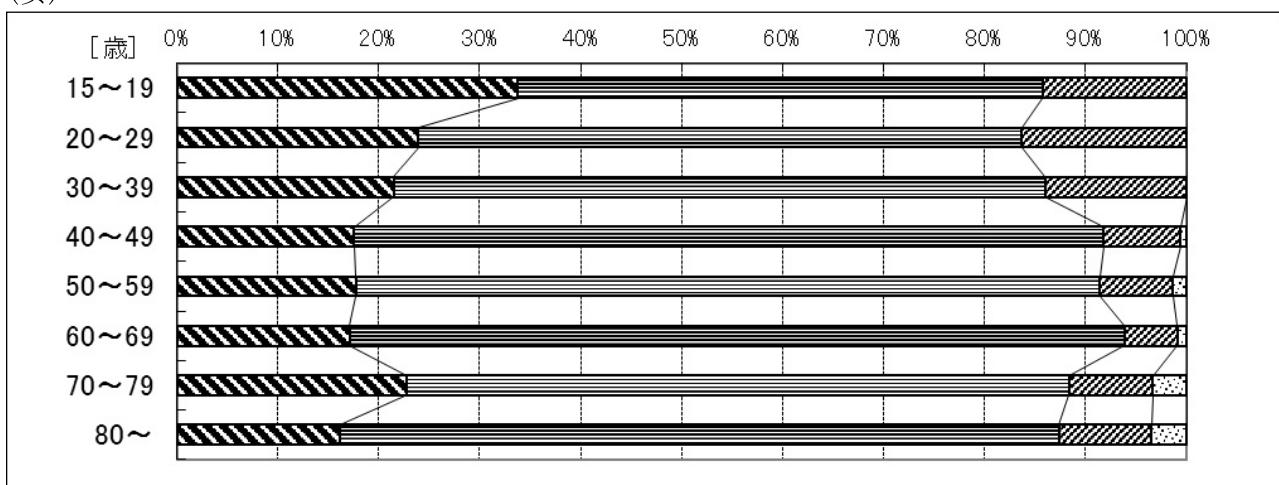
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	20 (25.3)	10 (11.6)	8 (8.4)	19 (13.8)	20 (14.2)	26 (14.9)	32 (18.7)	18 (16.2)	153 (15.4)
	いいえ	45 (57.0)	59 (68.6)	71 (74.7)	104 (75.4)	100 (70.9)	126 (72.0)	116 (67.8)	74 (66.7)	695 (69.8)
	わからない	14 (17.7)	17 (19.8)	16 (16.8)	15 (10.9)	18 (12.8)	21 (12.0)	21 (12.3)	17 (15.3)	139 (14.0)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.1)	2 (1.1)	2 (1.2)	2 (1.8)	9 (0.9)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	26 (33.8)	22 (23.9)	23 (21.5)	30 (17.5)	27 (17.8)	39 (17.1)	41 (22.8)	28 (16.1)	236 (20.0)
	いいえ	40 (51.9)	55 (59.8)	69 (64.5)	127 (74.3)	112 (73.7)	175 (76.8)	118 (65.6)	124 (71.3)	820 (69.4)
	わからない	11 (14.3)	15 (16.3)	15 (14.0)	13 (7.6)	11 (7.2)	12 (5.3)	15 (8.3)	16 (9.2)	108 (9.1)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (1.3)	2 (0.9)	6 (3.3)	6 (3.4)	17 (1.4)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	46 (29.5)	32 (18.0)	31 (15.3)	49 (15.9)	47 (16.0)	65 (16.1)	73 (20.8)	46 (16.1)	389 (17.9)
	いいえ	85 (54.5)	114 (64.0)	140 (69.3)	231 (74.8)	212 (72.4)	301 (74.7)	234 (66.7)	198 (69.5)	1,515 (69.6)
	わからない	25 (16.0)	32 (18.0)	31 (15.3)	28 (9.1)	29 (9.9)	33 (8.2)	36 (10.3)	33 (11.6)	247 (11.3)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	5 (1.7)	4 (1.0)	8 (2.3)	8 (2.8)	26 (1.2)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

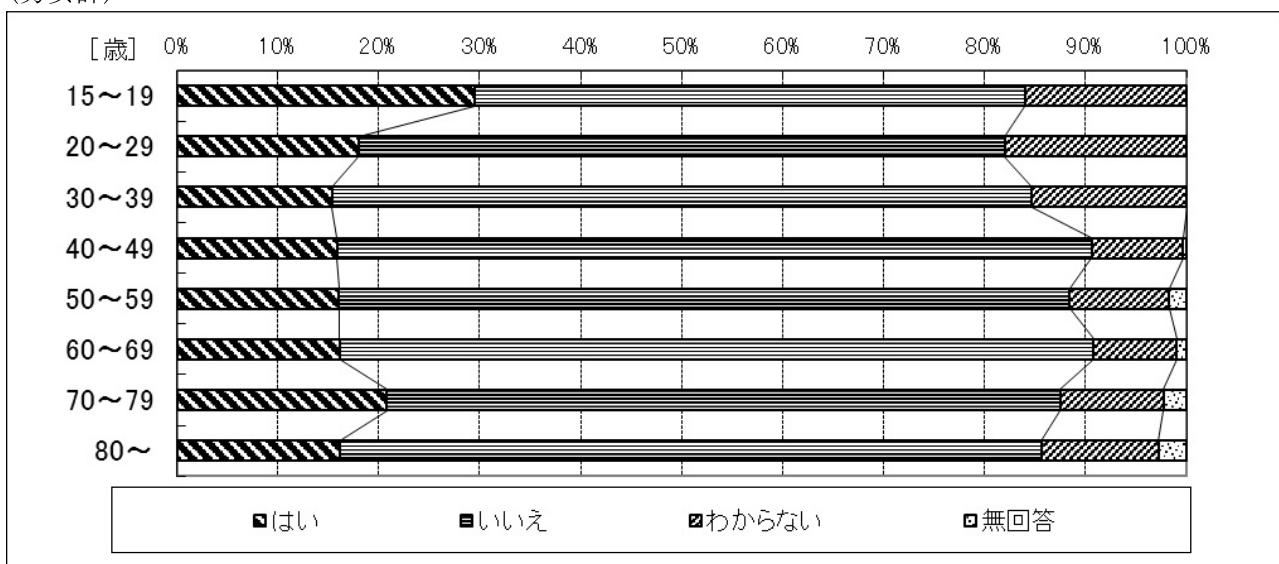


図2－13 過去1年間の歯科医院におけるフッ素塗布状況

問8 過去1年間に歯みがきの個人指導を受けましたか。

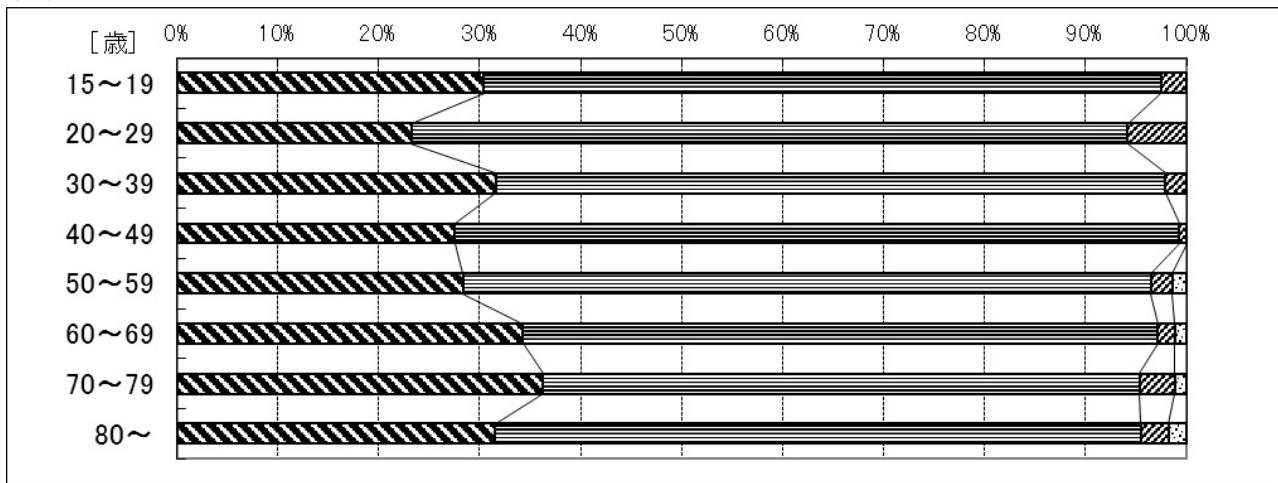
- 過去1年間に歯みがきの個人指導を受けている者は35.4%であった。
- 年齢階級別にみると、70～79歳の年齢階級で42.7%と最も高く、20～29歳で26.4%と最も低かった。
- 男性では、70～79歳で36.3%と最も高く、20～29歳で23.3%と最も低かった。
- 女性では、70～79歳で48.9%と最も高く、40～49歳で28.7%と最も低かった。
- 全ての年齢階級で男性に比べて女性の方が高かった。

表2－17 過去1年間の歯みがきの個人指導の状況

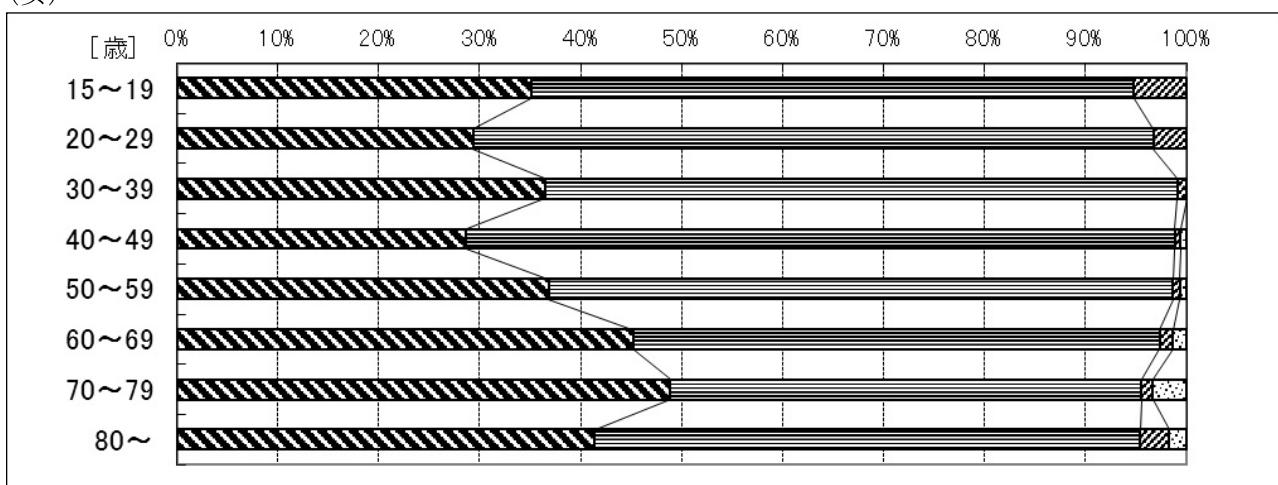
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	24 (30.4)	20 (23.3)	30 (31.6)	38 (27.5)	40 (28.4)	60 (34.3)	62 (36.3)	35 (31.5)	309 (31.0)
	いいえ	53 (67.1)	61 (70.9)	63 (66.3)	99 (71.7)	96 (68.1)	110 (62.9)	101 (59.1)	71 (64.0)	654 (65.7)
	わからない	2 (2.5)	5 (5.8)	2 (2.1)	1 (0.7)	3 (2.1)	3 (1.7)	6 (3.5)	3 (2.7)	25 (2.5)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.4)	2 (1.1)	2 (1.2)	2 (1.8)	8 (0.8)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	27 (35.1)	27 (29.3)	39 (36.4)	49 (28.7)	56 (36.8)	103 (45.2)	88 (48.9)	72 (41.4)	461 (39.0)
	いいえ	46 (59.7)	62 (67.4)	67 (62.6)	120 (70.2)	94 (61.8)	119 (52.2)	84 (46.7)	94 (54.0)	686 (58.1)
	わからない	4 (5.2)	3 (3.3)	1 (0.9)	1 (0.6)	1 (0.7)	3 (1.3)	2 (1.1)	5 (2.9)	20 (1.7)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.7)	3 (1.3)	6 (3.3)	3 (1.7)	14 (1.2)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	51 (32.7)	47 (26.4)	69 (34.2)	87 (28.2)	96 (32.8)	163 (40.4)	150 (42.7)	107 (37.5)	770 (35.4)
	いいえ	99 (63.5)	123 (69.1)	130 (64.4)	219 (70.9)	190 (64.8)	229 (56.8)	185 (52.7)	165 (57.9)	1,340 (61.6)
	わからない	6 (3.8)	8 (4.5)	3 (1.5)	2 (0.6)	4 (1.4)	6 (1.5)	8 (2.3)	8 (2.8)	45 (2.1)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	3 (1.0)	5 (1.2)	8 (2.3)	5 (1.8)	22 (1.0)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

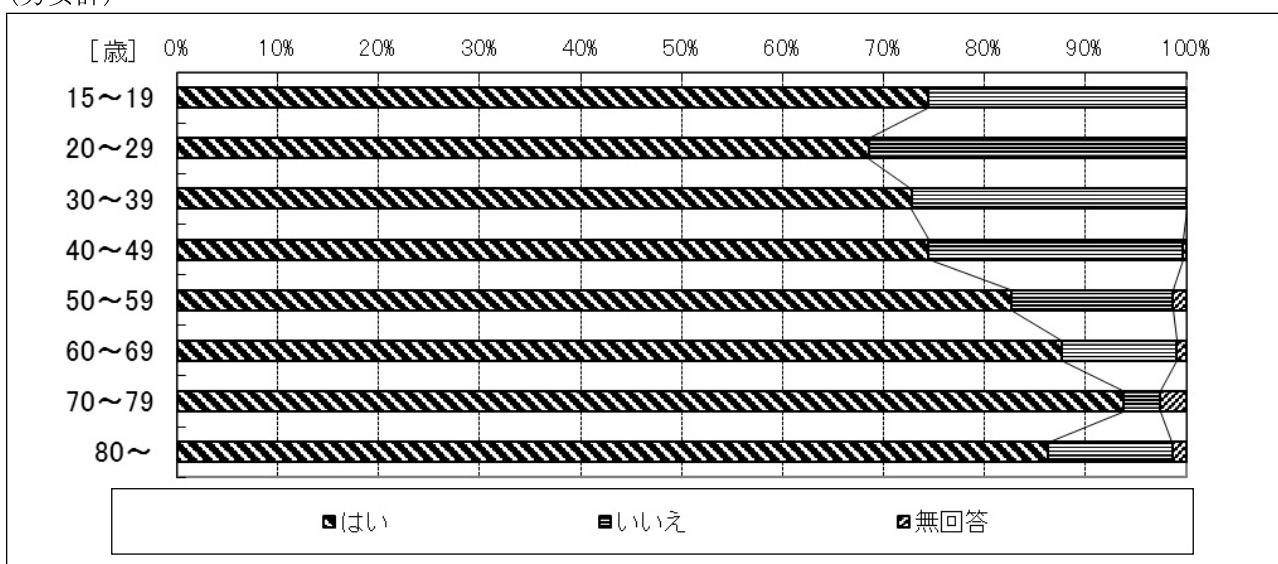


図2-14 過去1年間の歯みがきの個人指導の状況

問9 かかりつけ歯科医院がありますか。

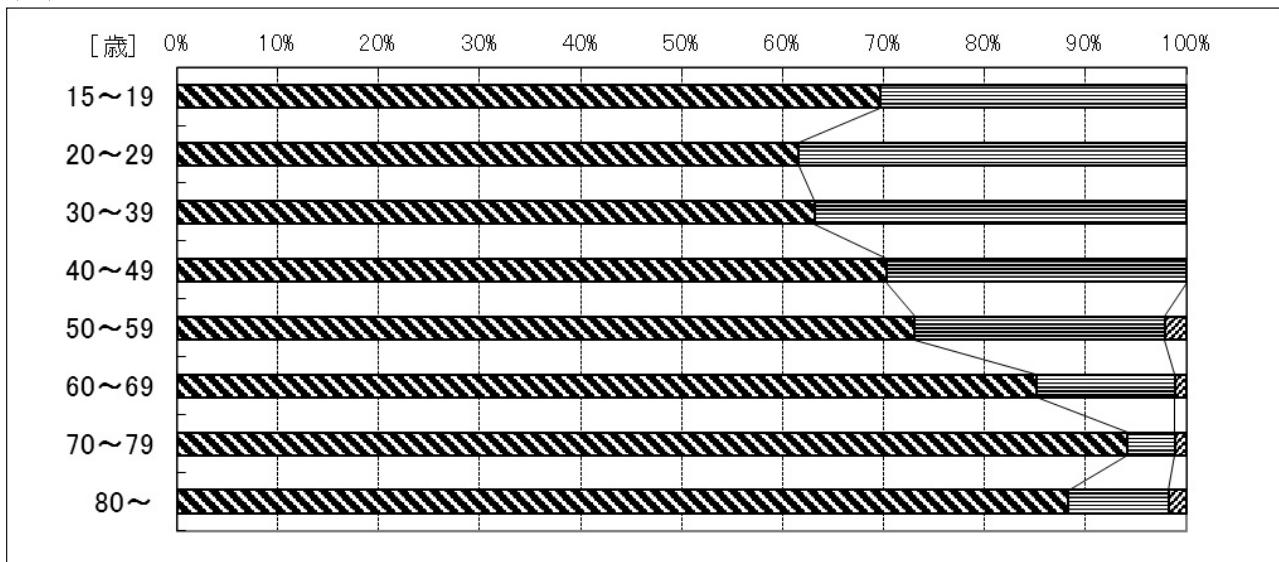
- かかりつけ歯科医がある者の割合は、全体で82.0%であった。
- 年齢階級別にみると、70～79歳の年齢階級で93.7%と最も高く、20～29歳で68.5%と最も低かった。
- 男性では、70～79歳で94.2%と最も高く、20～29歳で61.6%と最も低かった。
- 女性では、70～79歳で93.3%と最も高く、20～29歳で75.0%と最も低かった。

表2－18 かかりつけ歯科医院の状況

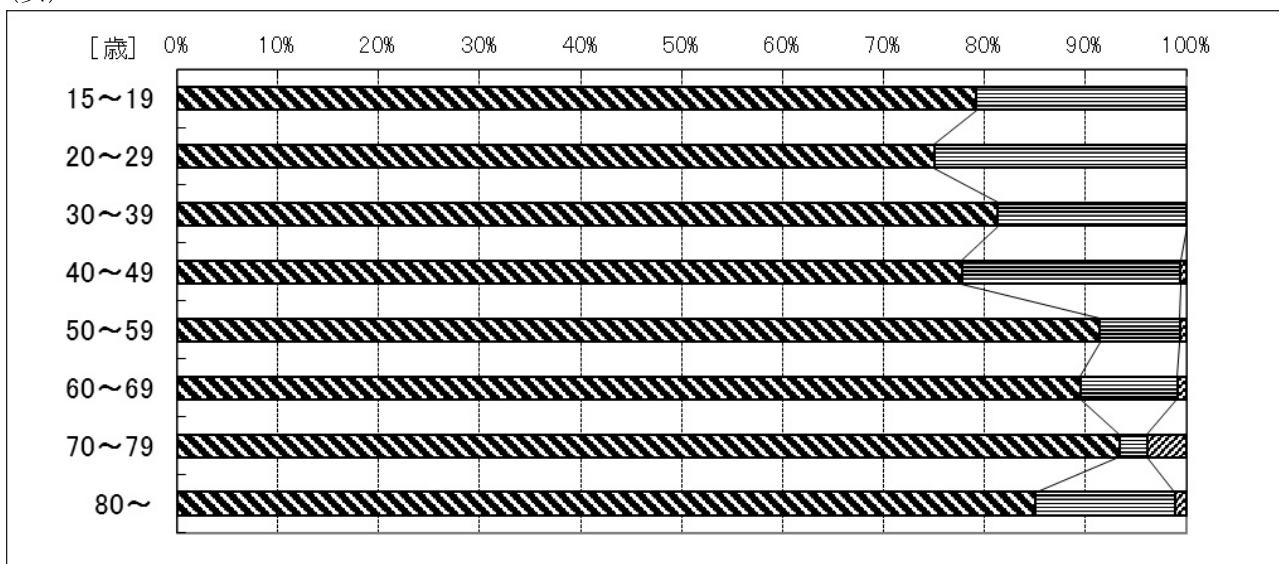
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	55 (69.6)	53 (61.6)	60 (63.2)	97 (70.3)	103 (73.0)	149 (85.1)	161 (94.2)	98 (88.3)	776 (77.9)
	いいえ	24 (30.4)	33 (38.4)	35 (36.8)	41 (29.7)	35 (24.8)	24 (13.7)	8 (4.7)	11 (9.9)	211 (21.2)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.1)	2 (1.1)	2 (1.2)	2 (1.8)	9 (0.9)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	61 (79.2)	69 (75.0)	87 (81.3)	133 (77.8)	139 (91.4)	204 (89.5)	168 (93.3)	148 (85.1)	1,009 (85.4)
	いいえ	16 (20.8)	23 (25.0)	20 (18.7)	37 (21.6)	12 (7.9)	22 (9.6)	5 (2.8)	24 (13.8)	159 (13.5)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.7)	2 (0.9)	7 (3.9)	2 (1.1)	13 (1.1)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	116 (74.4)	122 (68.5)	147 (72.8)	230 (74.4)	242 (82.6)	353 (87.6)	329 (93.7)	246 (86.3)	1,785 (82.0)
	いいえ	40 (25.6)	56 (31.5)	55 (27.2)	78 (25.2)	47 (16.0)	46 (11.4)	13 (3.7)	35 (12.3)	370 (17.0)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	4 (1.4)	4 (1.0)	9 (2.6)	4 (1.4)	22 (1.0)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

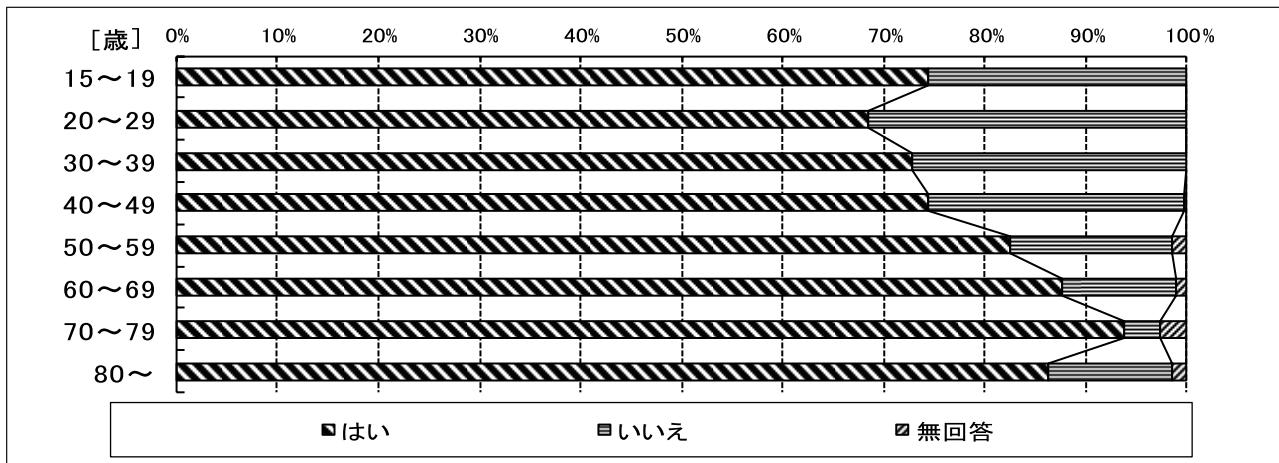


図2－15 かかりつけ歯科医院の状況

問10 歯周病がどのような病気か知っていますか。

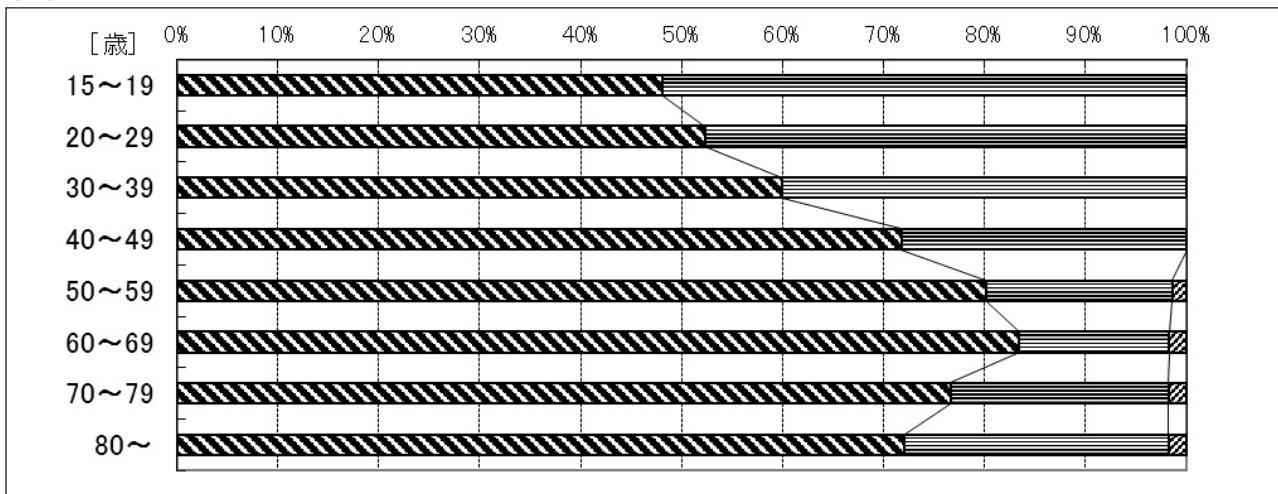
- 歯周病の認知度は、全体で76.4%であった。
- 年齢階級別にみると、60～69歳の年齢階級で89.1%と最も高く、15～19歳で54.5%と最も低かった。
- 男性では、60～69歳で83.4%と最も高く、15～19歳で48.1%と最も低かった。
- 女性では、60～69歳で93.4%と最も高く、15～19歳で61.0%と最も低かった。
- 全ての年齢階級で男性に比べて女性の方が高かった。

表2－19 歯周病の認知度

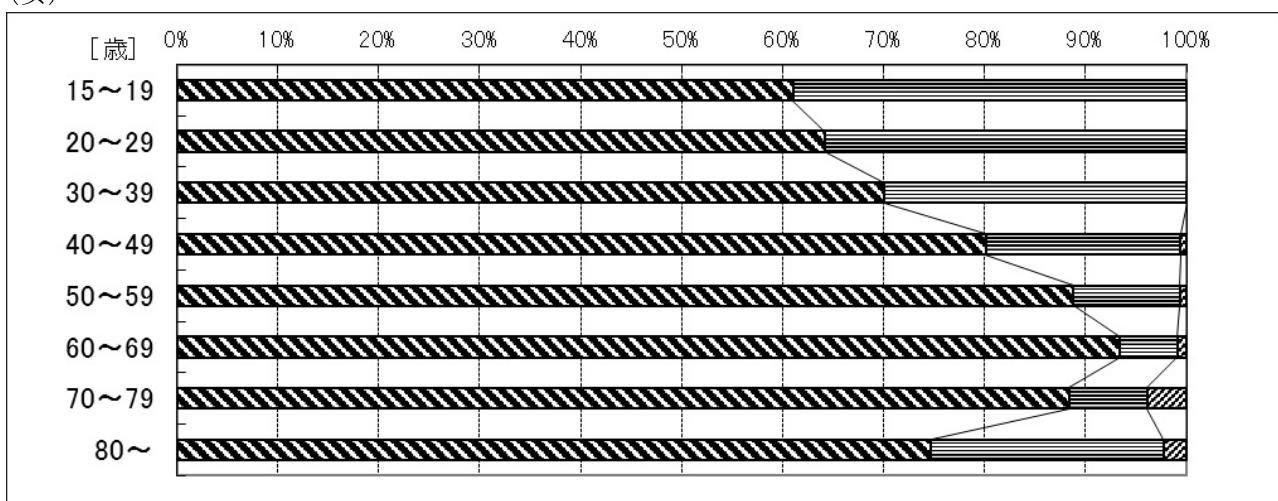
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	38 (48.1)	45 (52.3)	57 (60.0)	99 (71.7)	113 (80.1)	146 (83.4)	131 (76.6)	80 (72.1)	709 (71.2)
	いいえ	41 (51.9)	41 (47.7)	38 (40.0)	39 (28.3)	26 (18.4)	26 (14.9)	37 (21.6)	29 (26.1)	277 (27.8)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.4)	3 (1.7)	3 (1.8)	2 (1.8)	10 (1.0)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	47 (61.0)	59 (64.1)	75 (70.1)	137 (80.1)	135 (88.8)	213 (93.4)	159 (88.3)	130 (74.7)	955 (80.9)
	いいえ	30 (39.0)	33 (35.9)	32 (29.9)	33 (19.3)	16 (10.5)	13 (5.7)	14 (7.8)	40 (23.0)	211 (17.9)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.7)	2 (0.9)	7 (3.9)	4 (2.3)	15 (1.3)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	85 (54.5)	104 (58.4)	132 (65.3)	236 (76.4)	248 (84.6)	359 (89.1)	290 (82.6)	210 (73.7)	1,664 (76.4)
	いいえ	71 (45.5)	74 (41.6)	70 (34.7)	72 (23.3)	42 (14.3)	39 (9.7)	51 (14.5)	69 (24.2)	488 (22.4)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	3 (1.0)	5 (1.2)	10 (2.8)	6 (2.1)	25 (1.1)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

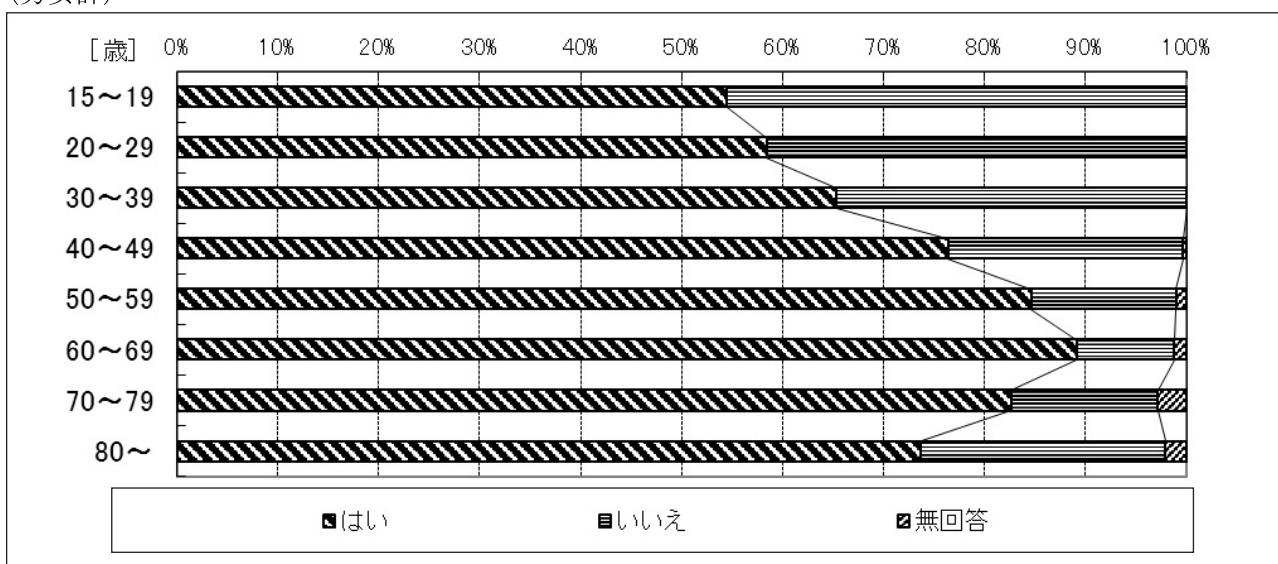


図2-16 歯周病の認知度

問11 歯周病と糖尿病に関するご存知を教えてください。

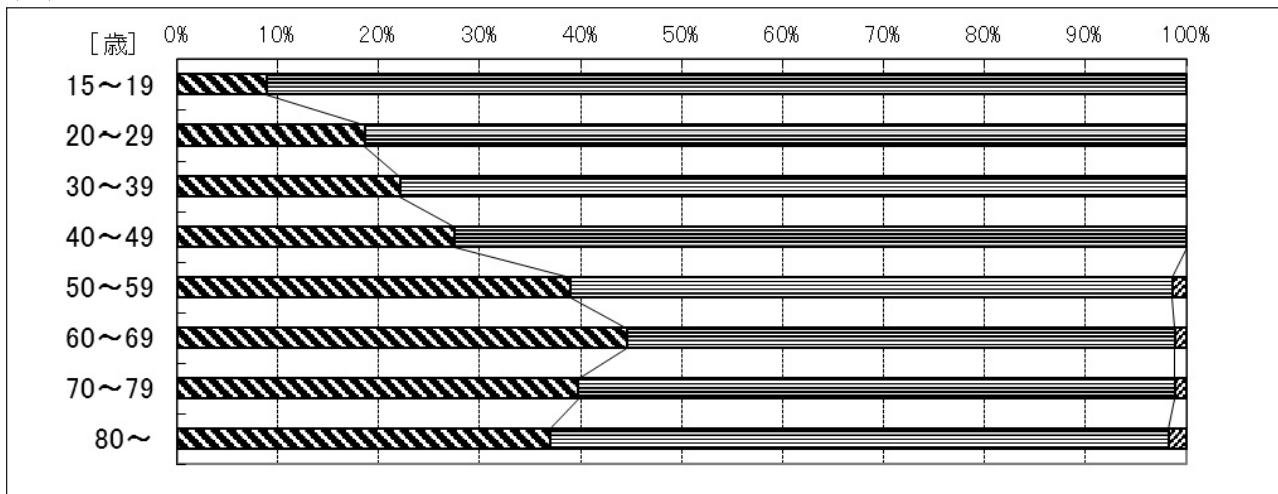
- 歯周病と糖尿病の関係についての認知度は、全体で41.1%であった。
- 年齢階級別にみると、70～79歳の年齢階級で49.9%と最も高く、15～19歳で16.7%と最も低かった。
- 男性では、60～69歳で44.6%と最も高く、15～19歳で8.9%と最も低かった。
- 女性では、50～59歳で59.9%と最も高く、15～19歳で24.7%と最も低かった。

表2-20 歯周病と糖尿病に関する認知度

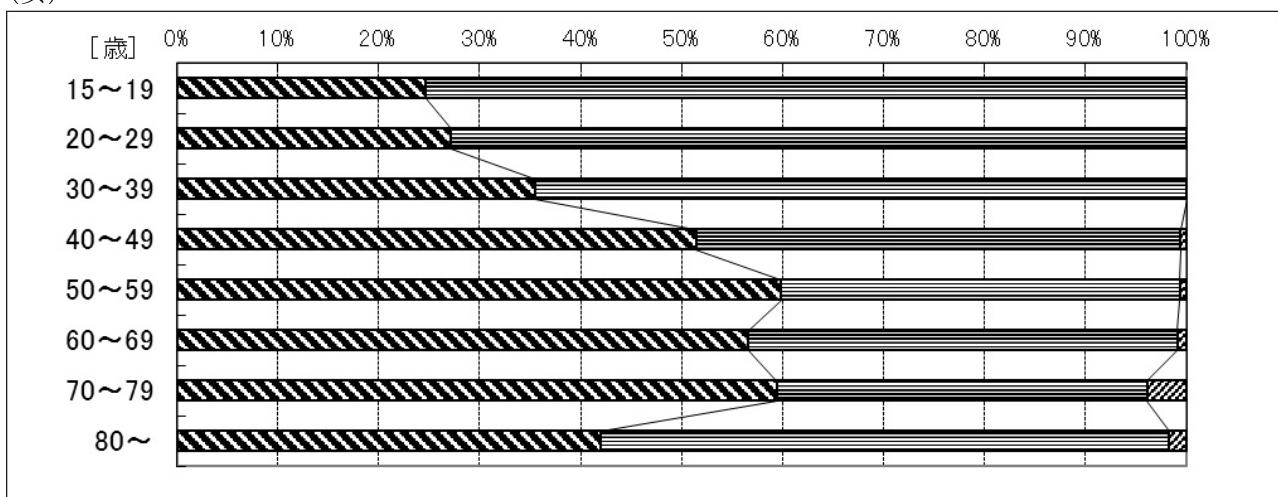
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	7 (8.9)	16 (18.6)	21 (22.1)	38 (27.5)	55 (39.0)	78 (44.6)	68 (39.8)	41 (36.9)	324 (32.5)
	いいえ	72 (91.1)	70 (81.4)	74 (77.9)	100 (72.5)	84 (59.6)	95 (54.3)	101 (59.1)	68 (61.3)	664 (66.7)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.4)	2 (1.1)	2 (1.2)	2 (1.8)	8 (0.8)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	19 (24.7)	25 (27.2)	38 (35.5)	88 (51.5)	91 (59.9)	129 (56.6)	107 (59.4)	73 (42.0)	570 (48.3)
	いいえ	58 (75.3)	67 (72.8)	69 (64.5)	82 (48.0)	60 (39.5)	97 (42.5)	66 (36.7)	98 (56.3)	597 (50.6)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.7)	2 (0.9)	7 (3.9)	3 (1.7)	14 (1.2)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	26 (16.7)	41 (23.0)	59 (29.2)	126 (40.8)	146 (49.8)	207 (51.4)	175 (49.9)	114 (40.0)	894 (41.1)
	いいえ	130 (83.3)	137 (77.0)	143 (70.8)	182 (58.9)	144 (49.1)	192 (47.6)	167 (47.6)	166 (58.2)	1,261 (57.9)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	3 (1.0)	4 (1.0)	9 (2.6)	5 (1.8)	22 (1.0)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

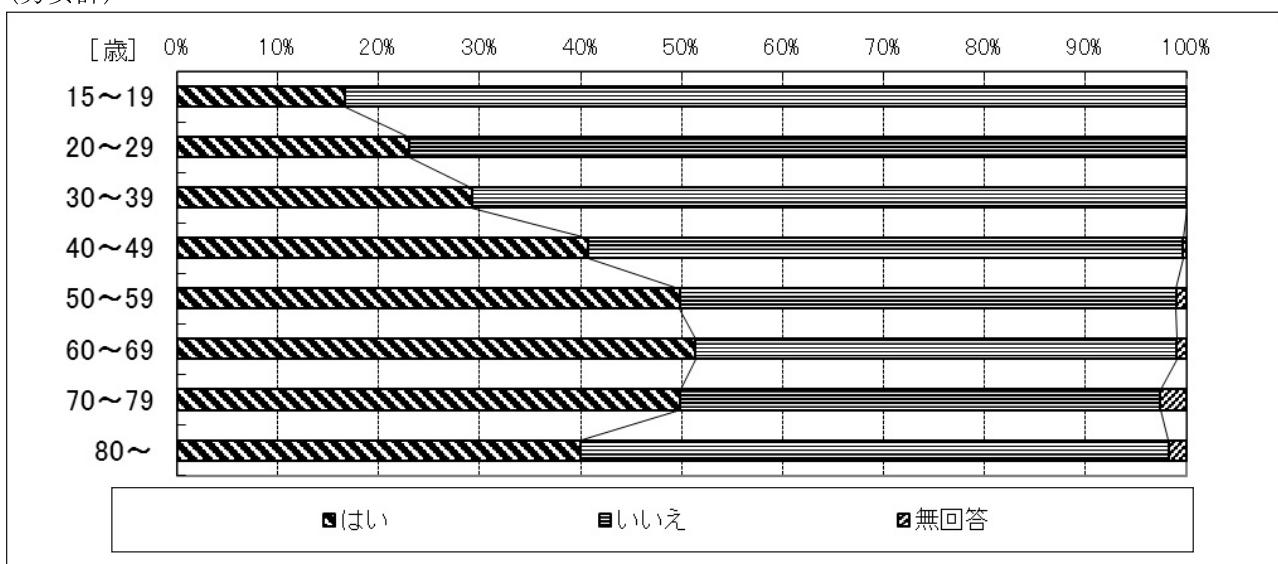


図2－17 歯周病と糖尿病に関する認知度

問12 喫煙が歯周病に影響を与えることを知っていますか。

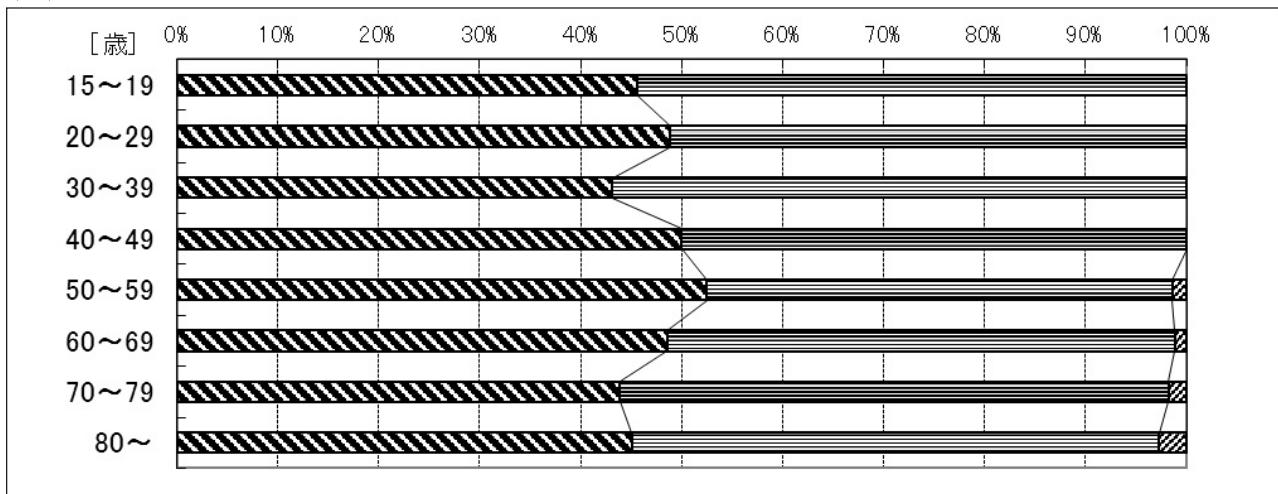
- 喫煙の歯周病に与える影響についての認知度は、全体で49.6%であった。
- 年齢階級別にみると、40～49歳の年齢階級で53.7%と最も高く、80歳以上で42.5%と最も低かった。
- 男性では、50～59歳で52.5%と最も高く、30～39歳で43.2%と最も低かった。
- 女性では、40～49歳で56.7%と最も高く、80歳以上で40.8%と最も低かった。

表2－21 喫煙が歯周病に影響についての認知度

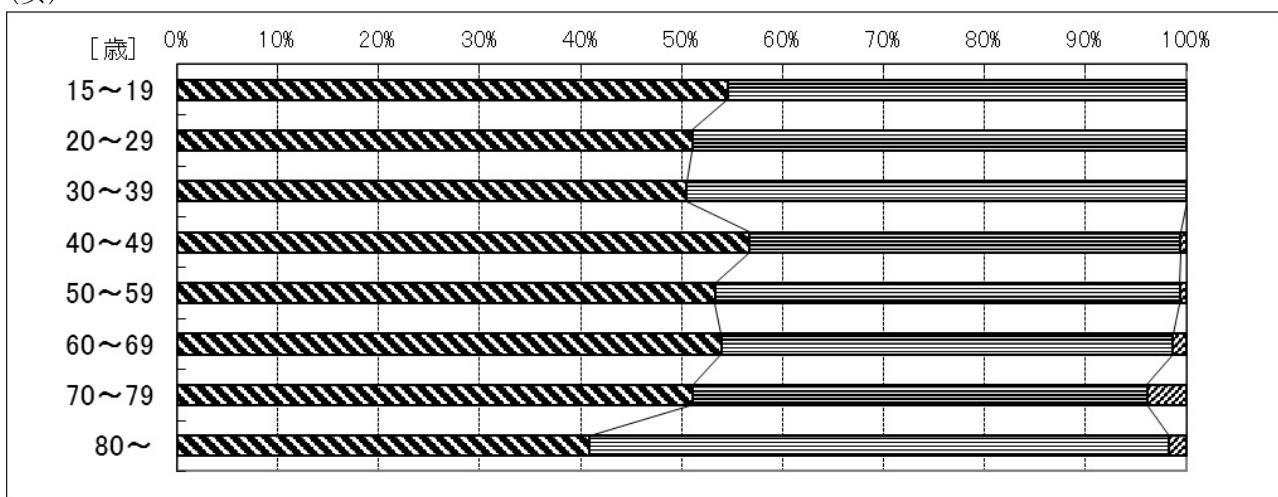
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	36 (45.6)	42 (48.8)	41 (43.2)	69 (50.0)	74 (52.5)	85 (48.6)	75 (43.9)	50 (45.0)	472 (47.4)
	いいえ	43 (54.4)	44 (51.2)	54 (56.8)	69 (50.0)	65 (46.1)	88 (50.3)	93 (54.4)	58 (52.3)	514 (51.6)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.4)	2 (1.1)	3 (1.8)	3 (2.7)	10 (1.0)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	42 (54.5)	47 (51.1)	54 (50.5)	97 (56.7)	81 (53.3)	123 (53.9)	92 (51.1)	71 (40.8)	607 (51.4)
	いいえ	35 (45.5)	45 (48.9)	53 (49.5)	73 (42.7)	70 (46.1)	102 (44.7)	81 (45.0)	100 (57.5)	559 (47.3)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.7)	3 (1.3)	7 (3.9)	3 (1.7)	15 (1.3)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	78 (50.0)	89 (50.0)	95 (47.0)	166 (53.7)	155 (52.9)	208 (51.6)	167 (47.6)	121 (42.5)	1,079 (49.6)
	いいえ	78 (50.0)	89 (50.0)	107 (53.0)	142 (46.0)	135 (46.1)	190 (47.1)	174 (49.6)	158 (55.4)	1,073 (49.3)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	3 (1.0)	5 (1.2)	10 (2.8)	6 (2.1)	25 (1.1)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

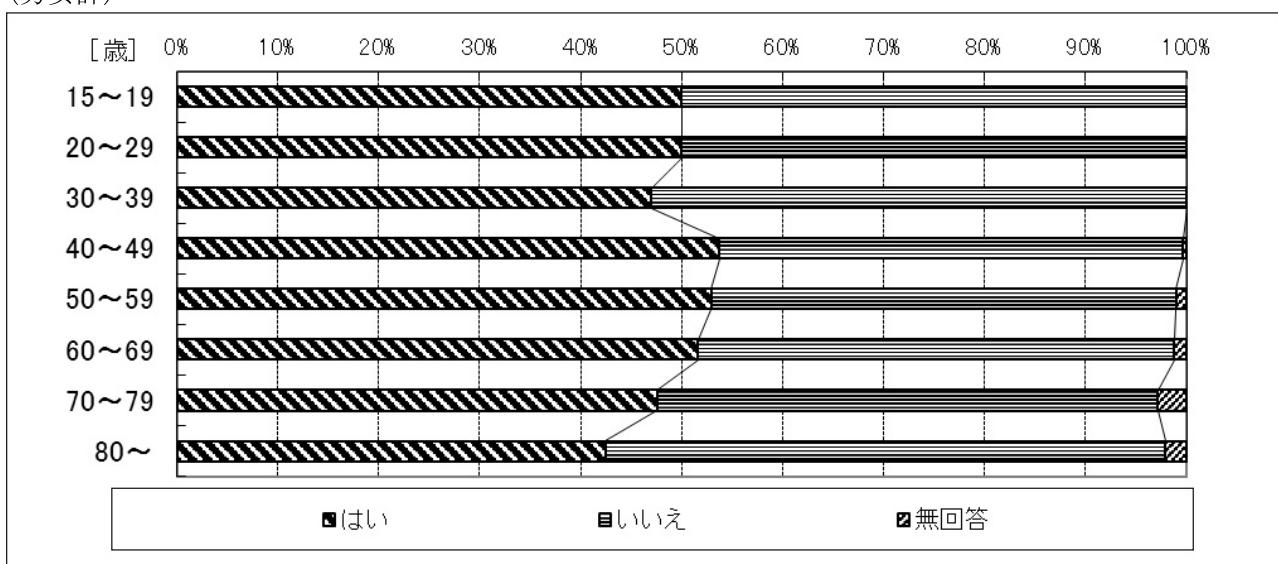


図 2－18 喫煙が歯周病に影響についての認知度

問13 口の中をきれいに保つことで、肺炎を予防することができることを知っていますか。

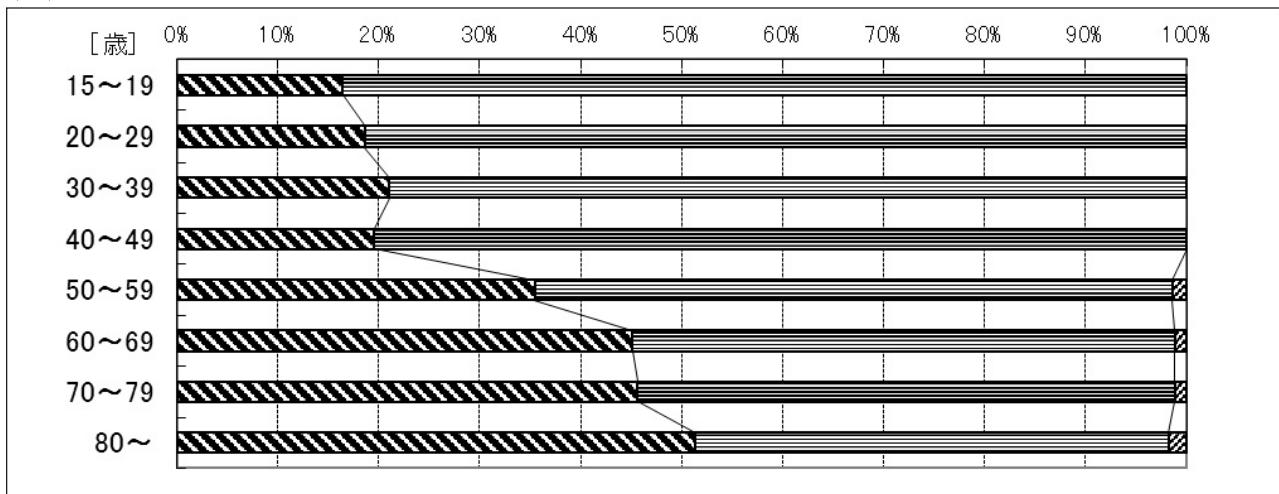
- 口の中をきれいに保つことが肺炎予防につながることについての認知度は、全体で44.3%であった。
- 年齢階級別にみると、80歳以上の年齢階級で56.5%と最も高く、15～19歳で19.2%と最も低かった。
- 男性では、80歳以上で51.4%と最も高く、15～19歳で16.5%と最も低かった。
- 女性では、70～79歳で65.0%と最も高く、15～19歳で22.1%と最も低かった。

表2－22 口の中をきれいに保つことが肺炎予防につながることについての認知度

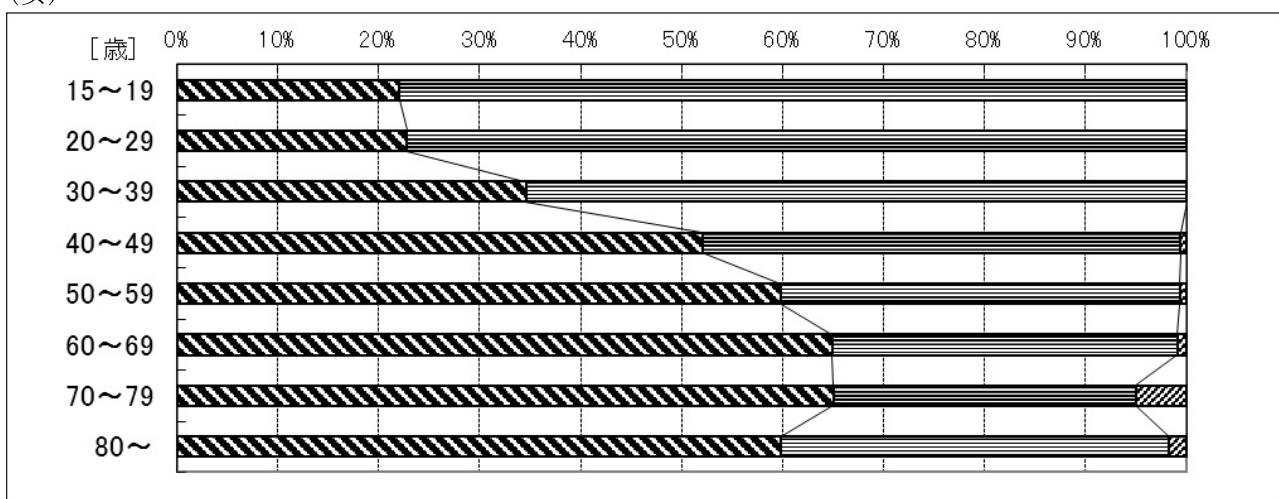
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	13 (16.5)	16 (18.6)	20 (21.1)	27 (19.6)	50 (35.5)	79 (45.1)	78 (45.6)	57 (51.4)	340 (34.1)
	いいえ	66 (83.5)	70 (81.4)	75 (78.9)	111 (80.4)	89 (63.1)	94 (53.7)	91 (53.2)	52 (46.8)	648 (65.1)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.4)	2 (1.1)	2 (1.2)	2 (1.8)	8 (0.8)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	17 (22.1)	21 (22.8)	37 (34.6)	89 (52.0)	91 (59.9)	148 (64.9)	117 (65.0)	104 (59.8)	624 (52.8)
	いいえ	60 (77.9)	71 (77.2)	70 (65.4)	81 (47.4)	60 (39.5)	78 (34.2)	54 (30.0)	67 (38.5)	541 (45.8)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.7)	2 (0.9)	9 (5.0)	3 (1.7)	16 (1.4)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	30 (19.2)	37 (20.8)	57 (28.2)	116 (37.5)	141 (48.1)	227 (56.3)	195 (55.6)	161 (56.5)	964 (44.3)
	いいえ	126 (80.8)	141 (79.2)	145 (71.8)	192 (62.1)	149 (50.9)	172 (42.7)	145 (41.3)	119 (41.8)	1,189 (54.6)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	3 (1.0)	4 (1.0)	11 (3.1)	5 (1.8)	24 (1.1)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

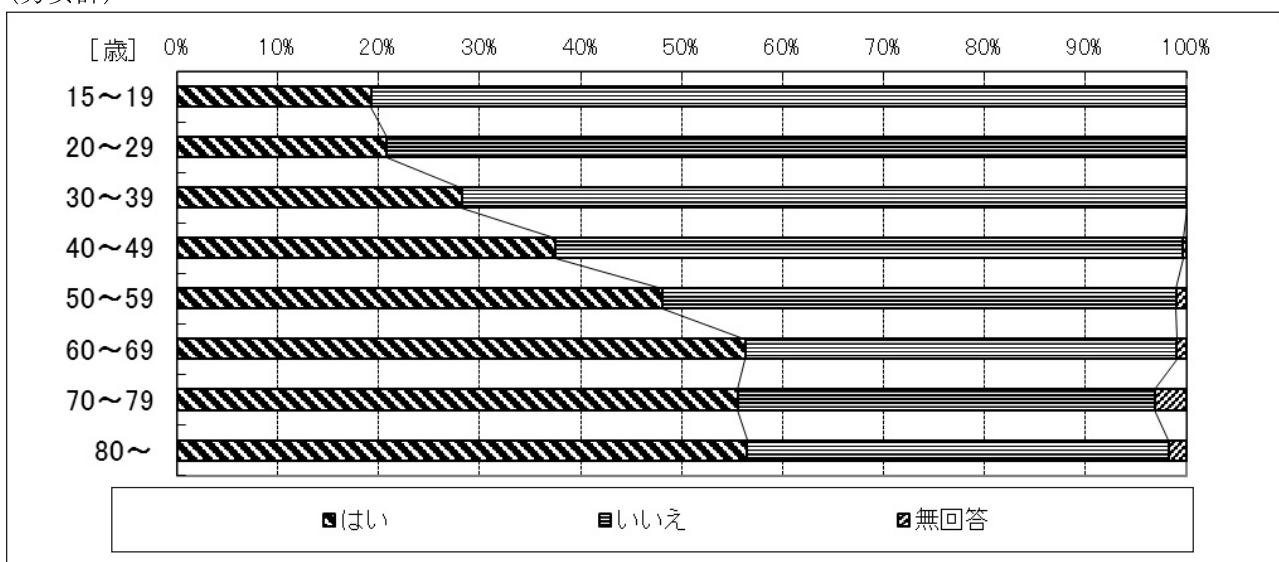


図2-19 口の中をきれいに保つことが肺炎予防につながることについての認知度

問14 ゆっくりよく噛んで食事をしていますか。

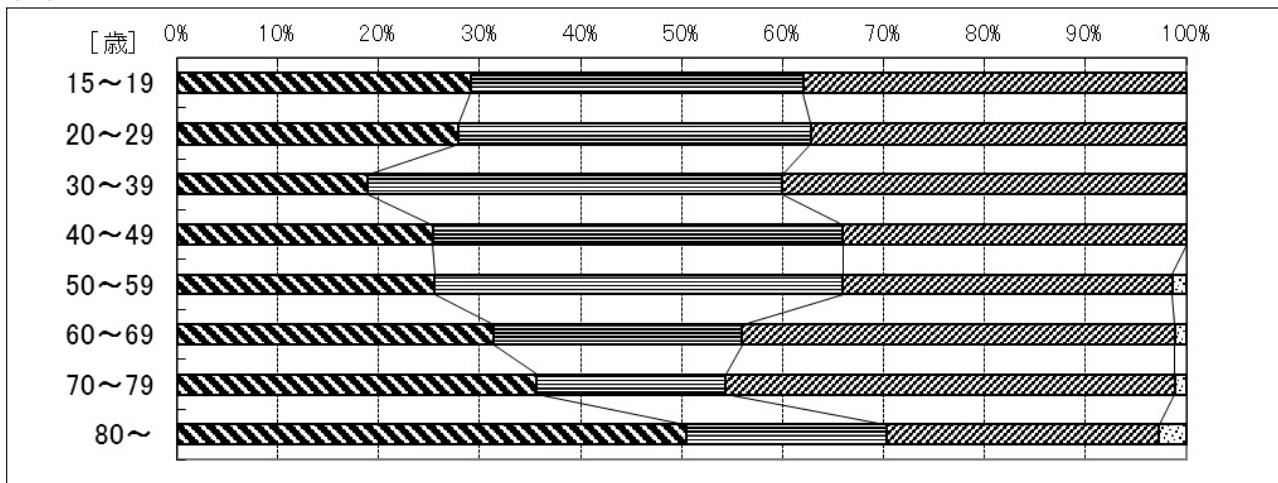
- ゆっくり良く噛んで食事をしている人は、全体で34.6%であった。
- 年齢階級別にみると、80歳以上の年齢階級で57.9%と最も高く、40～49歳で22.7%と最も低かった。
- 男性では、80歳以上で50.5%と最も高く、30～39歳で18.9%と最も低かった。
- 女性では、80歳以上で62.6%と最も高く、40～49歳で20.5%と最も低かった。

表2－23 ゆっくりよく噛んで食事をしている人の状況

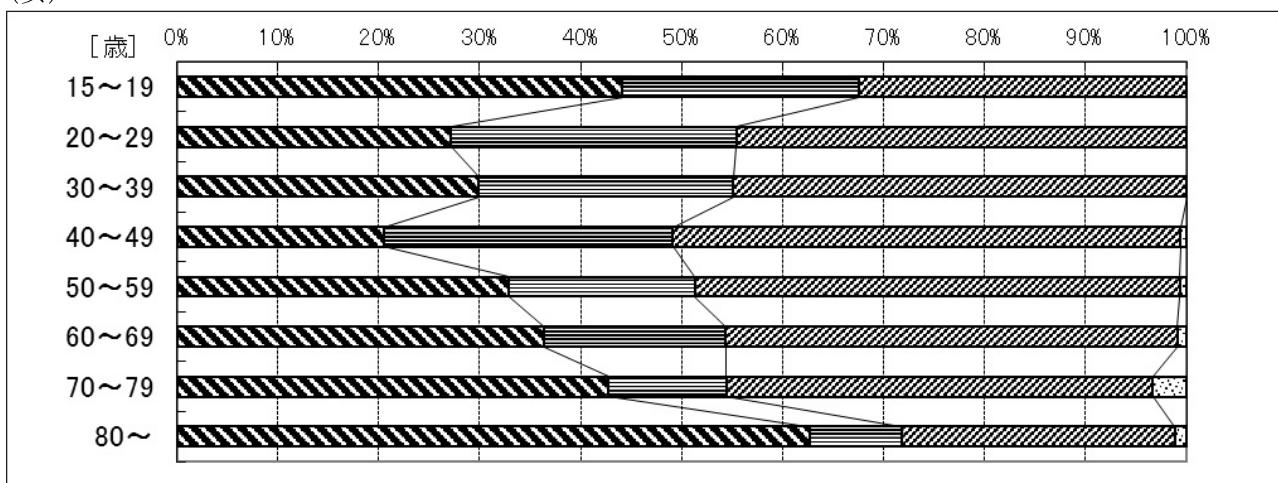
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	23 (29.1)	24 (27.9)	18 (18.9)	35 (25.4)	36 (25.5)	55 (31.4)	61 (35.7)	56 (50.5)	308 (30.9)
	いいえ	26 (32.9)	30 (34.9)	39 (41.1)	56 (40.6)	57 (40.4)	43 (24.6)	32 (18.7)	22 (19.8)	305 (30.6)
	どちらとも いえない	30 (38.0)	32 (37.2)	38 (40.0)	47 (34.1)	46 (32.6)	75 (42.9)	76 (44.4)	30 (27.0)	374 (37.6)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.4)	2 (1.1)	2 (1.2)	3 (2.7)	9 (0.9)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	34 (44.2)	25 (27.2)	32 (29.9)	35 (20.5)	50 (32.9)	83 (36.4)	77 (42.8)	109 (62.6)	445 (37.7)
	いいえ	18 (23.4)	26 (28.3)	27 (25.2)	49 (28.7)	28 (18.4)	41 (18.0)	21 (11.7)	16 (9.2)	226 (19.1)
	どちらとも いえない	25 (32.5)	41 (44.6)	48 (44.9)	86 (50.3)	73 (48.0)	102 (44.7)	76 (42.2)	47 (27.0)	498 (42.2)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.7)	2 (0.9)	6 (3.3)	2 (1.1)	12 (1.0)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	57 (36.5)	49 (27.5)	50 (24.8)	70 (22.7)	86 (29.4)	138 (34.2)	138 (39.3)	165 (57.9)	753 (34.6)
	いいえ	44 (28.2)	56 (31.5)	66 (32.7)	105 (34.0)	85 (29.0)	84 (20.8)	53 (15.1)	38 (13.3)	531 (24.4)
	どちらとも いえない	55 (35.3)	73 (41.0)	86 (42.6)	133 (43.0)	119 (40.6)	177 (43.9)	152 (43.3)	77 (27.0)	872 (40.1)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	3 (1.0)	4 (1.0)	8 (2.3)	5 (1.8)	21 (1.0)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

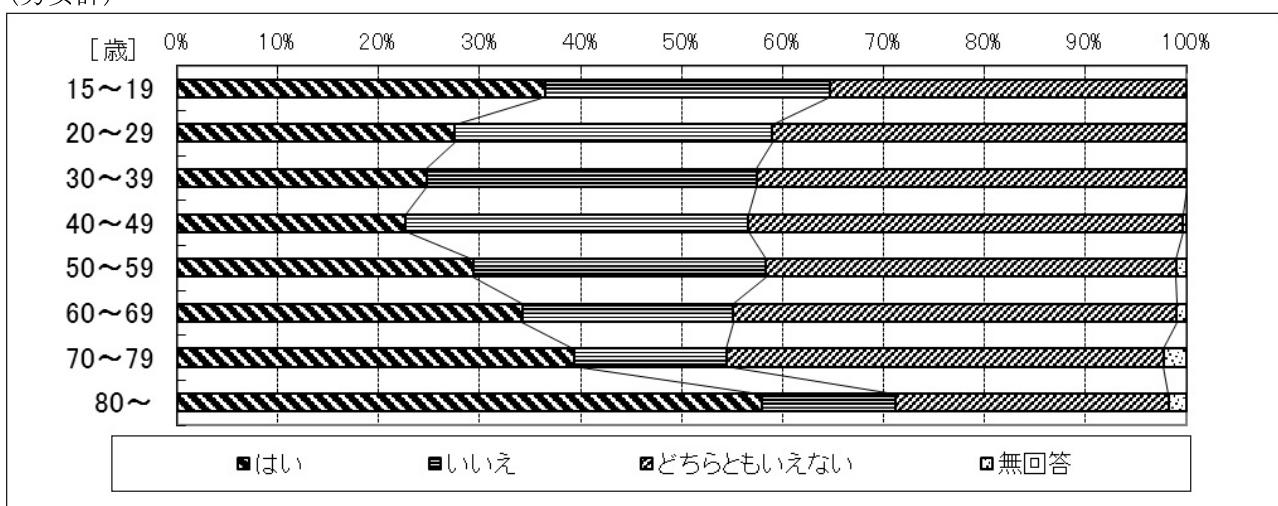


図2－20 ゆっくりよく噛んで食事をしている人の状況

問15 口を大きく開け閉めした時、あごの音がしますか。

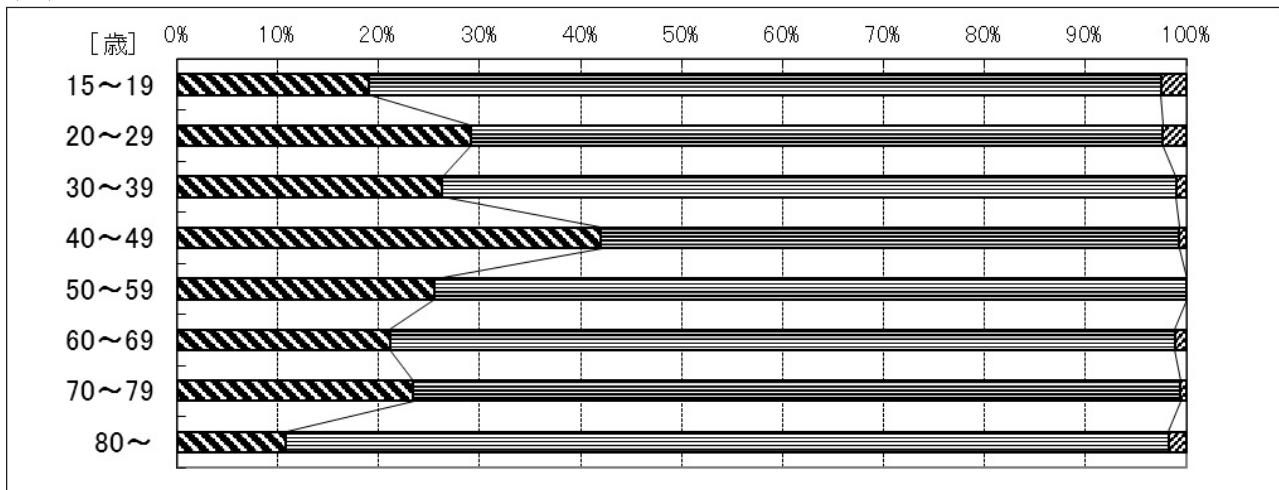
- 口を大きく開け閉めしたときあごの音がする者は、全体の27.5%であった。
- 年齢階級別にみると、40～49歳の年齢階級で38.5%と最も高く、80歳以上で15.4%と最も低かった。
- 男性では、40～49歳で42.0%と最も高く、80歳以上で10.8%と最も低かった。
- 女性では、20～29歳で41.3%と最も高く、80歳以上で18.4%と最も低かった。

表2－24 あごの音の状況

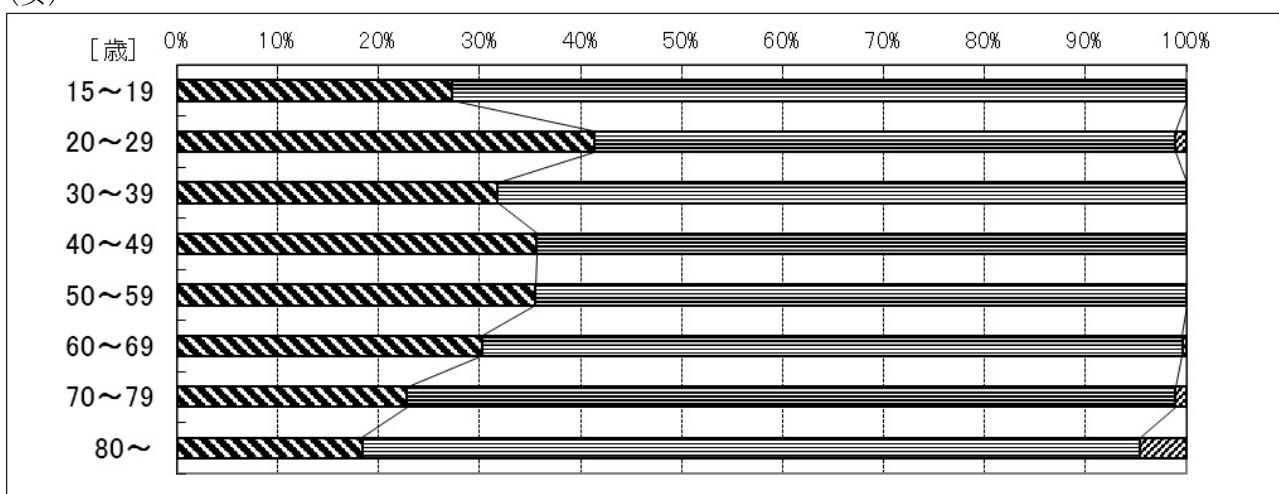
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	15 (19.0)	25 (29.1)	25 (26.3)	58 (42.0)	36 (25.5)	37 (21.1)	40 (23.4)	12 (10.8)	248 (24.9)
	いいえ	62 (78.5)	59 (68.6)	69 (72.6)	79 (57.2)	105 (74.5)	136 (77.7)	130 (76.0)	97 (87.4)	737 (74.0)
	無回答	2 (2.5)	2 (2.3)	1 (1.1)	1 (0.7)	0 (0.0)	2 (1.1)	1 (0.6)	2 (1.8)	11 (1.1)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	21 (27.3)	38 (41.3)	34 (31.8)	61 (35.7)	54 (35.5)	69 (30.3)	41 (22.8)	32 (18.4)	350 (29.6)
	いいえ	56 (72.7)	53 (57.6)	73 (68.2)	110 (64.3)	98 (64.5)	158 (69.3)	137 (76.1)	134 (77.0)	819 (69.3)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)	2 (1.1)	8 (4.6)	12 (1.0)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	36 (23.1)	63 (35.4)	59 (29.2)	119 (38.5)	90 (30.7)	106 (26.3)	81 (23.1)	44 (15.4)	598 (27.5)
	いいえ	118 (75.6)	112 (62.9)	142 (70.3)	189 (61.2)	203 (69.3)	294 (73.0)	267 (76.1)	231 (81.1)	1,556 (71.5)
	無回答	2 (1.3)	3 (1.7)	1 (0.5)	1 (0.3)	0 (0.0)	3 (0.7)	3 (0.9)	10 (3.5)	23 (1.1)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

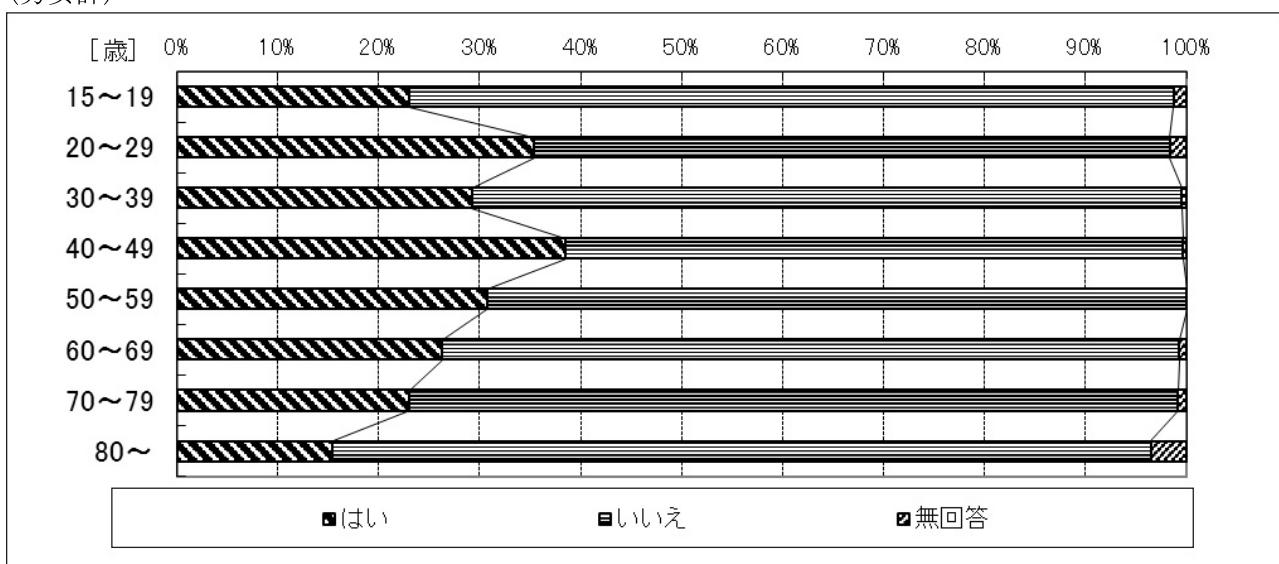


図2-21 あごの音の状況

問16 口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがありますか。

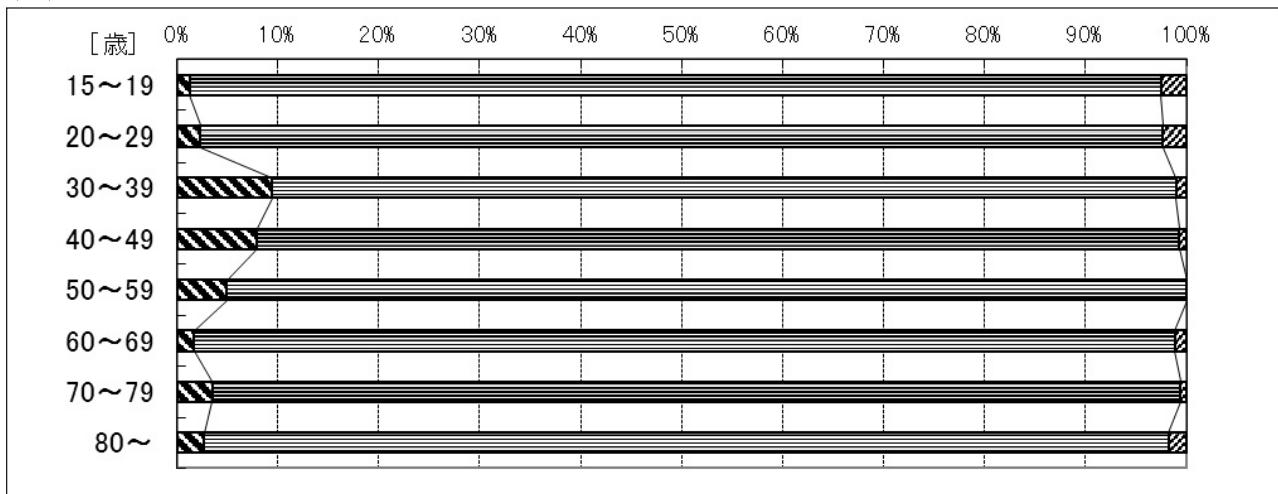
- 口を大きく開け閉めしたときあごの痛みがある者は、全体の5.2%であった。
- 年齢階級別にみると、20～29歳、30～39歳の年齢階級で8.4%と最も高く、80歳以上で2.8%と最も低かった。
- 男性では、30～39歳で9.5%と最も高く、15～19歳で1.3%と最も低かった。
- 女性では、20～29歳で14.1%と最も高く、80歳以上で2.9%と最も低かった。

表2－25 あごの痛みの状況

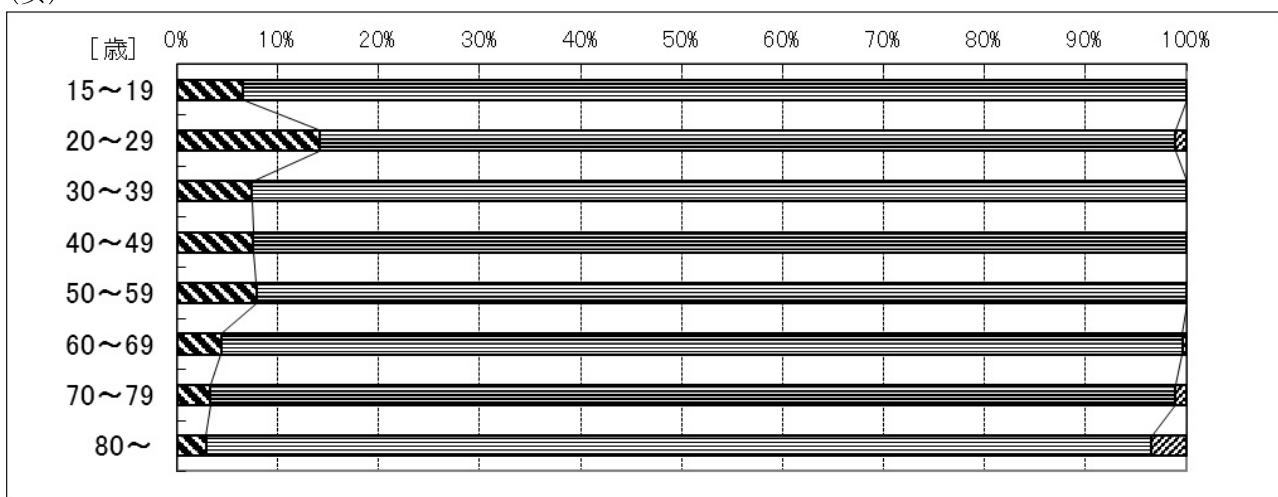
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	はい	1 (1.3)	2 (2.3)	9 (9.5)	11 (8.0)	7 (5.0)	3 (1.7)	6 (3.5)	3 (2.7)	42 (4.2)
	いいえ	76 (96.2)	82 (95.3)	85 (89.5)	126 (91.3)	134 (95.0)	170 (97.1)	164 (95.9)	106 (95.5)	943 (94.7)
	無回答	2 (2.5)	2 (2.3)	1 (1.1)	1 (0.7)	0 (0.0)	2 (1.1)	1 (0.6)	2 (1.8)	11 (1.1)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	はい	5 (6.5)	13 (14.1)	8 (7.5)	13 (7.6)	12 (7.9)	10 (4.4)	6 (3.3)	5 (2.9)	72 (6.1)
	いいえ	72 (93.5)	78 (84.8)	99 (92.5)	158 (92.4)	140 (92.1)	217 (95.2)	172 (95.6)	163 (93.7)	1,099 (93.1)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)	2 (1.1)	6 (3.4)	10 (0.8)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	はい	6 (3.8)	15 (8.4)	17 (8.4)	24 (7.8)	19 (6.5)	13 (3.2)	12 (3.4)	8 (2.8)	114 (5.2)
	いいえ	148 (94.9)	160 (89.9)	184 (91.1)	284 (91.9)	274 (93.5)	387 (96.0)	336 (95.7)	269 (94.4)	2,042 (93.8)
	無回答	2 (1.3)	3 (1.7)	1 (0.5)	1 (0.3)	0 (0.0)	3 (0.7)	3 (0.9)	8 (2.8)	21 (1.0)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

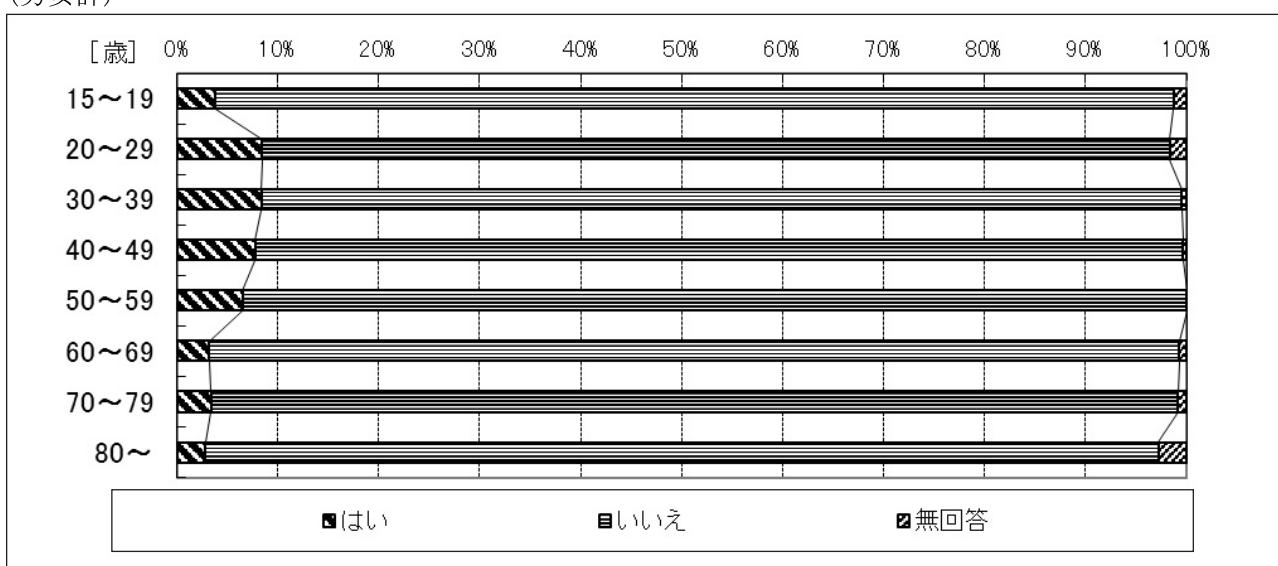


図2-22 あごの痛みの状況

問17 現在、歯の数はどのくらいありますか。(親知らずは含みません。「けずってつめた歯」や「さし歯」も自分の歯として数えます。)

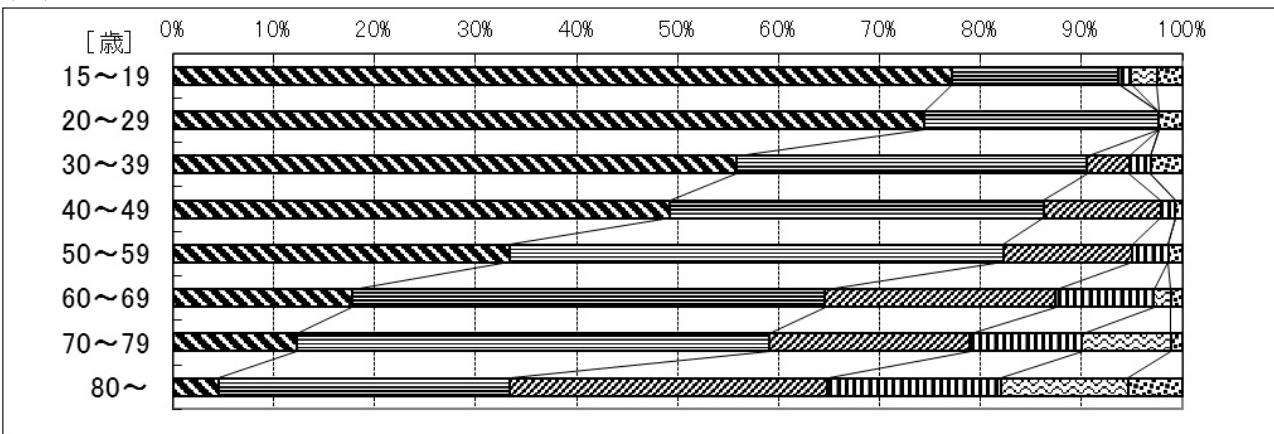
- 全部ある（28本）と回答した者が37.1%、ほとんどある（27～20本）と回答した者が38.7%、半分くらいある（19～10本）と回答した者が13.0%であった。
- 年齢階級別にみると、70～79歳では、全部ある・ほとんどあると回答した者の合計は57.9%であるのに対して、ほとんどない（9～1本）・全くない（0本）と回答した者の合計は18.9%であった。
- また、80歳以上では、全部ある・ほとんどあると回答した者の合計は39.3%であるのに対して、ほとんどない・全くないと回答した者の合計は31.9%であった。

表2-26 現在歯数の状況

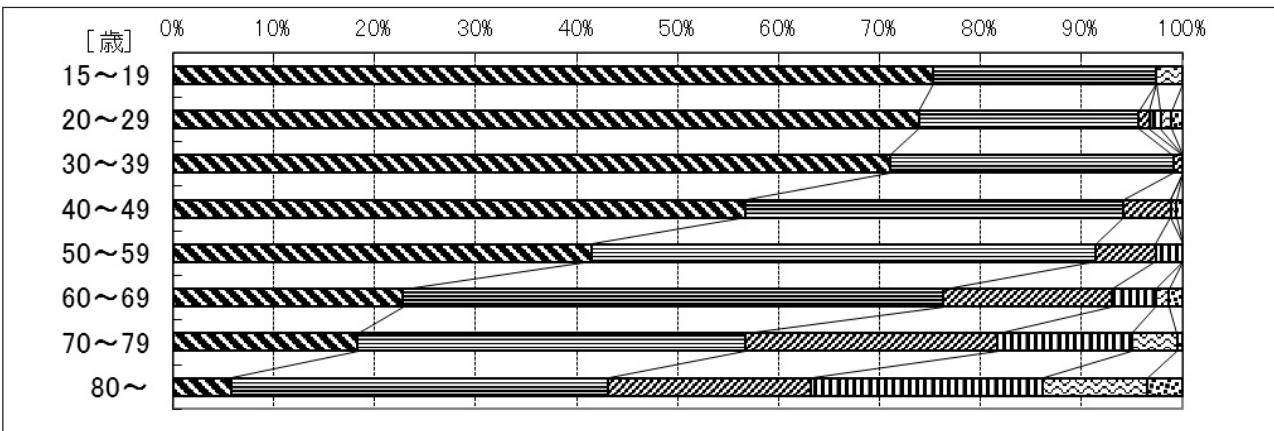
年齢		15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	全部ある(28本)	61 (77.2)	64 (74.4)	53 (55.8)	68 (49.3)	47 (33.3)	31 (17.7)	21 (12.3)	5 (4.5)	350 (35.1)
	ほとんどある (27~20本)	13 (16.5)	20 (23.3)	33 (34.7)	51 (37.0)	69 (48.9)	82 (46.9)	80 (46.8)	32 (28.8)	380 (38.2)
	半分くらいある (19~10本)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (4.2)	16 (11.6)	18 (12.8)	40 (22.9)	34 (19.9)	35 (31.5)	147 (14.8)
	ほとんどない (9~1本)	1 (1.3)	0 (0.0)	2 (2.1)	2 (1.4)	5 (3.5)	17 (9.7)	19 (11.1)	19 (17.1)	65 (6.5)
	まったくない(0本)	2 (2.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.7)	15 (8.8)	14 (12.6)	34 (3.4)
	無回答	2 (2.5)	2 (2.3)	3 (3.2)	1 (0.7)	2 (1.4)	2 (1.1)	2 (1.2)	6 (5.4)	20 (2.0)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	全部ある(28本)	58 (75.3)	68 (73.9)	76 (71.0)	97 (56.7)	63 (41.4)	52 (22.8)	33 (18.3)	10 (5.7)	457 (38.7)
	ほとんどある (27~20本)	17 (22.1)	20 (21.7)	30 (28.0)	64 (37.4)	76 (50.0)	122 (53.5)	69 (38.3)	65 (37.4)	463 (39.2)
	半分くらいある (19~10本)	0 (0.0)	1 (1.1)	1 (0.9)	8 (4.7)	9 (5.9)	38 (16.7)	45 (25.0)	35 (20.1)	137 (11.6)
	ほとんどない (9~1本)	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (2.6)	10 (4.4)	24 (13.3)	40 (23.0)	79 (6.7)
	まったくない(0本)	2 (2.6)	1 (1.1)	0 (0.0)	1 (0.6)	0 (0.0)	3 (1.3)	8 (4.4)	18 (10.3)	33 (2.8)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	1 (0.6)	0 (0.0)	3 (1.3)	1 (0.6)	6 (3.4)	12 (1.0)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	全部ある(28本)	119 (76.3)	132 (74.2)	129 (63.9)	165 (53.4)	110 (37.5)	83 (20.6)	54 (15.4)	15 (5.3)	807 (37.1)
	ほとんどある (27~20本)	30 (19.2)	40 (22.5)	63 (31.2)	115 (37.2)	145 (49.5)	204 (50.6)	149 (42.5)	97 (34.0)	843 (38.7)
	半分くらいある (19~10本)	0 (0.0)	1 (0.6)	5 (2.5)	24 (7.8)	27 (9.2)	78 (19.4)	79 (22.5)	70 (24.6)	284 (13.0)
	ほとんどない (9~1本)	1 (0.6)	1 (0.6)	2 (1.0)	2 (0.6)	9 (3.1)	27 (6.7)	43 (12.3)	59 (20.7)	144 (6.6)
	まったくない(0本)	4 (2.6)	1 (0.6)	0 (0.0)	1 (0.3)	0 (0.0)	6 (1.5)	23 (6.6)	32 (11.2)	67 (3.1)
	無回答	2 (1.3)	3 (1.7)	3 (1.5)	2 (0.6)	2 (0.7)	5 (1.2)	3 (0.9)	12 (4.2)	32 (1.5)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

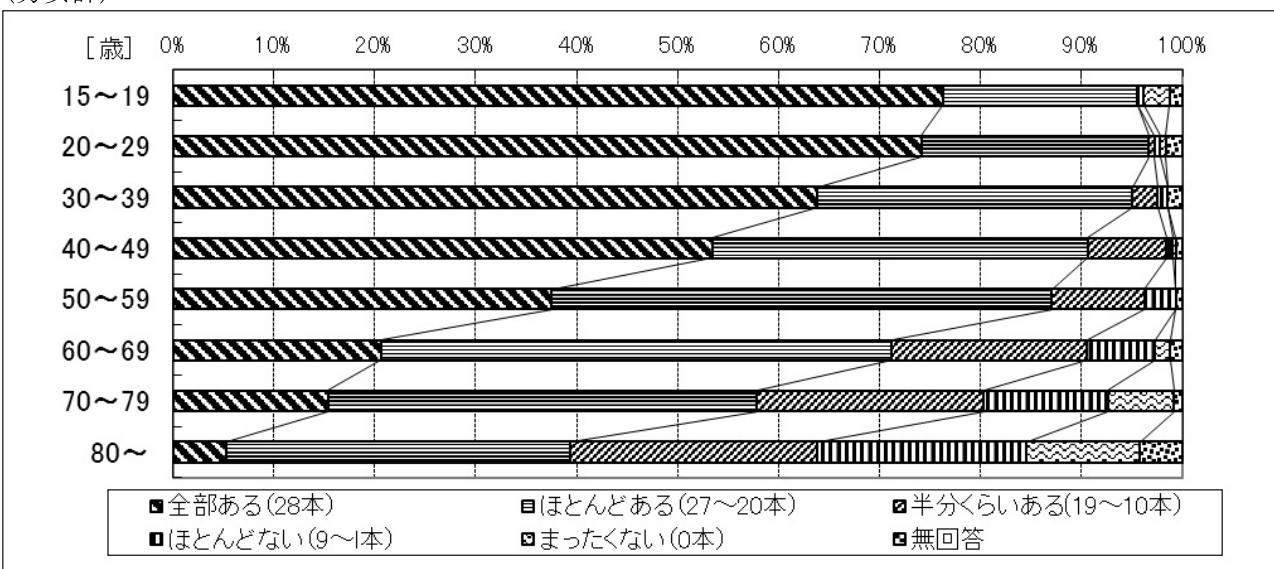


図2-2-3 現在歯数の状況

問18 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(1) 8020(ハチマルニイマル)運動

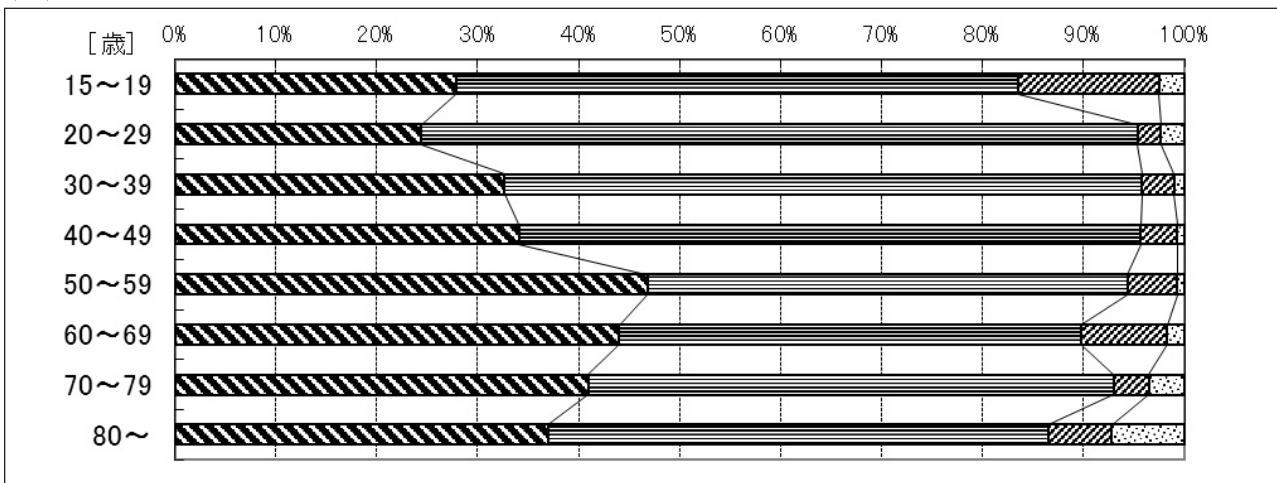
- 「8020運動」という語句を知っている者は、全体の45.8%であった。
- 年齢階級別にみると、50～59歳の年齢階級で56.7%と最も高く、20～29歳で30.3%と最も低かった。
- 男性では、50～59歳で46.8%と最も高く、20～29歳で24.4%と最も低かった。
- 女性では、50～59歳で65.8%と最も高く、15～19歳で35.1%と最も低かった。

表2-27 歯科保健に関する語句の認知度(8020運動)

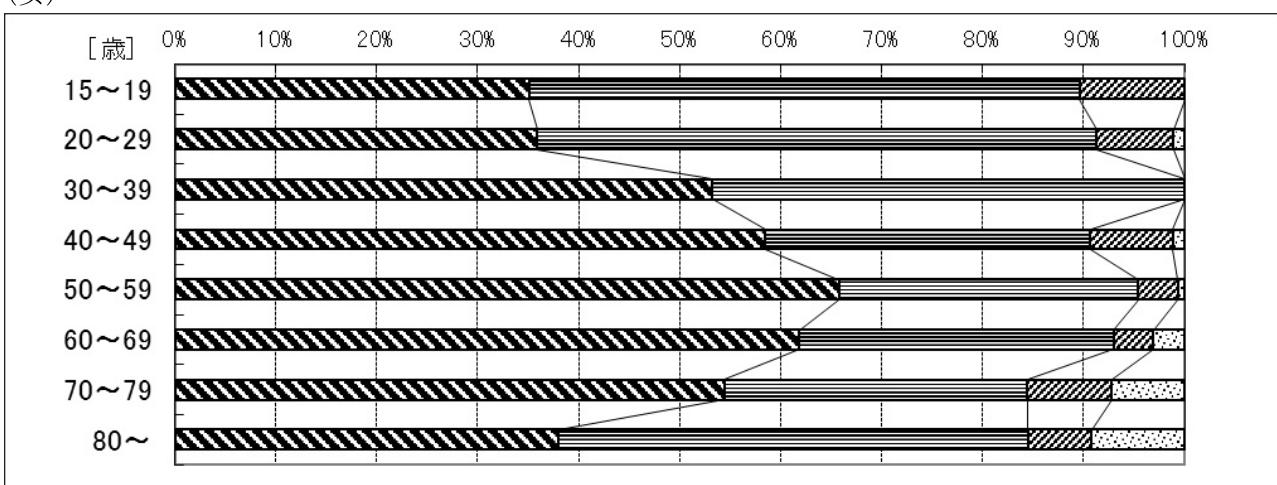
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	知っている	22 (27.8)	21 (24.4)	31 (32.6)	47 (34.1)	66 (46.8)	77 (44.0)	70 (40.9)	41 (36.9)	375 (37.7)
	知らない	44 (55.7)	61 (70.9)	60 (63.2)	85 (61.6)	67 (47.5)	80 (45.7)	89 (52.0)	55 (49.5)	541 (54.3)
	聞いたことはあるが意味はわからない	11 (13.9)	2 (2.3)	3 (3.2)	5 (3.6)	7 (5.0)	15 (8.6)	6 (3.5)	7 (6.3)	56 (5.6)
	無回答	2 (2.5)	2 (2.3)	1 (1.1)	1 (0.7)	1 (0.7)	3 (1.7)	6 (3.5)	8 (7.2)	24 (2.4)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	知っている	27 (35.1)	33 (35.9)	57 (53.3)	100 (58.5)	100 (65.8)	141 (61.8)	98 (54.4)	66 (37.9)	622 (52.7)
	知らない	42 (54.5)	51 (55.4)	50 (46.7)	55 (32.2)	45 (29.6)	71 (31.1)	54 (30.0)	81 (46.6)	449 (38.0)
	聞いたことはあるが意味はわからない	8 (10.4)	7 (7.6)	0 (0.0)	14 (8.2)	6 (3.9)	9 (3.9)	15 (8.3)	11 (6.3)	70 (5.9)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.2)	1 (0.7)	7 (3.1)	13 (7.2)	16 (9.2)	40 (3.4)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	知っている	49 (31.4)	54 (30.3)	88 (43.6)	147 (47.6)	166 (56.7)	218 (54.1)	168 (47.9)	107 (37.5)	997 (45.8)
	知らない	86 (55.1)	112 (62.9)	110 (54.5)	140 (45.3)	112 (38.2)	151 (37.5)	143 (40.7)	136 (47.7)	990 (45.5)
	聞いたことはあるが意味はわからない	19 (12.2)	9 (5.1)	3 (1.5)	19 (6.1)	13 (4.4)	24 (6.0)	21 (6.0)	18 (6.3)	126 (5.8)
	無回答	2 (1.3)	3 (1.7)	1 (0.5)	3 (1.0)	2 (0.7)	10 (2.5)	19 (5.4)	24 (8.4)	64 (2.9)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

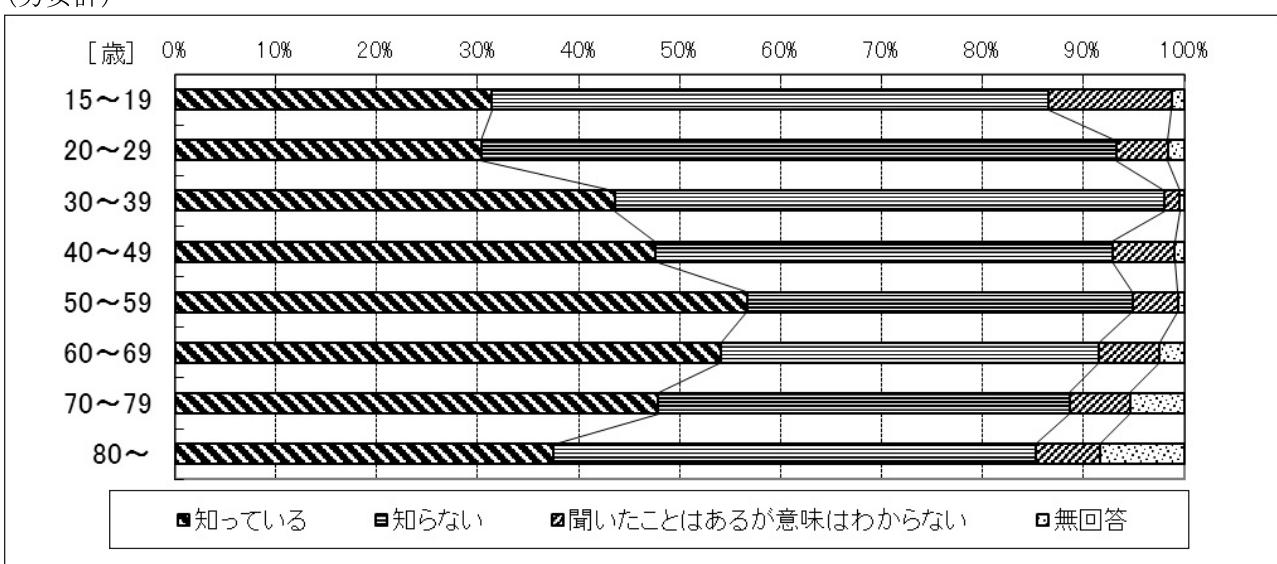


図 2-24 歯科保健に関する語句の認知度（8020運動）

問18 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(2) 噛ミング30（サンマル）運動

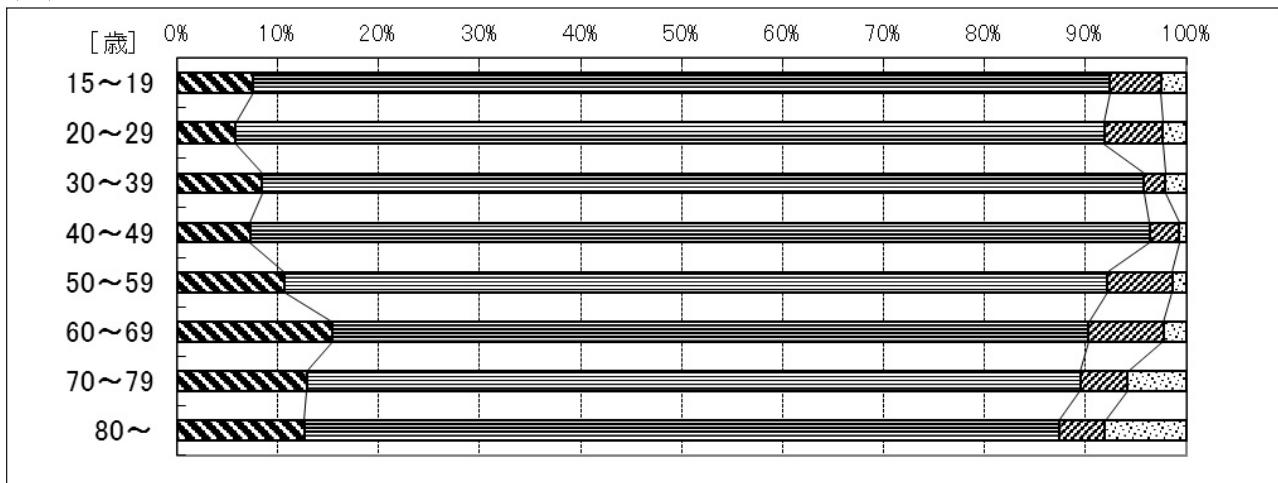
- 「噛ミング30運動」という語句を知っている者は、全体の13.3%であった。
- 年齢階級別にみると、60～69歳の年齢階級で19.1%と最も高く、30～39歳で6.9%と最も低かった。
- 男性では、60～69歳で15.4%と最も高く、20～29歳で5.8%と最も低かった。
- 女性では、70～79歳で24.4%と最も高く、30～39歳で5.6%と最も低かった。

表2－28 歯科保健に関する語句の認知度（噛ミング30運動）

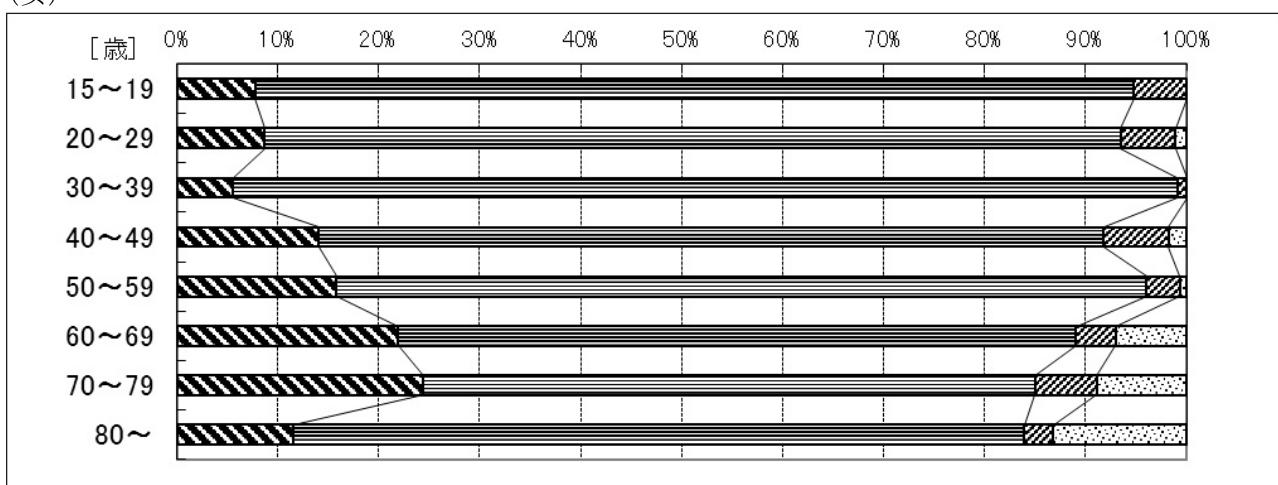
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	知っている	6 (7.6)	5 (5.8)	8 (8.4)	10 (7.2)	15 (10.6)	27 (15.4)	22 (12.9)	14 (12.6)	107 (10.7)
	知らない	67 (84.8)	74 (86.0)	83 (87.4)	123 (89.1)	115 (81.6)	131 (74.9)	131 (76.6)	83 (74.8)	807 (81.0)
	聞いたことはあるが意味はわからない	4 (5.1)	5 (5.8)	2 (2.1)	4 (2.9)	9 (6.4)	13 (7.4)	8 (4.7)	5 (4.5)	50 (5.0)
	無回答	2 (2.5)	2 (2.3)	2 (2.1)	1 (0.7)	2 (1.4)	4 (2.3)	10 (5.8)	9 (8.1)	32 (3.2)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	知っている	6 (7.8)	8 (8.7)	6 (5.6)	24 (14.0)	24 (15.8)	50 (21.9)	44 (24.4)	20 (11.5)	182 (15.4)
	知らない	67 (87.0)	78 (84.8)	100 (93.5)	133 (77.8)	122 (80.3)	153 (67.1)	109 (60.6)	126 (72.4)	888 (75.2)
	聞いたことはあるが意味はわからない	4 (5.2)	5 (5.4)	1 (0.9)	11 (6.4)	5 (3.3)	9 (3.9)	11 (6.1)	5 (2.9)	51 (4.3)
	無回答	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	3 (1.8)	1 (0.7)	16 (7.0)	16 (8.9)	23 (13.2)	60 (5.1)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	知っている	12 (7.7)	13 (7.3)	14 (6.9)	34 (11.0)	39 (13.3)	77 (19.1)	66 (18.8)	34 (11.9)	289 (13.3)
	知らない	134 (85.9)	152 (85.4)	183 (90.6)	256 (82.8)	237 (80.9)	284 (70.5)	240 (68.4)	209 (73.3)	1,695 (77.9)
	聞いたことはあるが意味はわからない	8 (5.1)	10 (5.6)	3 (1.5)	15 (4.9)	14 (4.8)	22 (5.5)	19 (5.4)	10 (3.5)	101 (4.6)
	無回答	2 (1.3)	3 (1.7)	2 (1.0)	4 (1.3)	3 (1.0)	20 (5.0)	26 (7.4)	32 (11.2)	92 (4.2)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

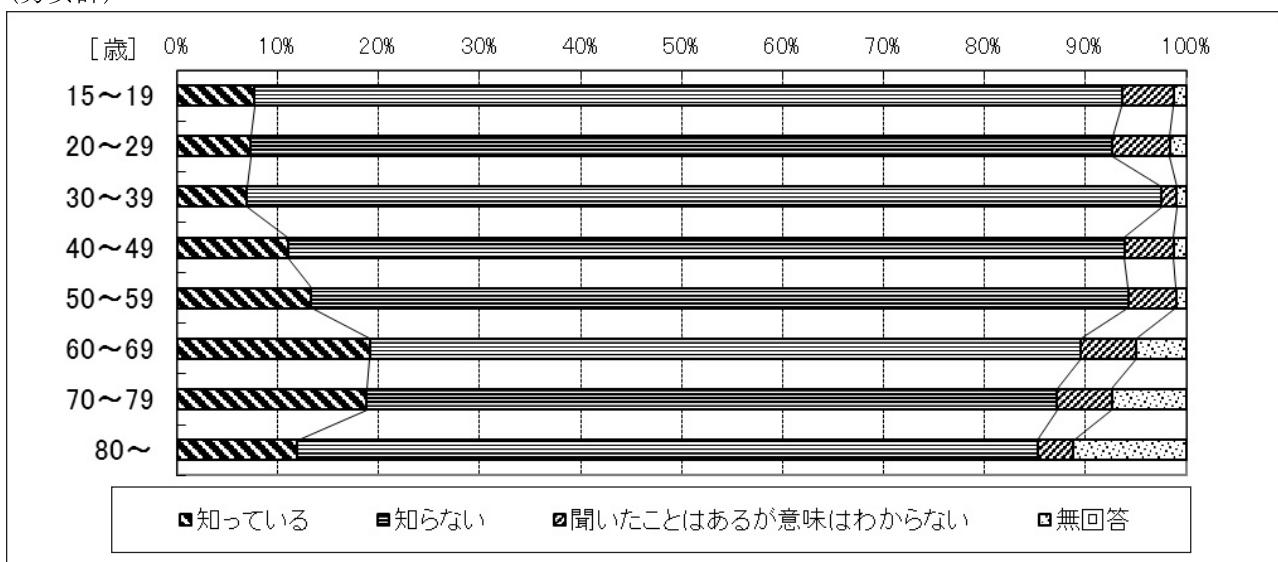


図 2-25 歯科保健に関する語句の認知度（囁ミング 30 運動）

問18 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(3) 歯と口の健康週間（6月4日からの一週間）

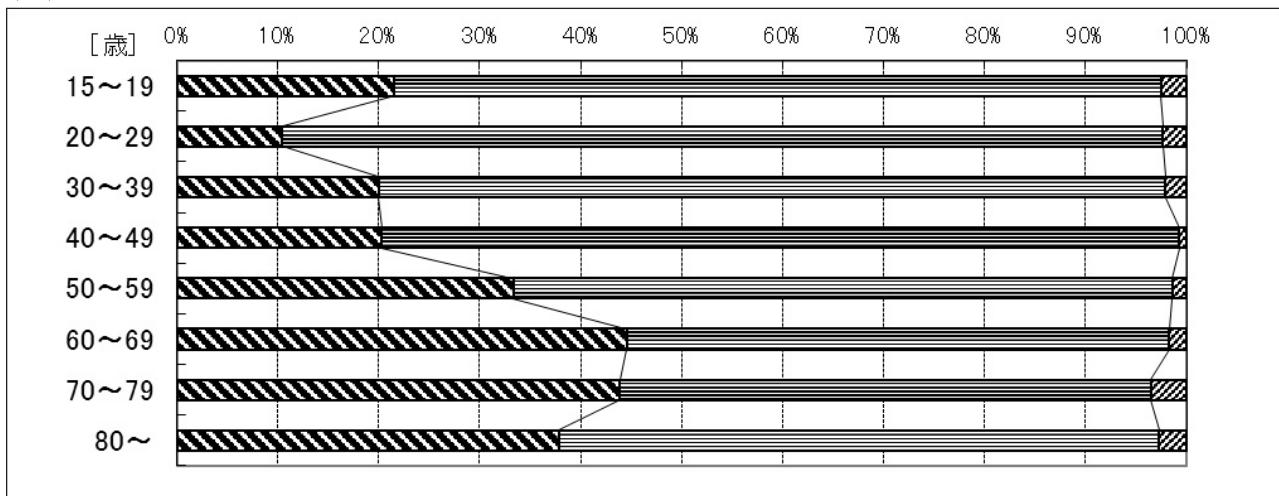
- 「歯と口の健康週間」という語句を知っている者は、全体の42.9%であった。
- 年齢階級別にみると、60～69歳の年齢階級で55.6%と最も高く、20～29歳で24.2%と最も低かった。
- 男性では、60～69歳で44.6%と最も高く、20～29歳で10.5%と最も低かった。
- 女性では、60～69歳で64.0%と最も高く、15～19歳で33.8%と最も低かった。

表2－29 歯科保健に関する語句の認知度（歯と口の健康週間）

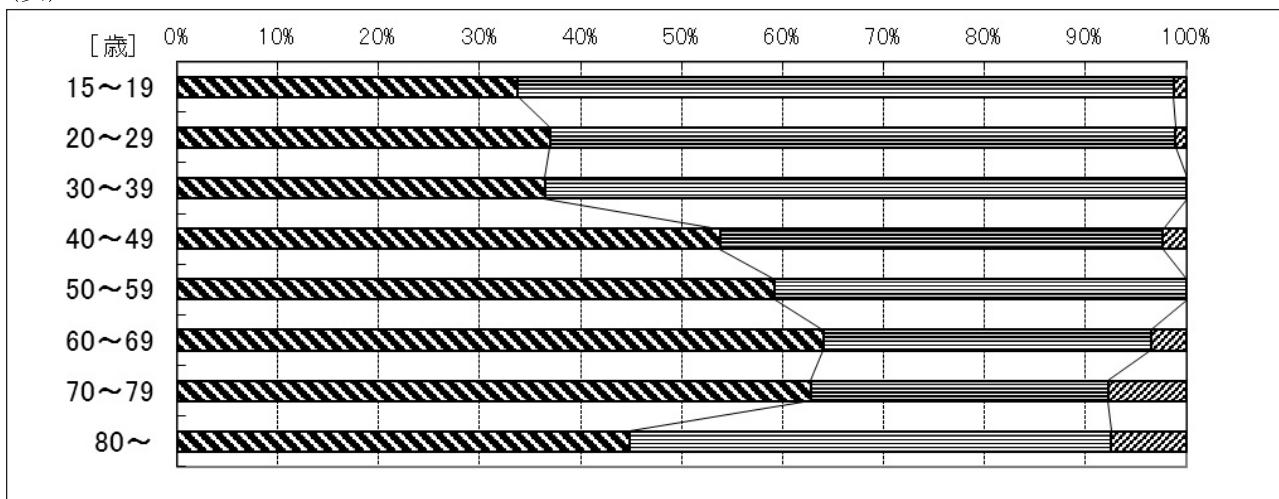
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	知っている	17 (21.5)	9 (10.5)	19 (20.0)	28 (20.3)	47 (33.3)	78 (44.6)	75 (43.9)	42 (37.8)	315 (31.6)
	知らない	60 (75.9)	75 (87.2)	74 (77.9)	109 (79.0)	92 (65.2)	94 (53.7)	90 (52.6)	66 (59.5)	660 (66.3)
	無回答	2 (2.5)	2 (2.3)	2 (2.1)	1 (0.7)	2 (1.4)	3 (1.7)	6 (3.5)	3 (2.7)	21 (2.1)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	知っている	26 (33.8)	34 (37.0)	39 (36.4)	92 (53.8)	90 (59.2)	146 (64.0)	113 (62.8)	78 (44.8)	618 (52.3)
	知らない	50 (64.9)	57 (62.0)	68 (63.6)	75 (43.9)	62 (40.8)	74 (32.5)	53 (29.4)	83 (47.7)	522 (44.2)
	無回答	1 (1.3)	1 (1.1)	0 (0.0)	4 (2.3)	0 (0.0)	8 (3.5)	14 (7.8)	13 (7.5)	41 (3.5)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	知っている	43 (27.6)	43 (24.2)	58 (28.7)	120 (38.8)	137 (46.8)	224 (55.6)	188 (53.6)	120 (42.1)	933 (42.9)
	知らない	110 (70.5)	132 (74.2)	142 (70.3)	184 (59.5)	154 (52.6)	168 (41.7)	143 (40.7)	149 (52.3)	1,182 (54.3)
	無回答	3 (1.9)	3 (1.7)	2 (1.0)	5 (1.6)	2 (0.7)	11 (2.7)	20 (5.7)	16 (5.6)	62 (2.8)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

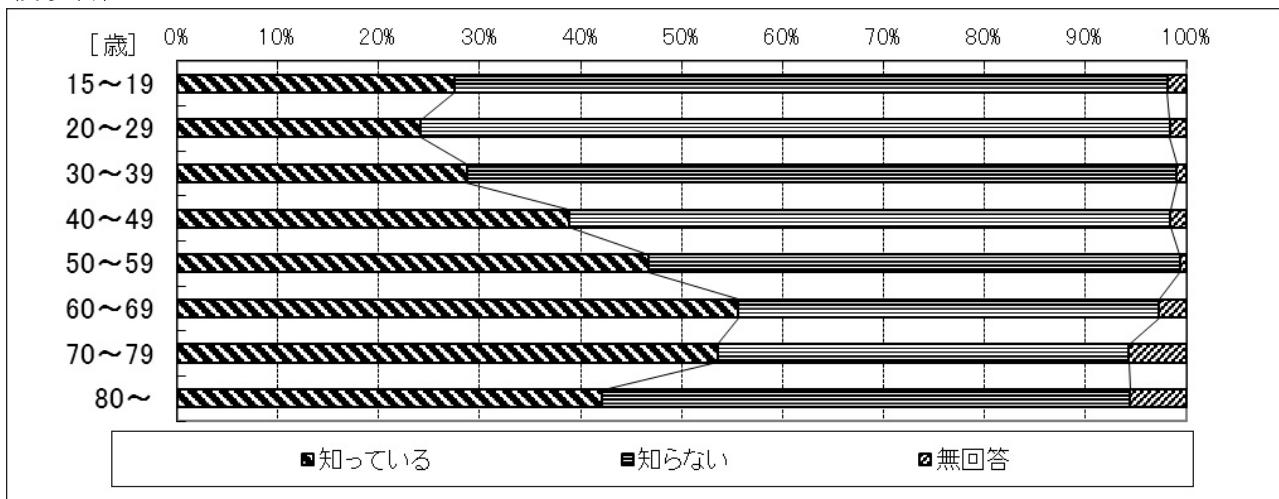


図2-26 歯科保健に関する語句の認知度（歯と口の健康週間）

問18 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(4) いい歯の日 (11月8日)

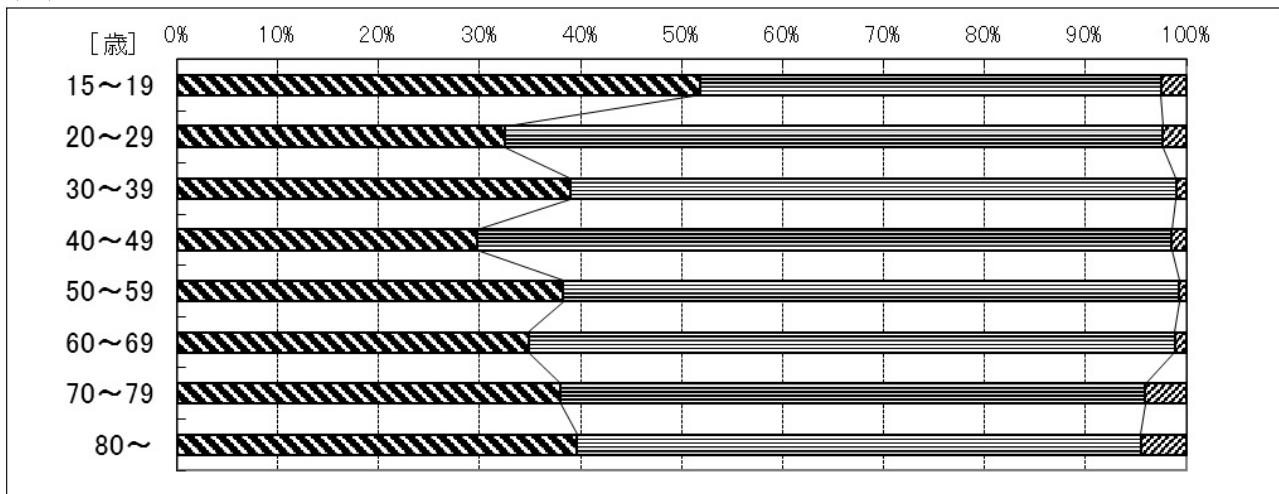
- 「いい歯の日」という語句を知っている者は、全体の45.7%であった。
- 年齢階級別にみると、15～19歳の年齢階級で62.8%と最も高く、80歳以上で41.8%と最も低かった。
- 男性では、15～19歳で51.9%と最も高く、40～49歳で29.7%と最も低かった。
- 女性では、15～19歳で74.0%と最も高く、80歳以上で43.1%と最も低かった。

表2－30 歯科保健に関する語句の認知度（いい歯の日）

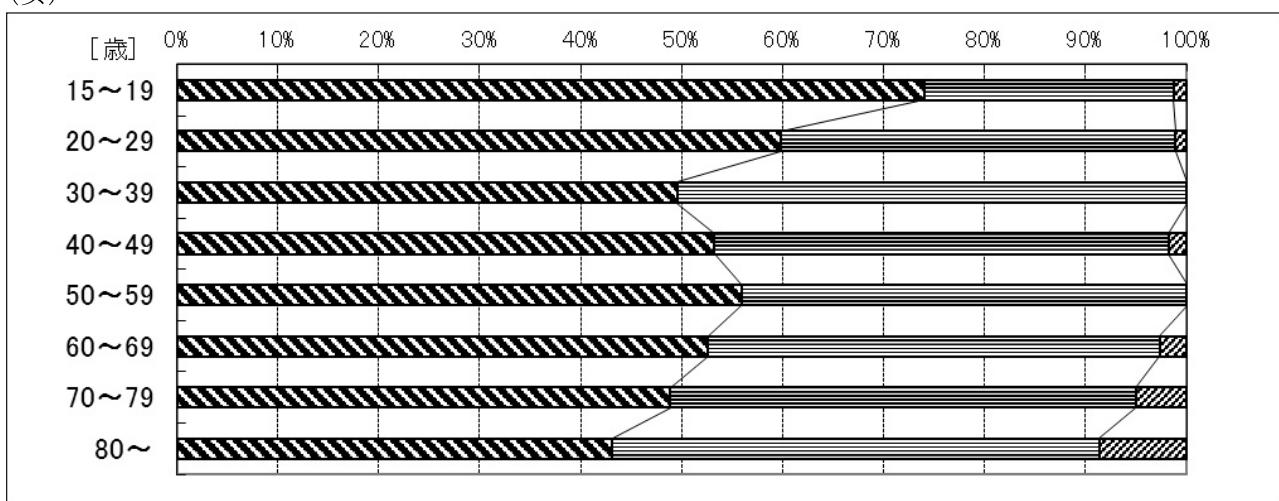
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	知っている	41 (51.9)	28 (32.6)	37 (38.9)	41 (29.7)	54 (38.3)	61 (34.9)	65 (38.0)	44 (39.6)	371 (37.2)
	知らない	36 (45.6)	56 (65.1)	57 (60.0)	95 (68.8)	86 (61.0)	112 (64.0)	99 (57.9)	62 (55.9)	603 (60.5)
	無回答	2 (2.5)	2 (2.3)	1 (1.1)	2 (1.4)	1 (0.7)	2 (1.1)	7 (4.1)	5 (4.5)	22 (2.2)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	知っている	57 (74.0)	55 (59.8)	53 (49.5)	91 (53.2)	85 (55.9)	120 (52.6)	88 (48.9)	75 (43.1)	624 (52.8)
	知らない	19 (24.7)	36 (39.1)	54 (50.5)	77 (45.0)	67 (44.1)	102 (44.7)	83 (46.1)	84 (48.3)	522 (44.2)
	無回答	1 (1.3)	1 (1.1)	0 (0.0)	3 (1.8)	0 (0.0)	6 (2.6)	9 (5.0)	15 (8.6)	35 (3.0)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	知っている	98 (62.8)	83 (46.6)	90 (44.6)	132 (42.7)	139 (47.4)	181 (44.9)	153 (43.6)	119 (41.8)	995 (45.7)
	知らない	55 (35.3)	92 (51.7)	111 (55.0)	172 (55.7)	153 (52.2)	214 (53.1)	182 (51.9)	146 (51.2)	1,125 (51.7)
	無回答	3 (1.9)	3 (1.7)	1 (0.5)	5 (1.6)	1 (0.3)	8 (2.0)	16 (4.6)	20 (7.0)	57 (2.6)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

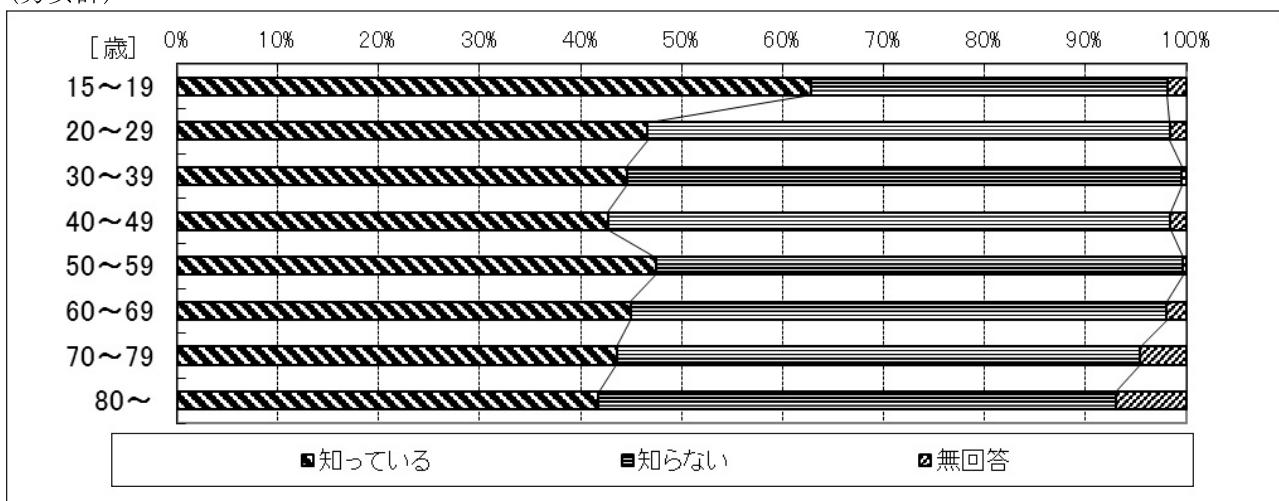


図2-27 歯科保健に関する語句の認知度（いい歯の日）

問18 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

(5) いい歯の週間 (11月8日からの一週間)

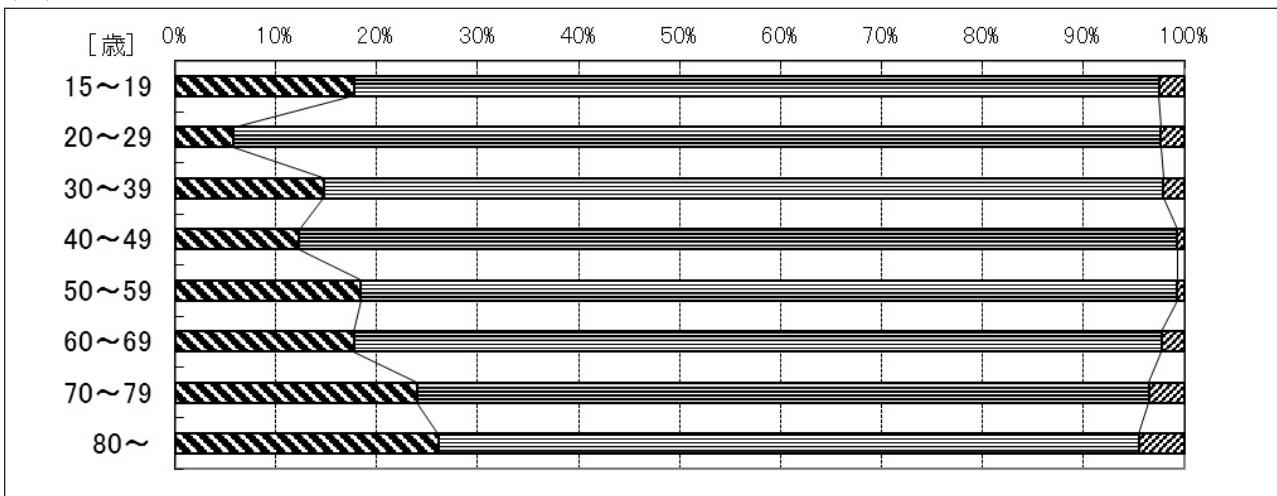
- 「いい歯の週間」という語句を知っている者は、全体の21.9%であった。
- 年齢階級別にみると、70～79歳の年齢階級で26.8%と最も高く、20～29歳で12.9%と最も低かった。
- 男性では、80歳以上で26.1%と最も高く、20～29歳で5.8%と最も低かった。
- 女性では、15～19歳で33.8%と最も高く、20～29歳、30～39歳で19.6%と最も低かった。

表2-3-1 歯科保健に関する語句の認知度 (いい歯の週間)

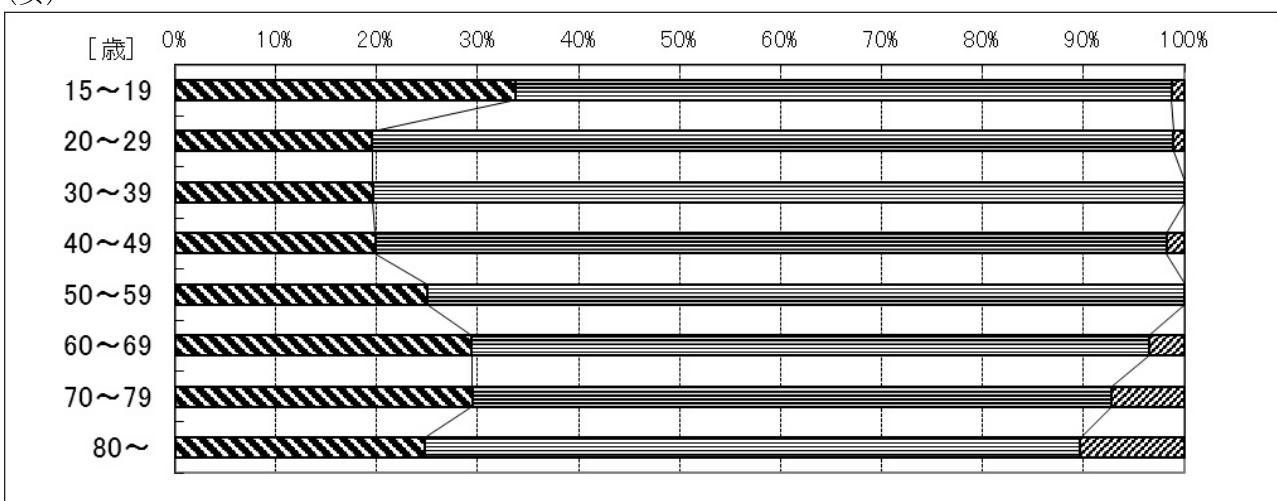
年齢		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	知っている	14 (17.7)	5 (5.8)	14 (14.7)	17 (12.3)	26 (18.4)	31 (17.7)	41 (24.0)	29 (26.1)	177 (17.8)
	知らない	63 (79.7)	79 (91.9)	79 (83.2)	120 (87.0)	114 (80.9)	140 (80.0)	124 (72.5)	77 (69.4)	796 (79.9)
	無回答	2 (2.5)	2 (2.3)	2 (2.1)	1 (0.7)	1 (0.7)	4 (2.3)	6 (3.5)	5 (4.5)	23 (2.3)
	計	79	86	95	138	141	175	171	111	996
女	知っている	26 (33.8)	18 (19.6)	21 (19.6)	34 (19.9)	38 (25.0)	67 (29.4)	53 (29.4)	43 (24.7)	300 (25.4)
	知らない	50 (64.9)	73 (79.3)	86 (80.4)	134 (78.4)	114 (75.0)	153 (67.1)	114 (63.3)	113 (64.9)	837 (70.9)
	無回答	1 (1.3)	1 (1.1)	0 (0.0)	3 (1.8)	0 (0.0)	8 (3.5)	13 (7.2)	18 (10.3)	44 (3.7)
	計	77	92	107	171	152	228	180	174	1,181
計	知っている	40 (25.6)	23 (12.9)	35 (17.3)	51 (16.5)	64 (21.8)	98 (24.3)	94 (26.8)	72 (25.3)	477 (21.9)
	知らない	113 (72.4)	152 (85.4)	165 (81.7)	254 (82.2)	228 (77.8)	293 (72.7)	238 (67.8)	190 (66.7)	1,633 (75.0)
	無回答	3 (1.9)	3 (1.7)	2 (1.0)	4 (1.3)	1 (0.3)	12 (3.0)	19 (5.4)	23 (8.1)	67 (3.1)
	計	156	178	202	309	293	403	351	285	2,177

※括弧内は%

(男)



(女)



(男女計)

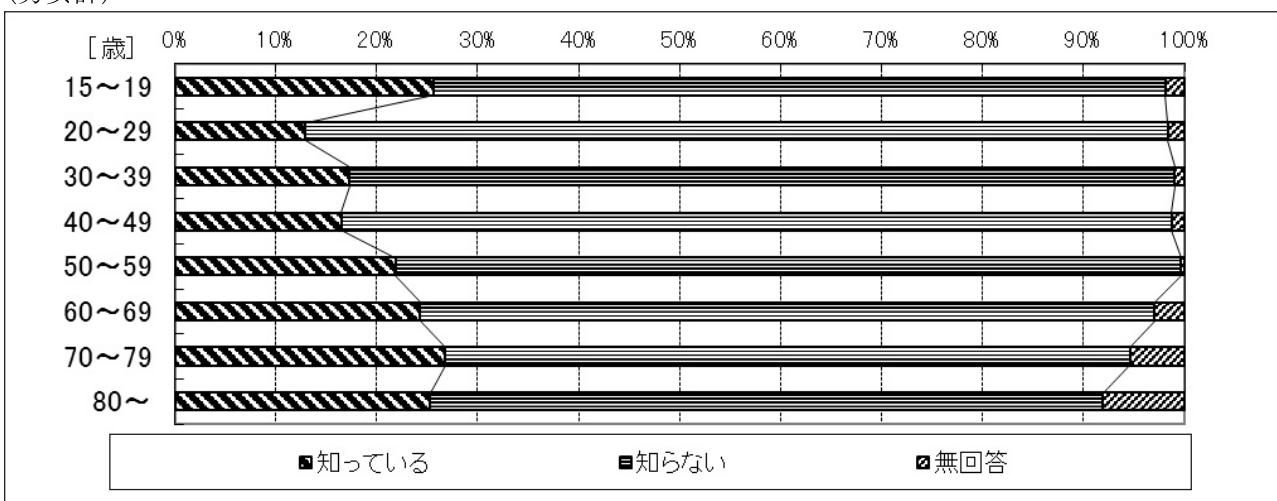


図2-28 歯科保健に関する語句の認知度（いい歯の週間）

IV 調査結果（3）健康増進計画等との対応

健康増進計画等で目標として掲げる項目等について、データを整理した。

1. 健康日本21（第二次）

項目	年齢区分	平成 28 年度	目標
口腔機能の維持・向上(60 歳代における咀嚼良好者の割合の増加)	60～69 歳	64.5%	80%(平成 34 年度)
80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	75～84 歳	56.1%	50%(平成 34 年度)
60 歳で 24 歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	55～64 歳	76.5%	70%(平成 34 年度)
40 歳で喪失歯がない者の割合	35～44 歳	77.5%	75%(平成 34 年度)
20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	20～29 歳	69.2%	25%(平成 34 年度)
40 歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	40～49 歳	56.0%	25%(平成 34 年度)
60 歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	60～69 歳	62.2%	45%(平成 34 年度)
過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	20 歳以上	63.6%	65%(平成 34 年度)

2. 健康ひろしま21（第2次）

項目	年齢区分	平成 28 年度	目標
40 歳代で進行した歯周炎を有する人の減少	40～49 歳	56.0%	20%以下(平成 29 年度)
50 歳代で進行した歯周炎を有する人の減少	50～59 歳	62.8%	30%以下(平成 29 年度)
80 歳で 20 本以上の自分の歯を有する人の増加	75～84 歳	56.1%	58%以上(平成 29 年度)

3. 広島県歯と口腔の健康づくり推進計画

項目	年齢区分	平成 28 年度	目標
20 歳代で歯肉に炎症を有する人の減少	20～29 歳	69.2%	69%以下(平成 29 年度)
40 歳代で進行した歯周炎を有する人の減少	40～49 歳	56.0%	20%以下(平成 29 年度)
50 歳代で進行した歯周炎を有する人の減少	50～59 歳	62.8%	30%以下(平成 29 年度)
60 歳で 24 本以上の自分の歯を有する人の増加	55～64 歳	76.5%	67%以上(平成 29 年度)
80 歳で 20 本以上の自分の歯を有する人の増加	75～84 歳	56.1%	58%以上(平成 29 年度)
1日2回以上歯をみがく人の増加	全年齢	74.1%	70%以上(平成 29 年度)
かかりつけ歯科医をもっている人の増加	全年齢	82.0%	80%以上(平成 29 年度)
年1回歯科健診を受けている人の増加	全年齢	63.8%	60%以上(平成 29 年度)
「噛ミング 30 運動」を知っている人の増加	全年齢	13.3%	50%以上(平成 29 年度)
「噛ミング 30 運動」を実行している人の増加(ゆっくりよくかんで食事をする人)	全年齢	34.6%	40%以上(平成 29 年度)
年1回歯石除去を受ける人の増加(成人期)	20～59 歳	54.8%	50%以上(平成 29 年度)
歯間清掃用具を使用する人の増加(成人期)	20～59 歳	46.3%	45%以上(平成 29 年度)
歯周疾患と糖尿病の関係を知っている人の増加(成人期)	20～59 歳	37.9%	50%以上(平成 29 年度)
歯周疾患と喫煙の関係を知っている人の増加(成人期)	20～59 歳	51.4%	80%以上(平成 29 年度)
年1回歯石除去を受ける人の増加(高齢期)	60 歳以上	60.2%	50%以上(平成 29 年度)
歯間清掃用具を使用する人の増加(高齢期)	60 歳以上	54.4%	45%以上(平成 29 年度)

4. 節目年齢における進行した歯周炎を有する割合

項目	年齢区分	平成 28 年度
40 歳における進行した歯周炎を有する者の割合	35～44 歳	55.8%
50 歳における進行した歯周炎を有する者の割合	45～54 歳	59.1%
60 歳における進行した歯周炎を有する者の割合	55～64 歳	63.9%
70 歳における進行した歯周炎を有する者の割合	65～74 歳	65.4%

参考

調査に用いた主な指標

1 一人平均現在歯数

$$\text{一人平均現在歯数(本)} = \frac{\text{全受診者の現在歯数の合計}}{\text{受診者数}}$$

(注) 現在歯数：健全歯、未処置歯、処置歯の合計

2 一人平均う歯数(DMF歯数)

$$\text{一人平均う歯数(DMF歯数)(本)} = \frac{\text{全受診者の DMF 歯の合計}}{\text{受診者数}}$$

(注) D：未処置歯、M：喪失歯、F：処置歯

DMF歯： $D+M+F$ （う歯経験歯数を表す）

3 う歯有病者率

$$\text{う歯有病者率}(\%) = \frac{\text{う歯のある者の数}}{\text{受診者数}} \times 100$$

(注) う歯のある者：未処置歯、処置歯、喪失歯のいずれかを有する者

4 CPI(地域歯周疾患指数)

前回調査結果（平成23年度）と比較できるようにCPIコードは旧判定基準に当てはめて集計した。

コード	判定基準
0	健全
1	歯肉出血
2	歯石沈着
3	浅いポケット（4mm以上 6mm未満）
4	深いポケット（6mm以上）

付表 1

1 指定公共施設

調査地区	施設名	協力歯科医師	協力歯科衛生士
広島市南区南蟹屋の一部	南蟹屋集会所	能美 和基	能美 真由美
広島市安佐南区毘沙門台の一部	毘沙門台東集会所	林 英貴	二島 弘枝
広島市安芸区船越南の一部	安芸区総合福祉センター	新谷 宏規	砂川 尚子
呉市海岸の一部	二川まちづくりセンター	吉田 幸惠	浮田 瑞穂
大崎上島町東野の一部	生野島老人集会所	黒川 貞幸	梅木 ちひろ
三原市西野の一部	梅林公民館	岸田 徹	渡邊 美菜子
福山市南蔵王町の一部	福山市歯科医師会館	喜田 勝幸	喜田 千晶

2 指定歯科医療機関

市町	歯科医療機関名	市町	歯科医療機関名
広島市	かとう歯科・矯正歯科	呉市	第二沖山歯科医院
	山本歯科医院		よしだ歯科
	中川歯科	大崎上島町	好中歯科医院
	イースト歯科クリニック		山本歯科クリニック
	勝田歯科医院	東広島市	友安歯科診療所
	横引歯科医院		(医)龜山歯科医院
	ゆめ歯科クリニック	三原市	近藤歯科
	はなのき歯科クリニック		みやけ歯科医院
	(医)社団やまもと歯科医院		あまの歯科・矯正歯科クリニック
	(医)横畠歯科医院		つばさ歯科
	ひらの歯科クリニック	福山市	三谷歯科医院
	山田歯科医院		黒瀬歯科医院
海田町	根石歯科医院		橋本歯科医院
	岸保歯科医院		しんき歯科医院
坂町	(医)誠和会クボ歯科クリニック		こばやし歯科医院
	なかむら歯科医院		矢野歯科医院
北広島町	トマト歯科クリニック		荒木歯科医院
	(医)共愛会三宅歯科医院		フロカワ歯科医院
廿日市市	藤本歯科医院	府中市	しげはら歯科クリニック
	尾崎歯科クリニック		(医)小西歯科医院
	村上歯科医院	三次市	伊藤歯科医院
	(医)社団安芸歯科クリニック		佐々木歯科医院
呉市	のりこ歯科医院	庄原市	生熊歯科
	三条歯科		(医)社団横山歯科医院

3 協力歯科医療機関

市区町名	歯科医療機関名	協力歯科医師
広島市中区	上川歯科医院	上川 克己
	ア歯科広島東 G 小松診療所	小松 大造
	荒谷歯科医院	荒谷 恭史
	若林デンタルクリニック並木通り	若林 大輔
広島市東区	能美歯科医院	能美 和基
	ななほし歯科クリニック	前島 真紀子
	宮地デンタルクリニック	宮地 謙
	細原歯科医院	細原 賢一
広島市南区	有馬歯科医院	有馬 隆
	イースト歯科クリニック	上田 裕次
広島市西区	(医)志友会ともデンタルクリニック	藤田 友昭
	三戸歯科医院	三戸 敦史
広島市安佐北区	さくま小児歯科クリニック	佐久間 信彦
	瀬川歯科医院	瀬川 和司
広島市佐伯区	おおはら歯科クリニック	大原 将史
呉市	ふじた歯科医院	藤田 満
	もりざね歯科医院	盛實 俊也
竹原市	三好歯科医院	三好 敏朗
三原市	郷田歯科医院	郷田 浩
尾道市	大元歯科医院	大元 一弘
福山市	デンタルクリニック東陽台	大石 塤一
	フロカワ歯科医院	風呂川 彰
	明王台クリニック	神原 滋
大竹市	きらら歯科医院	伊藤 光康
東広島市	佐竹田歯科医院	佐竹田 久
廿日市市	ふじた歯科	藤田 裕樹
	(医)社団安芸歯科クリニック	山中 史教
府中町	新谷歯科医院	新谷 宏規

付表2

歯科健康診査票

提出用

調査施設名 _____

調査日 ____ 月 ____ 日

歯科医師名 _____

(1) 住 所	市・町 区	(2) 性 別	1. 男 2. 女
(3) 生年月日	1. 平 2. 昭 3. 大	年 月 日	

(4) 歯の状況

上顎	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
(右)																

下顎	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
(左)																

1. 健全 歯数 (/, t)	2. 未処置 歯数 (Cl, Ch)	3. 処置 歯数 (F, K)	4. 現在 歯数 (1+2+3)	5. 要補綴 歯数 (△)	6. 欠損補綴 歯数 (Fu,P,B,Im)
-----------------------	--------------------------	-----------------------	------------------------	---------------------	------------------------------

(5) 補綴物の状況

	上顎	下顎
補綴物数	架工義歯	
	部分床義歯	
	全部床義歬	

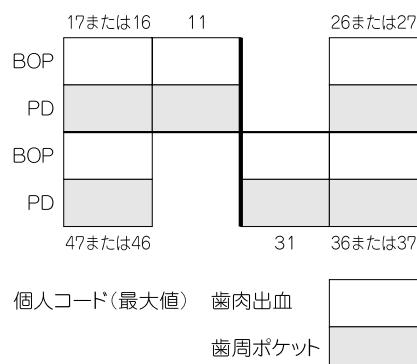
記入にあたり用いる符号

- | | | | |
|-------------------|------|-----------|------|
| 1. (1) 健全歯 | : / | 4. 要補綴歯 | : △ |
| (2) 健全歯(予防填塞) | : t | 5. 全部床義歬 | : Fu |
| 2. (1) 未処置歯(軽度う蝕) | : Ci | 6. 部分床義歬 | : P |
| (2) 未処置歯(重度う蝕) | : Ch | 7. 架工義歬 | : B |
| 3. (1) 充填歯 | : F | 8. インプラント | : Im |
| (2) クラウン | : K | | |

(6) 口腔清掃状態

1. 良好
2. 普通
3. 不良
- 歯石の付着
- 1. なし
 - 2. 軽度(点状)あり
 - 3. 中等度(帯状)以上あり

(7) 歯肉の状況



[歯肉出血BOP]

- 0: 健全
- 1: 出血あり
- 9: 除外歯
- X: 該当歯なし

[歯周ポケットPD]

- 0: 健全
- 1: 深いポケット(4mm~5mm)
- 2: 深いポケット(6mm以上)
- 9: 除外歯
- X: 該当歯なし

判定区分

1. 異常なし 2. 要指導 3. 要精密検査
- CPI : 歯肉出血 0
 かつ
 歯周ポケット 0
· 未処置歯・要補綴歯・
 その他の所見がない
- a. CPI : 歯肉出血1、かつ、歯周ポケット0
b. 口腔清掃状態不良
c. 歯石の付着あり(軽度、中等度以上)
- a. CPI : 歯周ポケット1
b. CPI : 歯周ポケット2
c. 未処置歯あり
d. 要補綴歯あり
- e. その他の所見あり

対象者用

歯科健康診査票

調査施設名 _____

調査日 ____ 月 ____ 日

歯科医師名 _____

住 所	市・町 区	性 別	1. 男 2. 女
生年月日	1. 平 2. 昭 3. 大	年 月 日	

歯の状況

上 顎 (右)	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
下 顎 (左)	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

健康な 歯の数	要治療の むし歯の 数	治療済の 歯の数	あなたの 歯の数の 合計	入れ歯など が必要な歯 の数	入れ歯など になっている 歯の数

補綴物の状況

	上顎	下顎
補綴物 数	ブリッジ	
	部分入れ歯	
	総入れ歯	

記入にあたり用いる符号

- | | | | |
|-------------------|------|-----------|------|
| 1. (1) 健全歯 | : / | 4. 要補綴歯 | : △ |
| (2) 健全歯(予防填塞) | : t | 5. 全部床義歯 | : Fu |
| 2. (1) 未処置歯(軽度う蝕) | : Ci | 6. 部分床義歯 | : P |
| (2) 未処置歯(重度う蝕) | : Ch | 7. 架工義歯 | : B |
| 3. (1) 充填歯 | : F | 8. インプラント | : Im |
| (2) クラウン | : K | | |

口腔清掃状態

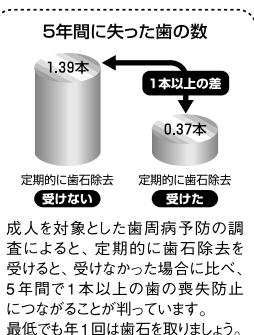
1. 良好
2. 普通
3. 不良
- 歯石の付着
1. なし
2. 軽度(点状)あり
3. 中等度(帯状)以上あり

永久歯は「親知らず」まですべてはえると32本です。

生涯にわたって自分の歯で食べることができますように、20本以上の歯を保つことを目標にしましょう。歯が少なくなっているかたも、今ある歯を大切に保つように努めましょう。

歯周病は、歯を失う一番の原因であり、糖尿病、心臓病(狭心症・心筋梗塞等)、脳梗塞、関節リウマチ、内蔵型肥満、早産・低体重児出産、肺炎等、全身の健康に悪影響を与えることも分かれています。

今回の歯科健診を機会に、かかりつけの歯科医療機関をもち、年1回はチェックを受けましょう。



成人を対象とした歯周病予防の調査によると、定期的に歯石除去を受けた場合に比べ、5年間で1本以上の歯の喪失防止につながることが判っています。

最低でも年1回は歯石を取りましょう。

健診結果は、今回の広島県歯科保健実態調査の集計以外には使用しません。また、統計的に処理されますので、個人が特定されることはありません。

判定区分

[] お口の中は良好 [] 歯周病を疑う所見があります。

な状態です。

良い状態です。丁寧な歯みがきを続け、定期検診を心がけてください。

[] さらに詳しい検査や治療が必要な状態です。

[] 歯肉に軽い炎症があります。

[] 歯みがき方法について指導を受けましょう。

[] 歯石を取りに歯科医療機関を受診しましょう。

[] 深い歯周ポケットが認められました。 [] その他の所見があります。(他の

所見欄をご参考ください。)

[] むし歯があります。

[] 歯が抜けたままになっています。

付表3

歯科健康診査の診査基準

1 診査基準

本調査は、次に掲げる基準に従って診査する。

(1) 現在歯

- ①現在歯とは、歯の全部または一部が口腔に表れているものをいう。現在歯は、健全歯、未処置歯、処置歯の3種に分類する。
- ②永久歯について診査し、乳歯については診査しない。
- ③過剰歯は含めないこととし、歯合歯は1歯として取り扱い、その場合の歯種名は上位歯種名をもってこれにあてる。(例: 中切歯と側切歯の歯合歯は、中切歯とする。)
- ④現在歯の診査は、視診を原則とするが、充分な照明が得られない等の診査環境の場合には、レジン充填等の確認などに際し、必要があればWHOプローブを用いること。

ア 健全歯

- ◆健全歯とは、う蝕あるいは歯科的処置の認められないもの(以下に記す未処置歯及び処置歯の項に該当しないもの)をいう。
 - ◆咬耗、摩耗、斑状歯、外傷、酸蝕症、発育不全、形態異常、エナメル質形成不全、着色、歯周炎等の歯であっても、それにう蝕のないものは健全歯とする。
- (注) 歯質の変化がなく、単に小窓裂溝が黒褐色に着色しているもの、平滑面で表面的に淡褐色の着色を認めるが歯質は透明で滑沢なもの、エナメル質形成不全と考えられるものなどは、すべて健全歯とする。
- ◆健全歯を予防填塞(フィッシャー・シーラント)の有無により、次のように分類する。

i. 健全歯／

予防填塞(フィッシャー・シーラント)がされていない歯

ii. 健全歯 t(予防填塞済)

予防填塞(フィッシャー・シーラント)がされている歯

- (注) 予防填塞と処置歯との鑑別を行う場合、一般的に予防填塞はレジン充填に比べ
- ①色調が異なること
 - ②填塞物の辺縁の形態が裂溝状で細く、不揃いなこと
 - ③填塞物表面の粗ぞう感が少ないこと
- が多いことを考慮する。

イ 未処置歯

- ◆未処置歯は、次のとおり分類する。

i. 軽度う蝕(Ci : Caries incipient)

ii . 重度う蝕 (Ch : Caries high grade)

(注) 1) 同一歯に2か所以上にう蝕のある場合には、病状の進んでいる方をとる。

2) フッ化ジアミン銀（サホライド）のみを塗布したと考えられる歯は未処置歯とする。

i . 軽度う蝕 (C i)

歯冠部のう蝕については、明らかなう窩、脱灰・浸蝕されたエナメル質、軟化底、軟化壁が探知できる小窩裂溝、平滑面の病変をう蝕とする。また、根面部のう蝕については、病変部にソフト感あるいはざらついた感じがあればう蝕とする。なお、視診のうえ確認する場合にはWHOプローブを用いる。

ii . 重度う蝕 (C h)

重度う蝕とは、歯髄まで病変が波及しているものまたは、それ以上に病変が進行しているものをいう。

◆ C4 の残根は重度う蝕 (C h) とする。

ウ 処置歯

◆ 処置歯とは歯の一部または全部に充填、クラウン等を施しているものをいう。

◆ 歯周炎の固定装置、矯正装置、矯正後の保定装置、保険装置及び骨折治療に用いる整復固定装置（三内式線副子等）は含まない。

◆ 治療が完了していない歯、二次う蝕や他の歯面で未処置う蝕が認められた処置歯は未処置歯として取り扱う。

◆ 予防填塞（フィッシャー・シーラント）の施してある歯については、可能な限り問診して、う蝕のない歯に填塞を施したものは健全歯とするが、明らかにう蝕のあった歯に填塞したものは処置歯とする。

◆ 根面板等を施してある歯は、処置歯とする。その上部に義歯等が装着している場合はその装置の符号（F u , P , B 等）を併記する。その場合、処置歯数に含め、補綴処置歯数には含めない。

i . 充填 (F)

セメント充填、レジン充填、アマルガム充填、ポーセレンインレー、金銀パラジウム合金（インレー、アンレー及び3/4 冠を含む）等により、充填または一部歯冠修復しているものはこれに含める。架工義歯の支台歯であっても、一部修復しているものはこれに含める。

ii . クラウン (K)

全部金属冠、陶材焼付铸造冠、レジン前装冠、ジャケット冠等、歯冠のすべてを修復しているものをいい架工義歯の支台歯であってもこれに含める。

(2) 喪失歯

- ①喪失歯とは、抜去または脱落により喪失した永久歯をいう。喪失歯は、補綴処置歯、要補綴歯、補綴不要歯の3種に分類する。
- ②永久歯について診査し、乳歯については診査しない。
- ③喪失歯の診査は、視診を原則とするが、架工義歯のポンティック部等確証が得られない場合には、基底面の確認などに際し、必要があればWHOプローブを用いること。
インプラントを埋入しているかは、口頭にて確認し、視診をする。

(注) 喪失歯の診査では、受診者の年齢を考慮する。

ア 補綴処置歯

- ◆補綴処置歯とは、喪失部位に補綴処置がしてあるもので、架工義歯B、部分床義歯P、全部床義歯Fuと記す。インプラントは、上部構造体の名称ではなく、Imと記す。

イ 要補綴歯

- ◆要補綴歯とは、喪失部位に補綴処置がしていないもので、歯列等の関係から補綴処置の必要性が認められるもので、△と記す。

ウ 補綴不要歯

- ◆補綴不要歯とは、智歯等の未萌出歯、先天性欠如または何らかの理由で歯を喪失したことが明らかであっても、歯列等の関係から補綴処置の必要性が認められないもので、無記入とする。

(注) 受診者の年齢を考慮する。

(3) 補綴の状況

永久歯の欠損部における補綴物装着の個数を診査する。補綴物は、架工義歯、部分床義歯、全部床義歯に分類し、上顎、下顎に装着してある個数をそれぞれ記す。

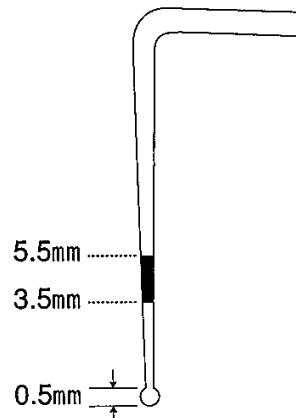
部分床義歯及び全部床義歯については、日常使用しているものであれば、診査時に装着しなくてもよい。また、一部破損していたり、あるいは欠損部の状況と一致しないものは要補綴歯とする。

(4) 歯肉の状況

永久歯について

76	1	67
76	1	67

の各歯の歯肉の状況を WHO の CPI (Community Periodontal Index、地域歯周疾患指数) により、WHO ポケットプローブ (左図) を用いて上顎、下顎とも頬・唇側面（近・遠心）および舌側面（近・遠心）の 4 点を以下の基準で診査し、最高コード値を記入する。



WHO ポケットプローブ

	コード	所見	判定基準
歯肉出血 BOP	0	健全	以下の所見が認められない
	1	出血あり	プローピング後 10~30 秒以内に出血が認められる
	9	除外歯	プローピングが出来ない歯（例：根の露出が根尖に及ぶ）
	×	該当歯なし	
歯周ポケット PD	0	健全	以下の所見がすべて認められない
	1	浅いポケット（4mm 以上 6mm 未満）	プローブの黒い部分が歯肉縁にかかっている
	2	深いポケット（6mm 以上）	ポケットプローブの黒い部分がみえない
	9	除外歯	プローピングが出来ない歯（例：根の露出が根尖に及ぶ）
	×	該当歯なし	

(5) 口腔清掃状態

口腔清掃の状態を、歯面のプラークと歯石の付着状から以下の基準で、視診により診査し、該当値を○で囲む。

[口腔清掃状態]

- 良好 : ほとんど歯垢の存在が認められない状態
- 普通 : 「良好」「不良」以外の状態
- 不良 : 1 歯以上の歯の歯肉縁から歯面の 1/3 を超えて歯垢が認められる状態

[歯石の付着]

1. なし
2. 軽度の付着 : 歯面に点状に少量付着
3. 中程度以上の付着 : 歯面に帯状、またはそれ以上に付着

(6) その他の所見

0. なし

異常所見のないもの。

1. 歯列・咬合

歯牙の位置、歯列弓形態、上下歯列弓関係などの異常があるもの。

矯正治療中の場合もこれに含み、その他欄に(き)又は(矯)と記す。

2. 頸関節

開口時や咀嚼時に疼痛もしくは頸運動障害が顕著に認められるものをありとし、クリック音や捻髪音のみで疼痛を伴わないものは異常なしとする。

3. 粘膜

何らかの歯科医学的処置を要すると思われるもの、例えば、褥瘡性潰瘍、悪性新生物、白板症、カンジダ症などである。

2 調査記入方法

協力歯科医師は、調査日と、調査施設名に医療機関名と、歯科医師名を記入する。

(1) 被調査者又は、歯科衛生士が記入する事項

※被調査者の氏名は聞かない、また、呼ばないでください。

(1) 住所	市、町、区があれば区まで記入する。 (それ以外は必要ありません)
(2) 性別	該当するものを○で囲む。
(3) 生年月日	平成、昭和、大正の別について、該当するものを○で囲み、 生年月日の数字を記入する。

(2) 口腔診査により記入する項目

口腔診査を行う前に、(1)～(3)の事項に記入漏れがないことを確認する。

(4) 歯の状況	それぞれの歯について、該当する事項を次の記号を用いて 記入する。 <ul style="list-style-type: none">・健全歯：予防填塞がされていない—／ 予防填塞がされている— t・未処置歯：軽度う蝕— Ci 重度う蝕— Ch・処置歯：充填歯— F クラウン等— K・補綴歯：架工義歯— B 部分床義歯— P 全部床義歯— Fu インプラント— Im・要補綴歯：△（喪失歯のうち補綴物の装着がなく、補 綴物の製作が必要なもの）・補綴不要歯：空欄
(5) 補綴物の状況	癒合歯は1歯として取り扱い、上位歯種名をもってこれに あてることから、中切歯と側切歯の癒合歯の場合は、中切 歯の欄に記入し、側切歯の欄は空欄とする。 補綴物は、架工義歯、部分床義歯、全部床義歯に分類し、 上顎、下顎に装着してある個数をそれぞれ記入する。

(6) 口腔清掃状態

プラークの付着状況から

1 : 良好

2 : 普通

3 : 不良

歯石の付着状況から

1 : なし

2 : 軽度(点状)あり

3 : 中程度(帶状)以上あり

(7) 歯肉の状況

永久歯について	76	1	67
	76	1	67

の各歯の歯肉の状況を診査し、最大値に該当するコードを記入する。

歯肉出血 BOP

0 : 健全

1 : 出血あり

9 : 除外歯

× : 該当歯なし

歯周ポケット PD

0 : 健全

1 : 浅いポケット (4mm～5mm)

2 : 深いポケット (6mm 以上)

9 : 除外歯

× : 該当歯なし

(8) その他の所見

口腔内のその他の所見を記入する。

0 : なし

1 : 歯列・咬合

2 : 顎関節

3 : 粘膜

判定区分

(4)、(6)、(7)、(8)から判定し該当するものを全て○で囲む。

付表4

平成28年度広島県歯科保健実態調査 「歯及び口腔に関する意識調査」調査票

《平成28年7月1日現在、満15歳以上の方を対象とします。》

市 区 町 名	市 区 町 ※広島市の方のみ区名 を記入してください。	
性 別	1 男	2 女
年 齢	歳（平成28年7月1日現在の満年齢）	
職 業	1 勤務者（会社員、公務員） 3 主婦・家事従事 5 学生・生徒 7 その他 2 自営業 4 パート・アルバイト 6 無職	

※「性別」及び「職業」については、あてはまる番号を○印で囲んでください。

【調査票記入にあたってのお願い】

- 回答いただいた内容は、すべて統計的に処理され、個人が特定されることはありませんので、ありのままを記入してください。また、個人情報は、厳重に管理します。
- この調査票の記入は、原則として本人自身が記入し、本人が記入できない場合に限り、代理の方が本人の考えを聞きながら記入してください。
- 記入方法は、質問をお読みいただき、鉛筆またはボールペンで、あてはまる番号を回答欄に記入、または、あてはまる番号を○印で囲んでください。

広島県歯科衛生連絡協議会

問1 歯や口の状態について気になることはありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

	回答欄	
	気になる	気にならない
歯が痛い、しみる	1	2
歯ぐきが痛い、はれている、出血がある	1	2
噛めないものがある	1	2
飲み込みにくい	1	2
味が分かりにくい	1	2
口がかわぐ	1	2
口臭がある	1	2

問2 歯みがきの状況についておたずねします。

- 1 毎日1回みがく 2 每日2回みがく 3 每日3回以上みがく
4 ときどきみがく 5 みがかない

回答欄

問3 歯間ブラシや糸ようじを使っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

回答欄

問4 フッ素入りの歯みがき剤（歯みがき粉）を使っていますか。

- 1 はい 2 いいえ
3 わからない

回答欄

問5 過去1年間に歯科健診を受けましたか。

- 1 はい 2 いいえ
3 わからない

回答欄

問6 過去1年間に歯石をとってもらったことがありますか。

- 1 はい 2 いいえ
3 わからない

回答欄

問7 過去1年間に歯科医院でフッ素塗布をしてもらったことがありますか。

- 1 はい 2 いいえ
3 わからない

回答欄

問8 過去1年間に歯みがきの個人指導を受けましたか。

- 1 はい 2 いいえ
3 わからない

回答欄

問9 かかりつけ歯科医院がありますか。

- 1 はい 2 いいえ

回答欄

問10 歯周病がどのような病気か知っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

回答欄

問11 歯周病と糖尿病に関係があることを知っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

回答欄

問12 喫煙が歯周病に影響を与えることを知っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

回答欄

問13 口の中をきれいに保つことで、肺炎を予防することができることを
知っていますか。

- 1 はい 2 いいえ

回答欄

問14 ゆっくりよく噛んで食事をしていますか。

- 1 はい 2 いいえ
3 どちらともいえない

回答欄

問 15 口を大きく開け閉めした時、あごの音がしますか。

- 1 はい 2 いいえ

回答欄

問 16 口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがありますか。

- 1 はい 2 いいえ

回答欄

問 17 現在、歯の数はどのくらいありますか。(親知らずは含みません。「けずってつめた歯」や「さし歯」も自分の歯として数えます。)

- 1 全部ある (28 本) 2 ほとんどある (27~20 本)
3 半分くらいある (19~10 本) 4 ほとんどない (9~1 本)
5 まったくない (0 本)

回答欄

問 18 次の言葉を知っていますか。言葉ごとに、あてはまる番号を 1 つ選んで○印をつけてください。

言 葉	回 答 欄		
	知っている	知らない	聞いたことはあるが意味はわからない
8 0 2 0 (ハマルニイマル) 運動	1	2	3
噛ミング 3 0 (サンマル) 運動	1	2	3
歯と口の健康週間 (6月4日からの一週間)	1	2	
いい歯の日(11月8日)	1	2	
いい歯の週間(11月8日からの一週間)	1	2	

- 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
○ 調査票は、返信用封筒に入れてお送りください。

付表 5

広島県歯科保健実態調査委員会名簿

区分	所属役職名	氏名
委員長	広島県歯科医師会理事	山中 史教
委員	広島市健康福祉局保健部保健医療課保健指導担当課長	宮城 昌治
"	広島県健康福祉局健康対策課健康企画グループ事業調整員	河中 郁雄
"	広島県歯科医師会常務理事	上川 克己
"	広島県歯科医師会地域保健部副委員長	能美 和基
"	広島県歯科医師会地域保健部常任委員	竹本 美保

